

# C07C 非環式化合物または炭素環式化合物 (高分子化合物 C08; 電気分解または 電気泳動法による有機化合物の製造 C25B3/00, C25B7/00)

## 注

- (1) このサブクラスにおいては、下記の用語は以下に示す意味で用いる:  
“架橋”とは、オルト、ペリ、スピロ以外の少なくとも1個の結合の存在を意味する;  
少なくとも1個の環原子を共有する2個の環は“縮合している”、すなわち“スピロ”および“架橋”は縮合しているものとみなす;  
“縮合環系”とは、すべての環が相互に縮合している環系のことである;  
縮合環系の“環の数”とは、当該の環系を1個の非環式鎖に変換するのに必要な切断の数に等しい;  
“キノン”とは、6員芳香環、もしくは6員芳香環からなる系(縮合していてもしていなくてもよい)を含有する化合物から誘導された化合物で、それは6員芳香環の2個または4個の  $\text{CH}$  基を  $>\text{C}=\text{O}$  基で置換し、さらにこれに対応してそれぞれ1個または2個の炭素-炭素二重結合を取り除き、炭素-炭素二重結合を含めて交互二重結合を有する環または環系を与えるように残りの炭素-炭素二重結合を再配置するものである;これは、アセナフトキノンおよびカンファ-キノンはキノンとみなされないとすることを意味する。[5]  
(2) サブクラス C07C から C07K に適用するラストプレイス優先ル-ルを規定するクラス C07 に続くクラス注 (3) に注意すること。[8]  
(3) 化合物の治療活性は、サブクラス A61P にさらに分類する。[7]  
(4) このサブクラスに分類するとき、クロマトグラフィ-に関係する一般分野の主題事項に関する限り、グループ B01D15/08 にも分類する。[8]  
(5) このサブクラスにおいては、ラストプレイス優先ル-ルが適用される、すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り、プロセスはこのサブクラス内の最後の適切な箇所に分類する。[3]  
(6) このサブクラスにおいては、相反する指示がない限り、“第4アンモニウム化合物”は、対応する非4級窒素化合物として分類する。[5]  
(7) グル-ブ C07C1/00-C07C71/00 および C07C401/00-C07C409/00 の化合物の分類については、他の指示または C07C69/00 における C07C69/712 のように細展開から絶対的に誘導される場合を除いて[5]  
化合物は分子全体を考慮して分類する (rule of the “whole molecule approach” = “分子全体によるアプローチ”の規則);  
化合物は互いに多重結合で結合された炭素原子を含有しないとき、飽和であるとみなされる;  
化合物は互いに多重結合で結合された炭素原子 (6員芳香環を含む) を含有するとき、不飽和であるとみなされる。  
(8) グル-ブ C07C201/00-C07C395/00 の化合物、すなわち、官能基が“ラストプレイスル-ル”に従って決定された後の分類付与については、その化合物を下記の法則に従って分類する:  
化合物は官能基が結合している炭素原子の性質に従って分類する;  
炭素骨格とは、カルボキシル基の炭素原子を除く1個の炭素原子または互いに結合した炭素原子から成る一本の鎖である;炭素骨格は炭素以外の原子またはカルボキシル基の炭素原子との結合ごとに終結するものとみなす;  
分子がいくつかの官能基を含有するときは、最初に決定された炭素骨格と同じ炭素骨格に結合している官能基のみについて検討する。  
炭素骨格は、互いに多重結合によって結合する炭素原子を包含しないとき、飽和であるとみなされる。  
炭素骨格は、互いに多重結合によって結合する炭素原子 (6員芳香環を含む) を含有するとき、不飽和であるとみなされる。[5]
- サブクラス内の索引**  
炭素および水素のみを含有する化合物  
製造 1/00, 2/00, 4/00, 5/00, 6/00

精製, 分離, 安定化.....	7/00
化合物	
脂肪族.....	9/00, 11/00
環式脂肪族; 芳香族.....	13/00, 15/00
炭素およびハロゲンを含有し水素を有するかまたは有しない化合物	
製造.....	17/00
化合物	
脂肪族.....	19/00, 21/00
環式脂肪族; 芳香族.....	22/00, 23/00, 25/00
炭素および酸素を含有し水素またはハロゲンを有するかまたは有しない化合物	
製造	
2 クラス以上の含酸素化合物の同時製法.....	27/00
アルコ-ル; フェノ-ル.....	29/00, 37/00
エ-テルまたはアセタ-ル; オキソ化合物	
41/00, 45/00	
キノン.....	46/00
カルボン酸, その塩または酸無水物.....	51/00
カルボン酸エステル.....	67/00
炭酸エステルまたはハロギン酸エステル.....	68/00
化合物	
脂肪族的に結合した OH 基をもつもの.....	31/00, 33/00
環式脂肪族的に結合した OH 基をもつもの.....	35/00
芳香族的に結合した OH 基をもつもの.....	39/00
エ-テル類, アセタ-ル, オルトエステル; アルデヒド; ケトン.....	43/00, 47/00, 49/00
キノン.....	50/00
カルボン酸	
非環式.....	53/00, 55/00, 57/00, 59/00
環式.....	61/00, 62/00, 63/00, 65/00, 66/00
エステル.....	69/00, 71/00
炭素および窒素を含有し水素, ハロゲンまたは酸素を有するかまたは有しない化合物	
製造	
アミン.....	209/00
ヒドロキシアミン, アミノエ-テル, またはアミノエステル.....	213/00
アミノアルデヒド, アミノケトン, アミノキノン	
221/00	
アミノカルボン酸.....	227/00
カルボン酸のアミド.....	231/00
カルボン酸のニトリル.....	253/00
ヒドラジンの誘導体.....	241/00
炭素-窒素二重結合を含有する化合物, 例: イミン, ヒドラゾン, イソシアナ-ト	
249/00, 263/00	
カルバミン酸の誘導体.....	269/00
尿素または誘導体.....	273/00
グアニジンまたは誘導体.....	277/00
ニトロまたはニトロソ化合物, または硝酸もしくは亜硝酸のエステル	
201/00	
化合物	
炭素, または炭素と水素, に結合した窒素をもつもの	
アミン.....	211/00
ヒドロキシアミン; アミノエ-テル; アミノエステル	
215/00, 217/00, 219/00	
アミノアルデヒド, アミノケトン, アミノキノン	
223/00, 225/00	
アミノカルボン酸.....	229/00
カルボン酸のアミド.....	233/00, 235/00, 237/00
1 個以上の炭素-窒素二重結合を含有する化合物, 例: イミン.....	251/00
カルボン酸のニトリル.....	255/00
アミジン, イミノエ-テル.....	257/00
ヒドロキサム酸.....	259/00
シアン酸またはイソシアン酸の誘導体	
261/00, 265/00	
カルボジイミド.....	267/00
カルバミン酸.....	271/00
尿素.....	275/00
グアニジン.....	279/00
ハロゲンに結合している窒素をもつもの.....	239/00
酸素に結合している窒素をもつもの	
ニトロまたはニトロソ化合物.....	205/00, 207/00
亜硝酸エステルまたは硝酸エステル.....	203/00

ヒドロキシルアミン.....	239/00
オキシム.....	251/00
他の窒素に結合している窒素をもつもの	
ヒドラジン、ヒドラジド.....	243/00
セミカルバジン酸エステル、セミカルバジド	281/00
アゾ化合物、ジアゾ化合物.....	245/00
ヒドラゾン、ヒドラジジン.....	251/00,257/00
セミカルバゾン.....	281/00
N - ニトロまたはN - ニトロソ化合物.....	243/00
相互結合している3個の窒素原子鎖を含有するもの	
トリアジン.....	245/00
アジド.....	247/00
窒素を含有するその他の化合物.....	291/00
硫黄、セレンもしくはテルルとともに炭素を含有し水素、ハロゲン、酸素もしくは窒素有するかまたは有しない化合物	
製造	
硫酸またはスルホン酸の誘導体.....	303/00
メルカプタン、チオフェノール、スルフィドまたはポリスルフィド	
319/00	
スルホンまたはスルホキシド.....	315/00
化合物	
酸素に結合している硫黄をもつもの	
亜硫酸または硫酸のエステル.....	301/00,305/00
スルホン酸または誘導体.....	309/00
スルフェン酸またはスルフィン酸、または誘導体	
313/00	
スルホン、スルホキシド.....	317/00
炭素に結合している硫黄をもつもの	
メルカプタン、チオフェノール、スルフィドまたはポリスルフィド.....	321/00,323/00
チオアルデヒド、チオケトン.....	325/00
チオカルボン酸または誘導体.....	327/00
チオ炭酸または誘導体.....	329/00
チオシアナートまたはイソチオシアナート..	331/00
チオカルバミン酸または誘導体.....	333/00
チオ尿素.....	335/00
チオセミカルバジドまたはチオセミカルバゾン	
337/00	
窒素に結合している硫黄をもつもの	
スルホン酸アミド.....	311/00
スルフェン酸アミド、スルフィン酸アミド、スルフェニルカルバマートまたはスルフェニル尿素	
313/00	
硫酸のアミド.....	307/00
硫黄を含有するその他の化合物.....	381/00
セレンを含有する化合物.....	391/00
テルルを含有する化合物.....	395/00
コレステロールの照射産物.....	401/00
少なくとも4個の炭素原子を有する不飽和側鎖をもつシクロヘキサンまたはシクロヘキセンの誘導体	
403/00	
プロスタグランジンまたは誘導体.....	405/00
過酸化物; パ - オキシ酸	
製造.....	407/00
化合物.....	409/00
ファセット分類記号	
適用範囲 (1/00 ~ 409/44)	
CSP 化学物質名または化学構造式で記載された有機低分子化合物自体の発明	
炭化水素 [3]	
1/00	いずれも炭化水素でない1個またはそれ以上の化合物からの炭化水素の製造
1/02	・炭素の酸化物から(不明確な組成の液体炭化水素混合の製造 C10G2/00; 合成天然ガスの製造 C10L3/06) [5]
1/04	・一酸化炭素と水素とから
1/06	・有機化合物, 例. 炭化水素, の存在下
1/08	・イソ合成
1/10	・一酸化炭素と水蒸気とから
1/12	・二酸化炭素と水素とから

1/20	・異種原子として酸素原子のみを含有する有機化合物を原料とするもの
1/207	・カルボニル化合物から [5]
1/213	・エステルの開裂によるもの [5]
1/22	・還元によるもの
1/24	・水の脱離によるもの
1/247	・環状エーテルの開裂によるもの [3]
1/26	・異種原子としてハロゲン原子のみを含有する有機化合物を原料とするもの
1/28	・閉環によるもの
1/30	・1つの分子からハロゲン化水素の脱離によるもの
1/32	・酸素またはハロゲン以外の異種原子を含有する化合物またはそれら異種原子を酸素またはハロゲンとともに含有する化合物を原料とするもの [3]
1/34	・ホスフィンとアルデヒドまたはケトンとの反応, 例. ウィッティッヒ反応 [3]
1/36	・エステルの開裂によるもの (C07C1/213, C07C1/30 が優先) [3,5]
2/00	少ない数の炭素原子を含有する炭化水素からの炭化水素の製造 [3]
2/02	・不飽和炭化水素相互の付加によるもの [3]
2/04	・組成が明確な不飽和炭化水素のオリゴマー化で環化の生起しないもの [3]
2/06	・アルケンの, 例. 1個の炭素 - 炭素二重結合を有する非環式炭化水素 [3]
2/08	・接触のプロセス [3]
2/10	・金属酸化物を用いるもの [3]
2/12	・結晶性アルミノシリケートを用いるもの, 例. 分子ふるい [3]
2/14	・無機酸を用いるもの; 酸の塩または無水物を用いるもの [3]
2/16	・硫黄の酸; それらの塩; 硫黄酸化物 [3]
2/18	・リンの酸; それらの塩; リン酸化物 [3]
2/20	・ハロゲンの酸; それらの塩 [3]
2/22	・金属ハライド; それらの有機化合物との錯体 [3]
2/24	・金属を用いるもの [3]
2/26	・水素化合物または有機化合物を用いるもの (C07C2/20 が優先) [3]
2/28	・イオン交換樹脂を用いるもの [3]
2/30	・金属 - 炭素結合を含有するもの; 金属水素化合物 [3]
2/32	・錯体, 例. アセチルアセトネート [3]
2/34	・金属 - 炭化水素錯体 [3]
2/36	・ホスフィン, アルシン, スチピン, ビスマシン [3]
2/38	・ジエンまたはアルキンの [3]
2/40	・共役ジエンの [3]
2/42	・ディールス・アルダー - 反応以外の環化を伴うホモまたはコオリゴマー化 [3]
2/44	・共役ジエンのみの [3]
2/46	・接触のプロセス [3]
2/48	・炭素 - 炭素三重結合を含有する炭化水素のみの [3]
2/50	・ディールス・アルダー - 反応 [3]
2/52	・接触のプロセス [3]

(1) このグル - プにおいては：  
触媒の還元が同時に起こる場合、その触媒は受容体の一部を形成しているものとみなす [3]  
還元された受容体を取得するために添加する化合物は受容体に属するものとみなさない。 [3]

(2) 反応系中で受容体が生成する場合または反応系中で還元された受容体の再生が生起する場合の受容体はその添加物質に基づいて分類される。 [3]

- 5/44      ・ハロゲンまたはハロゲン含有化合物を受容体として用いるもの [2]
- 5/46      ・硫黄または硫黄含有化合物を受容体として用いるもの [2]
- 5/48      ・酸素を受容体として用いるもの [2]
- 5/50      ・有機化合物を受容体として用いるもの [2]
- 5/52      ・炭化水素を受容体として用いるもの、例：炭化水素の不均化、すなわち  $2 \text{ CnHp} \rightarrow \text{CnHp} + \text{q} + \text{CnHp} - \text{q}[2]$
- 5/54      ・C07C5/44-C07C5/50 のグル - プの 2 以上に分類される少なくとも 2 つの化合物を含有する受容体を用いるもの [3]
- 5/56      ・酸素およびハロゲンまたはハロゲン含有化合物のいずれか一方のみを含有するもの [3]
- 6/00      再分配反応による異なった数の炭素原子を含有する炭化水素からの炭化水素の製造 [3]
- 6/02      ・不飽和炭素 炭素結合における複分解反応 [3]
- 6/04      ・炭素 炭素二重結合における [3]
- 6/06      ・環式炭素 炭素二重結合における [3]
- 6/08      ・飽和炭素 炭素結合における転化によるもの [3]
- 6/10      ・6 員芳香環を含有しない炭化水素における [3]
- 6/12      ・6 員芳香環を含有する炭化水素のみの [3]

7/00	炭化水素の精製, 分離または安定化; 添加剤の使用 [5]	11/173	…5 個の炭素原子を有するもの [3]
7/04	・蒸留によるもの [3]	11/18	…イソブレン [3]
7/05	…補助化合物を用いるもの [3]	11/20	…1,3 ペンタジエン [3]
7/06	…共沸蒸留によるもの	11/21	・アルカトリエン; アルカテトラエン; 他のアルカポリエン [2,3]
7/08	…抽出蒸留によるもの	11/22	・炭素 炭素三重結合を含有するもの
7/09	・分別凝縮によるもの [3]	11/24	…アセチレン (湿式法によるアセチレンガスの製造 C10H) [5]
7/10	・抽出によるもの, 例. 液剤を用いる液状炭化水素の精製または分離 [3]	11/28	・炭素 炭素二重結合と炭素 炭素三重結合とを含有するもの
7/11	・吸収によるもの, 例. 液剤を用いるガス状炭化水素の精製または分離 [3]	11/30	…ブテニン
7/12	・吸着によるもの, 例. 固体吸着剤を用いる炭化水素の精製または分離 [3]	13/00	6 員芳香環以外の環を含有する環式炭化水素またはそれらの環と 6 員芳香環とを含有する環式炭化水素
7/13	…分子ふるい技術によるもの [2,3]	13/02	・単環式炭化水素またはそれらの非環式炭化水素誘導体
7/135	・ガスクロマトグラフィ - によるもの [3]	13/04	…3 員環をもつもの
7/14	・結晶化によるもの; 結晶の精製または分離 [3]	13/06	…4 員環をもつもの
7/144	・薄膜を用いるもの, 例. 選択的透過 [3]	13/08	…5 員環をもつもの
7/148	・少なくとも 1 つの化合物の化学的变化をひきおこす処理によるもの [3]	13/10	…シクロペンタン環をもつもの
7/152	…付加物または錯体を生成することによるもの [3]	13/11	…不飽和炭化水素基で置換されたもの [2]
7/156	…銅塩の溶液を用いるもの [3]	13/12	…シクロペンテン環をもつもの
7/163	…水素添加によるもの [3]	13/15	…シクロペンタジエン環をもつもの [3]
7/167	…炭素 炭素三重結合を含有する化合物の除去のためのもの [3]	13/16	…6 員環をもつもの
7/17	…酸または硫黄酸化物を用いるもの [3]	13/18	…シクロヘキサン環をもつもの
7/171	…硫酸または発煙硫酸 [7]	13/19	…不飽和炭化水素基で置換されたもの [2]
7/173	…有機金属化合物を用いるもの [3]	13/20	…シクロヘキセン環をもつもの
7/177	…混合物中の少なくとも 1 つの化合物の選択的低重合または選択的高重合によるもの [3]	13/21	…メンタジエン [2]
7/20	・添加剤の使用, 例. 安定化のためのもの [3]	13/23	…シクロヘキサジエン環をもつもの [3]
9/00	非環式飽和炭化水素	13/24	…7 員環をもつもの
9/02	・1-4 個の炭素原子を有するもの [5]	13/26	…8 員環をもつもの
9/04	…メタン (汚泥の処理による製造 C02 F11/04) [5]	13/263	…シクロオクテンまたはシクロオクタジエン環をもつもの [3]
9/06	…エタン	13/267	…シクロオクタトリエンまたはシクロオクタテトラエン環をもつもの [3]
9/08	…プロパン	13/271	…9-11 員環をもつもの [3]
9/10	…4 個の炭素原子を有するもの [5]	13/273	…12 員環をもつもの [3]
9/12	…イソブタン	13/275	…不飽和の 12 員環 [3]
9/14	・5-15 個の炭素原子を有するもの	13/277	…シクロドデカトリエン環をもつもの [3]
9/15	…鎖状炭化水素 [3]	13/28	・多環式炭化水素またはそれらの非環式炭化水素誘導体
9/16	…分枝鎖状炭化水素	非隣接二重結合を最大数有する縮合 6 員環のみからなる環系は 15/00 のグル - プに分類する。 [3]	
9/18	…5 個の炭素原子を有するもの [5]	13/32	…縮合環をもつもの
9/21	…2,2,4 トリメチルペンタン [3]	13/34	…4 個の炭素原子を含有するビシクロ環系をもつもの
9/22	・16 個以上の炭素原子を有するもの	13/36	…5 個の炭素原子を含有するビシクロ環系をもつもの
11/00	非環式不飽和炭化水素	13/38	…6 個の炭素原子を含有するビシクロ環系をもつもの
11/02	・アルケン	13/39	…7 個の炭素原子を含有するビシクロ環系をもつもの [3]
11/04	…エチレン	13/40	…ビシクロヘプタン環構造をもつもの [3]
11/06	…プロペン	13/42	…ビシクロヘプテン環構造をもつもの [3]
11/08	…4 個の炭素原子を有するもの [5]	13/43	…非環式不飽和炭化水素基により置換されているもの [3]
11/09	…イソブテン [3]	13/44	…8 個の炭素原子を含有するビシクロ環系をもつもの
11/10	…5 個の炭素原子を有するもの [5]		
11/107	…6 個の炭素原子を有するもの [5]		
11/113	…メチルペンテン [3]		
11/12	・アルカジエン		
11/14	…アレノ		
11/16	…4 個の炭素原子を有するもの		
11/167	…1,3 ブタジエン [3]		

13/45	...9 個の炭素原子を含有するビシクロ環系をもつもの [3]	15/28	...アントラセン [3]
13/465	...インデン; 完全または部分水素化されたインデン [3]	15/30	...フェナントレン [3]
13/47	...10 個の炭素原子を含有するビシクロ環系をもつもの [3]	15/38	...4 個の環を含有するもの [3]
13/48	...完全または部分水素化されたナフタレン [3]	15/40	・不飽和炭化水素基で置換されたもの [3]
13/50	...デカヒドロナフタレン [3]	15/42	...単環式のもの [3]
13/52	...アズレン; 完全または部分水素化されたアズレン [3]	15/44	...炭素 炭素二重結合を含有する炭化水素置換基 [3]
13/54	...3 個の縮合環を有するもの	15/46	...スチレン; 環がアルキル化されたスチレン [3]
13/547	...少なくとも 1 個の環は 6 員環でなく、他の環は高々 6 員環であるもの [3]	15/48	...炭素 炭素三重結合を含有する炭化水素置換基 [3]
13/553	...インダセン; 完全または部分水素化されたインダセン [3]	15/50	...非縮合多環式のもの [3]
13/567	...フルオレン; 完全または部分水素化されたフルオレン [3]	15/52	...次式で示される基を含有するもの
13/573	...3 個の 6 員環をもつもの [3]		
13/58	...完全または部分水素化されたアントラセン [3]	15/54	...次式で示される基を含有するもの
13/60	...完全または部分水素化されたフェナントレン [3]		
13/605	...架橋環系をもつもの [3]	15/56	...縮合多環式のもの [3]
13/61	...架橋インデン, 例 . ジシクロペンタジエン [3]	15/58	...2 個の環を含有するもの [3]
13/615	...アダマンタン [3]	15/60	...3 個の環を含有するもの [3]
13/62	...4 個以上の縮合環をもつもの	15/62	...4 個の環を含有するもの [3]
13/64	...架橋環系をもつもの [3]	炭素とハロゲン	を含有し水素を有するかまたは有しない化合物
13/66	...4 個の環を含有する縮合環系 [3]	17/00	ハロゲン化された炭化水素の製造
13/68	...架橋環系をもつもの [3]	17/007	・炭素とハロゲン, または炭化物とハロゲンから [6]
13/70	...少なくとも 2 個の互に縮合していない芳香環系が, その芳香環の非隣接位置において炭素鎖により形成された環構造で結合された縮合環系をもつもの, 例 . シクロファン [3]	17/013	・ハロゲンの付加によるもの [6]
13/72	...スピロ炭化水素 [3]	17/02	...不飽和炭化水素へ [6]
15/00	環部分として 6 員芳香環のみを含有する環式炭化水素 [2]	17/04	...ハロゲン化された不飽和炭化水素へ [6]
15/02	・単環式炭化水素	17/06	...水素のハロゲンによる置換と組み合わせたもの
15/04	...ベンゼン	17/07	・ハロゲン化水素の付加によるもの [6]
15/06	...トルエン	17/08	...不飽和炭化水素へ [6]
15/067	...C <sub>8</sub> H <sub>10</sub> 炭化水素 [3]	17/087	...ハロゲン化された不飽和炭化水素へ [6]
15/073	...エチルベンゼン [3]	17/093	・ハロゲンによる置換によるもの [6]
15/08	...キシレン [3]	17/10	...水素の ( 不飽和炭化水素へのハロゲンの付加と組み合わせたもの C07C17/06 ) [6]
15/085	...イソプロピルベンゼン [3]	17/12	...芳香族化合物の環における [6]
15/107	...少なくとも 6 個の炭素原子を含有する飽和側鎖をもつもの, 例 . 洗剤アルキレ - ト [3]	17/14	...芳香族化合物の側鎖における [6]
15/113	...各々少なくとも 6 個の炭素原子を含有する少なくとも 2 個の飽和側鎖をもつもの [3]	17/15	...補助剤として酸素を用いるもの, 例 . オキシクロリネ - ション [2,6]
15/12	・非縮合多環式炭化水素	17/152	...炭化水素の [3,6]
15/14	...すべてのフェニル基が直接結合しているもの [3]	17/154	...飽和炭化水素の [3,6]
15/16	...1 個の非環式炭素原子に結合する少なくとも 2 個のフェニル基を含有するもの	17/156	...不飽和炭化水素の [3,6]
15/18	...少なくとも 1 個の次式で示される基を含有するもの	17/158	...ハロゲン化された炭化水素の [3,6]
		17/16	...水酸基の [3,6]
15/20	・縮合多環炭化水素	17/18	...カルボニル基の酸素の [6]
15/24	...2 個の環を含有するもの	17/20	...他のハロゲンによるハロゲンの [6]
15/27	...3 個の環を含有するもの [3]	17/21	...ハロゲンの原子数の増加を同時に伴うもの [6]
		17/23	・脱ハロゲン化によるもの [6]
		17/25	・ハロゲン化された炭化水素からのハロゲン化水素の脱離によるもの [6]
		17/26	・炭素骨格中の炭素原子数の増加を伴う反応によるもの
		17/263	...縮合反応によるもの [6]
		17/266	...炭化水素とハロゲン化された炭化水素の [6]

17/269	・・・ハロゲン化された炭化水素のみの [6]	21/16	・・・臭化クロチル
17/272	・・付加反応によるもの [6]	21/17	・・ヨウ素を含有するもの [5]
17/275	・・・炭化水素とハロゲン化された炭化水素の [6]	21/18	・・フッ素を含有するもの
17/278	・・・ハロゲン化された炭化水素のみの [6]	21/185	・・・テトラフルオロエチレン [5]
17/281	・・・一種の化合物のみの [6]	21/19	・・ハロゲン化されたジエン [3]
17/30	・・ディ - ルス - アルダ - 合成によるもの	21/20	・・・ハロゲン化されたブタジエン [3]
17/32	・・環状化合物へのハロゲン化されたアルキル基の導入によるもの	21/21	・・・クロロプレン [3]
17/35	・分子内の炭素またはハロゲン原子数の変化しない反応によるもの [6]	21/215	・・3 個以上の炭素 炭素二重結合を有するハロゲン化されたポリエン [3]
17/354	・・水素添加によるもの [6]	21/22	・炭素 炭素三重結合を含有するもの
17/357	・・脱水素によるもの [6]	22/00	非環式炭素原子に結合しているハロゲン原子を含有する環式化合物 [5]
17/358	・・異性化によるもの [6]	22/02	・環内に不飽和結合をもつもの [5]
17/361	・炭素原子数の減少を伴う反応によるもの [6]	22/04	・・6 員芳香環を含有するもの [5]
17/363	・・カルボキシル基の脱離によるもの [6]	22/06	・・・トリクロロメチルベンゼン [5]
17/367	・・解重合によるもの [6]	22/08	・・・フッ素を含有するもの [5]
17/37	・ハロゲン化された炭化水素の不均化によるもの [6]	23/00	6 員芳香環以外の環に結合している少なくとも 1 個のハロゲン原子を含有する化合物
17/38	・分離 ; 精製 ; 安定化 ; 添加剤の使用	23/02	・ハロゲン化された単環式炭化水素
17/383	・・蒸留によるもの [6]	23/04	・・3 員環をもつもの
17/386	・・・補助化合物を用いるもの [6]	23/06	・・4 員環をもつもの
17/389	・・固体への吸着によるもの [6]	23/08	・・5 員環をもつもの
17/392	・・結晶化によるもの ; 結晶の精製または分離 [6]	23/10	・・6 員環をもつもの
17/395	・・少なくとも 1 個の化合物の化学的变化をひき起す処理によるもの [6]	23/12	・・・ヘキサクロロシクロヘキサン
17/42	・・添加剤の使用 , 例 . 安定化のためのもの [3,6]	23/14	・・7 員環をもつもの
19/00	ハロゲン原子を含有する非環式飽和化合物 [5]	23/16	・・8 員環をもつもの
19/01	・塩素を含有するもの [6]	23/18	・ハロゲン化された多環式炭化水素
19/03	・・クロロメタン [6]	23/20	・・いずれの環も芳香族性を有しない縮合環系を有するもの
19/04	・・・クロロホルム [6]	23/22	・・・4 個の炭素原子を含有するビシクロ環系をもつもの
19/041	・・・四塩化炭素 [6]	23/24	・・・5 個の炭素原子を含有するビシクロ環系をもつもの
19/043	・・クロロエタン [6]	23/26	・・・6 個の炭素原子を含有するビシクロ環系をもつもの
19/045	・・・ジクロロエタン [3,6]	23/27	・・・7 個の炭素原子を含有するビシクロ環系をもつもの [5]
19/05	・・・トリクロロエタン [3,6]	23/28	・・・飽和ビシクロ環系 [5]
19/055	・・・テトラクロロエタン [3,6]	23/30	・・・単不飽和ビシクロ環系 [5]
19/07	・ヨウ素を含有するもの [2]	23/32	・・・8 個の炭素原子を含有するビシクロ環系をもつもの
19/075	・臭素を含有するもの [6]	23/34	・・・ハロゲン化された完全または部分水素化されたインデン
19/08	・フッ素を含有するもの	23/36	・・・ハロゲン化された完全または部分水素化されたナフタレン
19/10	・・さらに塩素を含有するもの [6]	23/38	・・・3 個の縮合環をもつもの
19/12	・・・2 個の炭素原子を有するもの [6]	23/40	・・・ハロゲン化された完全または部分水素化されたフルオレン
19/14	・・さらに臭素を含有するもの [6]	23/42	・・・ハロゲン化された完全または部分水素化されたアントラセン
19/16	・・さらにヨウ素を含有するもの [6]	23/44	・・・ハロゲン化された完全または部分水素化されたフェナントレン
21/00	ハロゲン原子を含有する非環式不飽和化合物 [5]	23/46	・・・4 個以上の縮合環を有するもの
21/02	・炭素 炭素二重結合を含有するもの	25/00	6 員芳香環に結合している少なくとも 1 個のハロゲン原子を含有する化合物
21/04	・・クロロアルケン	25/02	・ハロゲン化された単環式芳香族炭化水素
21/06	・・・塩化ビニル	25/06	・・モノクロロベンゼン [3]
21/067	・・・アリルクロライド ; メタリルクロライド [3]	25/08	・・ジクロロベンゼン [3]
21/073	・・・ジクロロアルケン [3]	25/10	・・トリクロロベンゼン [3]
21/08	・・・塩化ビニリデン [3]	25/12	・・ヘキサクロロベンゼン [3]
21/09	・・・ジクロロブテン [3]	25/125	・・ハロゲン化されたキシレン [2,3]
21/10	・・・トリクロロエチレン	25/13	・・フッ素を含有するもの [2,3]
21/12	・・・テトラクロロエチレン		
21/14	・・臭素を含有するもの		

25/18	・ハロゲン化された多環式芳香族炭化水素	29/09	・加水分解によるもの（有機酸エステルの加水分解 C07C27/02） [3]
25/20	・ジクロロ ジフェニル トリクロロエタン（DDT）	29/10	・エ - テル（環状エ - テルを含む）の、例 . オキシラン
25/22	・縮合環をもつもの	29/12	・鉱酸エステルの [3]
25/24	・不飽和側鎖をもつハロゲン化された芳香族炭化水素	29/124	・ハロゲン化物の [3]
25/28	・ハロゲン化されたスチレン [3]	29/128	・アルコ - ル分解によるもの（有機酸エステルのアルコ - ル分解 C07C27/02） [3]
炭素および酸素を含有し水素またはハロゲンを有するかまたは有しない化合物 [2]		29/132	・酸素含有官能基の還元によるもの [3]
27/00	2 クラス以上の酸素を含む化合物を同時に製造することから成るプロセス	29/136	・>C = O 含有基の、例 . - COOH [3]
27/00 310	・（ヒドロ）ペルオキシドの分解	29/14	・ CHO 基の [3]
27/00 320	・CO 含有ガス [例 .CO + H <sub>2</sub> .CO + O <sub>2</sub> ] との反応によるもの	29/141	・水素または水素含有ガスによるもの [5]
27/00 330	・C <sub>3+4</sub> 不飽和酸、エステル、アルデヒドの製造	29/143	・ケトンの [5]
27/00 340	・酸素のみによる酸化によるもの	29/145	・水素または水素含有ガスによるもの [5]
27/00 350	・酸素以外の酸化剤によるもの（例 .O <sub>2</sub> + 他の酸化剤 .O <sub>3</sub> ）	29/147	・カルボン酸またその誘導体の [5]
27/02	・有機酸エステルのケン化	29/149	・水素または水素含有ガスによるもの [5]
27/04	・酸素を含む化合物の還元によるもの（C07C29/14 が優先）	29/15	・炭素の酸化物の還元のみによるもの [3]
27/06	・炭素の酸化物の水素添加によるもの	29/151	・水素または水素含有ガスによるもの [5]
27/08	・移動触媒を用いるもの	29/152	・用いられる反応器に特徴のあるもの [5]
27/10	・炭化水素の酸化によるもの	29/153	・用いられる触媒に特徴のあるもの [5]
27/12	・酸素を用いるもの		
27/12 300	・汎用性のあるもの	29/154	・銅、銀、金またはその化合物を含有するもの [5]
27/12 310	・（シクロ）アルカンの酸化	29/156	・鉄族金属、白金族金属またはその化合物を含有するもの [5]
27/12 320	・ホウ素化合物存在下に酸化をおこなうもの	29/157	・白金族金属またはその化合物を含有するもの [5]
27/12 330	・（シクロ）オレフィンの酸化	29/158	・ロジウムまたはその化合物を含有するもの [5]
27/12 340	・芳香環のアルキル側鎖の酸化（アルケニル側鎖の酸化 330）	29/159	・水素または水素含有ガス以外の還元剤によるもの [5]
27/12 350	・クメン法（ヒドロペルオキシド経由のフェノ - ルとケトンの同時製法）	29/16	・還元と組み合わせたオキシ反応によるもの
27/14	・完全ガス状反応	29/17	・炭素 炭素二重結合または三重結合の水素添加によるもの [3]
A	C <sub>3+4</sub> オレフィンの酸化	29/19	・6 員芳香環における [3]
Z	その他のもの	29/20	・水酸基が置換している非縮合環における [3]
27/16	・他の酸化剤を用いるもの	29/32	・OH 基の生成を伴わない炭素原子数の増加する反応によるもの [3]
27/18	・アルキンをアルデヒド、ケトンまたはアルキレンオキシドに付加することによるもの	29/34	・水酸基またはその鉱酸エステルの関与する縮合反応によるもの、例 .Guerbet 反応 [3]
27/20	・オキシ反応によるもの	29/36	・水酸基の生成を伴う炭素原子数の増加する反応によるもの。水酸基の誘導体、例 .O 金属基、を中間体として経路する場合も含む [3]
27/22	・このプロセスに特有の触媒を用いるもの	29/38	・アルデヒドまたはケトンとの反応によるもの [3]
27/24	・移動触媒を用いるもの	29/40	・炭素 金属結合を含有する化合物とのもの [3]
27/26	・精製；分離；安定化	29/42	・炭素 炭素三重結合を含有する化合物とのもの、例 . 金属アルキンとのもの [3]
27/28	・蒸留によるもの	29/44	・付加反応により炭素原子数が増加するもの、例 . 少なくとも 1 つの炭素 炭素二重結合または三重結合が関与する反応（C07C29/16 が優先） [3]
27/30	・共沸蒸留によるもの	29/46	・ジエン合成によるもの [3]
27/32	・抽出蒸留によるもの	29/48	・水酸基の形成を伴う酸化反応によるもの [3]
27/34	・抽出によるもの		
29/00	6 員芳香環に属していない炭素原子に結合している水酸基または O 金属基をもつ化合物の製造		
29/03	・不飽和炭素 炭素結合に水酸基を付加することによるもの、例 .H <sub>2</sub> O <sub>2</sub> を用いるもの [3]		
29/04	・炭素 炭素二重結合の水和によるもの		
29/05	・鉱酸中で吸収生成物を形成しそれを加水分解することによるもの [3]		
29/06	・酸が硫酸であるもの [3]		
29/08	・酸がリン酸であるもの [3]		

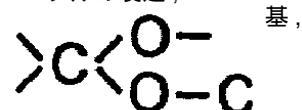
29/50	..分子状酸素のみを用いるもの [3]	31/20	..二価アルコ - ル
29/52	...無機ホウ素化合物の存在下、必要に応じて形成された中間体の加水分解を伴うもの [3]	A	エチレングリコ - ル
29/54	...炭素 金属結合を含有する化合物を原料とし、O 金属を水酸基に変換するもの [3]	B	ブタンジオ - ル [1,4 - ;1,3 - ;1,2 - ;2,3 - ]
29/56	・異性化によるもの [3]	Z	その他のもの
A	オキシラン環 不飽和アルコ - ル	31/22	..三価アルコ - ル、例、グリセリン [3]
B	2 重結合の移動	31/24	..四価アルコ - ル、例、ペンタエリスリト - ル [3]
C	CIS $\rightleftharpoons$ TRANS TRANS	31/26	..六価アルコ - ル
Z	その他	31/27	・飽和環を含有する多価アルコ - ル [3]
29/58	・ハロゲンの脱離によるもの、例、水素化分解、離脱によるもの (C07C29/124 が優先) [3]	31/28	・金属アルコラ - ト
29/60	・水酸基の脱離によるもの、例、脱水によるもの (C07C29/34 が優先) [3]	31/30	..アルカリ金属またはアルカリ土類金属アルコラ - ト
29/62	・ハロゲンの導入によるもの; ハロゲン原子を他のハロゲン原子で置換するもの [3]	31/32	..アルミニウムアルコラ - ト
29/64	・水酸基とハロゲンを同時に導入するもの [3]	31/34	・ハロゲン化アルコ - ル
29/66	..次亜ハロゲン酸 (その場で形成される場合も含む) の炭素 炭素不飽和結合への付加によるもの [3]	31/36	..フッ素以外のハロゲン [3]
29/68	・金属アルコラ - トの製造 (C07C29/42、C07C29/54 が優先) [3]	31/38	..ハロゲンとしてフッ素のみを含有するもの [3]
29/70	..水酸基を O 金属基に変換することによるもの [3]	31/40	..パ - ハロゲン化されたもの [3]
29/72	..炭素 金属結合の酸化によるもの [3]	31/42	..ハロゲン化された非環式多価アルコ - ル [3]
29/74	・分離; 精製; 安定化; 添加剤の使用 [3]	31/44	..飽和環を含有するハロゲン化アルコ - ル [3]
29/76	..物理的处理によるもの [3]	33/00	非環式炭素原子に結合する水酸基または O 金属基をもつ不飽和化合物
29/78	...凝縮または結晶化によるもの [3]	このグル - プにおいては、6 員芳香環およびその他の環からなる縮合環系においては、ベンゼン環の二重結合は縮合している非芳香環の不飽和結合とはみなさない。例、1,2,3,4 - テトラヒドロナフタレン環は芳香環以外が飽和であるとみなす。 [3]	
29/80	...蒸留によるもの [3]	33/02	・炭素 炭素二重結合を有する非環式アルコ - ル
29/82	....共沸蒸留によるもの [3]	33/025	..ただ 1 個の二重結合を有するもの [3]
29/84	....抽出蒸留によるもの [3]	33/03	... 位に有するもの、例、アリルアルコ - ル、メタリルアルコ - ル [3]
29/86	..液 液処理によるもの [3]	33/035	...アルケンジオ - ル [3]
29/88	..少なくとも 1 つの化合物の化学的変性をひきおこす処理によるもの [3]	33/04	・炭素 炭素三重結合を有する非環式アルコ - ル
29/90	...水素のみを使用するもの [3]	33/042	..1 個の三重結合を有するもの [3]
29/92	...連続的変換および再生によるもの [3]	33/044	...アルキンジオ - ル [3]
29/94	..添加剤の使用、例、安定化のためのもの [3]	33/046	....ブチンジオ - ル [3]
31/00	非環式炭素原子に結合した水酸基または O 金属基をもつ飽和化合物	33/048	..二重結合および三重結合を有するもの [3]
31/02	・非環式一価アルコ - ル	33/05	・6 員芳香環以外の環を含有するアルコ - ル [2]
31/04	..メタノ - ル	A	単環式のもの [5 員環以上 33/12-33/16]
31/08	..エタノ - ル	B	縮合環系
31/10	..3 個の炭素原子を含有するもの	C	・2 環
31/12	..4 個の炭素原子を含有するもの	D	..[2,2,1] 系
31/125	..5 ないし 22 個の炭素原子を含有するもの [3]	E	・3 環
31/13	・飽和環を含有する一価アルコ - ル [2,3]	Z	その他
31/133	..単環式のもの [3]	33/12	..5 員環を含有するもの [3]
31/135	...5 または 6 員環を有するもの; ナフテンアルコ - ル [3]	33/14	..6 員環を含有するもの [3]
31/137	..縮合環系を有する多環式のもの [3]	33/16	..7 員環以上の環を含有するもの [3]
31/18	・非環式多価アルコ - ル	33/18	・環部分として 6 員芳香環のみを含有する一価アルコ - ル [3]
A	5 価アルコ - ル [例、キシリット]	33/20	..単環式のもの [3]
Z	その他のもの	33/22	...ベンジルアルコ - ル; フェニルエチルアルコ - ル [3]
		33/24	..縮合環系を有しない多環式のもの [3]
		33/26	・環部分として 6 員芳香環のみを含有する多価アルコ - ル [3]



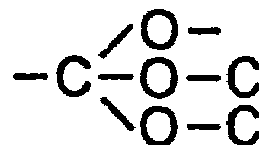
33/28	・環部分として 6 員芳香環のみを含有し、芳香環以外に不飽和結合を有するアルコ - ル [3]	35/34	・・・[ 5.3.0 ] 系の縮合環系のもの、例 . アズレノ - ル [3]
33/30	・・・単環式のもの [3]	35/36	・・・[ 4.4.0 ] 系の縮合環系のもの、例 . 水素化されたナフト - ル [3]
33/32	・・・桂皮アルコ - ル [3]	35/37	・・・3 個の環をもつ縮合環系に水酸基を有するもの [3]
33/34	・6 員芳香環および他の環を含有する一価アルコ - ル [3]	35/38	・・・フルオレン骨格から誘導されるもの [3]
A	非縮合環のみからなるもの	35/40	・・・アントラセン骨格から誘導されるもの [3]
B	縮合環をもつもの	35/42	・・・フェナントレン骨格から誘導されるもの [3]
Z	その他	35/44	・・・4 個以上の環をもつ縮合環系に水酸基を有するもの
33/36	・6 員芳香環および他の環を含有する多価アルコ - ル [3]	35/46	・環に結合した水酸基の O 金属誘導体 [3]
33/38	・6 員芳香環および他の環を含有し、芳香環以外に不飽和結合をもつアルコ - ル [3]	35/48	・ハロゲン化された誘導体 [3]
33/40	・ハロゲン化されている不飽和アルコ - ル [3]	35/50	・・・少なくとも 2 個の環を有するアルコ - ル [3]
33/42	・・・非環式のもの [3]	35/52	・・・縮合環系を有するアルコ - ル [3]
33/44	・・・6 員芳香環以外の環を含有するもの [3]	37/00	6 員芳香環の炭素原子に結合している水酸基または O 金属基をもつ化合物の製造
33/46	・・・環部分として 6 員芳香環のみを含有するもの [3]	37/01	・6 員芳香環に結合している官能基を水酸基によって置換することによるもの、例 . 加水分解によるもの [3]
33/48	・・・芳香環以外に不飽和結合を有するもの [3]	37/02	・・・ハロゲンの置換によるもの [3]
33/50	・・・6 員芳香環および他の環を含有するもの [3]	37/04	・・・SO <sub>3</sub> H 基またはその誘導体の置換によるもの [3]
35/00	6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合している少なくとも 1 個の水酸基または O 金属基をもつ化合物 [2]	37/045	・・・環に結合した窒素をもつ基の置換によるもの [3]
35/02	・単環式のもの	37/05	・・・NH <sub>2</sub> 基の置換によるもの [3]
35/04	・・・3 または 4 員環を含有するもの	37/055	・・・環に結合した酸素をもつ基、例 . エ - テル基の置換によるもの [3]
35/06	・・・5 員環を含有するもの	37/06	・非芳香族 6 員環の転換によるものまたはその場で芳香族 6 員環を生成する環の転換によるもの、例 . 脱水素反応
35/08	・・・6 員環を含有するもの	37/07	・同時に環における C = O 基の還元を伴うもの [3]
35/12	・・・メント - ル	37/08	・ヒドロパ - オキサイドの分解によるもの、例 . クメンヒドロパ - オキサイド
35/14	・・・環に結合している 2 個以上の水酸基を有するもの	37/11	・炭素原子数の増加する反応によるもの [3]
35/16	・・・イノシト - ル	37/14	・・・付加反応によるもの、すなわち、少なくとも 1 個の炭素 炭素不飽和結合が関与する反応 [3]
35/17	・・・環以外にのみ不飽和結合を有するもの [3]	37/16	・・・フェノ - ルまたはアルコ - ルの水酸基またはそれらから誘導されるエ - テルまたは鉱酸エステル基が関与する縮合反応によるもの [3]
35/18	・・・環に少なくとも不飽和結合を有するもの [3]	37/18	・・・ハロゲン化された化合物のハロゲン原子が関与する縮合反応によるもの
35/20	・・・7 または 8 員環を有するもの	37/20	・・・アルデヒドまたはケトンを用いるもの
35/205	・・・9-12 員環を含有するもの、例 . シクロドデカノ - ル [3]	37/48	・置換されていてもよい炭化水素基と他の化合物との交換によるもの、例 . トランスアルキル化反応 [3]
35/21	・多環式のもの、非縮合環に結合している少なくとも 1 つの水酸基をもつもの [2]	37/50	・炭素原子数の減少する反応によるもの (C07C37/01, C07C37/08, C07C37/48 が優先) [3]
35/22	・多環式のもの、縮合環系に結合している少なくとも 1 つの水酸基をもつもの [2]	37/52	・・・多環式芳香族化合物の開裂によるもの、例 . ポリフェノ - ルアルカン [3]
35/23	・・・2 個の環をもつ縮合環系に水酸基を有するもの [3]	37/54	・・・リグニンまたは亜硫酸塩廃液の加水分解によるもの [3]
35/24	・・・5 個の炭素原子を含有する縮合環系のもの [3]	37/56	・・・カルボキシル基またはアルデヒド基を水酸基によって置換することによるもの [3]
35/26	・・・ビスクロベンタジエノ - ル [3]		
35/27	・・・6 個の炭素原子を含有する縮合環系のもの [3]		
35/28	・・・7 個の炭素原子を含有する縮合環系のもの [3]		
35/29	・・・[ 2.2.1 ] 系 [3]		
35/30	・・・ボルネオ - ル ; イソボルネオ - ル [3]		
35/31	・・・8 個の炭素原子を含有する縮合環系のもの [3]		
35/32	・・・[ 4.3.0 ] 系の縮合環系のもの、例 . インデノ - ル [3]		

- 37/58 ・分子状酸素を用いて 6 員芳香環の CH 基に直接水酸基を導入する酸化反応によるもの [3]
- 37/60 ・分子状酸素以外の酸化剤またはそれらと分子状酸素との混合物を用いて 6 員芳香環の CH 基に直接水酸基を導入する酸化反応によるもの [3]
- 37/62 ・ハロゲンの導入によるもの; ハロゲン原子を他のハロゲン原子によって置換することによるもの [3]
- 37/64 ・6 員芳香環の炭素原子に結合する O 金属基を有する O 金属化合物の製造 [3]
- 37/66 ・水酸基の O 金属基への転換によるもの [3]
- 37/68 ・分離; 精製; 安定化; 添加剤の使用 [3]
- 37/70 ・物理的処理によるもの [3]
- 37/72 ・液 液処理によるもの [3]
- 37/74 ・蒸留によるもの [3]
- 37/76 ・水蒸気蒸留によるもの [3]
- 37/78 ・共沸蒸留によるもの [3]
- 37/80 ・抽出蒸留によるもの [3]
- 37/82 ・固 液処理によるもの; 化学吸着によるもの [3]
- 37/84 ・結晶化によるもの [3]
- 37/86 ・化学的変性をひきおこす処理によるもの (化学吸着 C07C37/82) [3]
- 37/88 ・添加剤の使用, 例. 安定化のためのもの [3]
- 39/00 6 員芳香環の炭素原子に結合している少なくとも 1 個の水酸基または O 金属基をもつ化合物
- このグループにおいては, 6 員芳香環と他の環との縮合環系においては, ベンゼン環の二重結合はベンゼン環に縮合する非芳香環の不飽和結合とはみなさない。 [3]
- 39/02 ・芳香環以外に不飽和結合を有しない単環式のもの
- 39/04 ・フェノール
- 39/06 ・アルキル化フェノール
- 39/07 ・アルキル基としてメチル基のみを含有するもの, 例. クレゾール, キシレンール [3]
- 39/08 ・ジヒドロキシベンゼン; それらのアルキル誘導体
- 39/10 ・ポリヒドロキシベンゼン; それらのアルキル誘導体 (C07C39/08 が優先)
- 39/11 ・非環式的に結合している水酸基を含有するアルキル化ヒドロキシベンゼン, 例. サリゲノール [3]
- 39/12 ・芳香環以外に不飽和結合を有しない多環式のもの
- 39/14 ・少なくとも 1 個の水酸基を, 2 個の環を含有する 1 個の縮合環系に有するもの [3]
- 39/15 ・すべての水酸基を非縮合環に有するもの [3]
- 39/16 ・ビス (ヒドロキシフェニル) アルカン; トリス (ヒドロキシフェニル) アルカン [3]
- 39/17 ・6 員芳香環とともに他の環を含有するもの [2]
- 39/18 ・芳香環以外に不飽和結合を有する単環式のもの
- 39/19 ・炭素 炭素二重結合を含有するが炭素炭素三重結合は含有しないもの [3]
- 39/20 ・ヒドロキシスチレン [3]

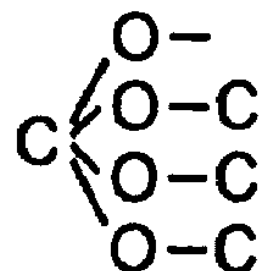
- 39/205 ・環部分として 6 員芳香環のみを含有し, 環以外に不飽和結合を有する多環式のもの [3]
- 39/21 ・少なくとも 1 個の水酸基を非縮合環に有するもの [3]
- 39/215 ・ $\text{HO}-\text{C}_6\text{H}_4-\text{C}(\text{OH})=\text{C}(\text{OH})-\text{C}_6\text{H}_4-\text{OH}$  構造を含有するもの, 例. ジエチルスチルベストロール [3]
- 39/225 ・少なくとも 1 個の水酸基を縮合環系に有するもの [3]
- 39/23 ・6 員芳香環および他の環を含有し, 芳香環以外に不飽和結合を有する多環式のもの [3]
- 39/235 ・6 員芳香環に結合している水酸基の金属誘導体 [3]
- 39/24 ・ハロゲン誘導体
- 39/26 ・環の炭素原子に結合しているハロゲンを含有する単環式で 1 個の水酸基を有するもの
- 39/27 ・すべてのハロゲン原子が環についているもの
- 39/28 ・ハロゲンが 1 個の塩素原子であるもの
- 39/30 ・ハロゲンが 2 個の塩素原子であるもの
- 39/32 ・ハロゲンが 3 個の塩素原子であるもの
- 39/34 ・ハロゲンが 4 個の塩素原子であるもの
- 39/36 ・ペンタクロロフェノール
- 39/367 ・6 員芳香環のみを含有する多環式, 非縮合のもの, 例. ハロゲン化ポリ (ヒドロキシフェニル) アルカン [3]
- 39/373 ・すべての水酸基を非縮合環に有し, 芳香環以外に不飽和結合を有するもの [3]
- 39/38 ・少なくとも 1 個の水酸基を, 2 個の環を含有する縮合環系に有するもの
- 39/40 ・少なくとも 1 個の水酸基を, 3 個以上の環を含有する縮合環系に有するもの [3]
- 39/42 ・6 員芳香環および他の環を含有するもの [3]
- 39/44 ・6 員芳香環の炭素原子に結合している水酸基の金属誘導体 [3]
- 41/00 エテルの製造;



基,



基または



基をもつ化合物

の製造 [3]

・エテルの製造 [3]

41/01

- 41/02 .. オキシランからのもの [3]  
 41/03 ... オキシラン環と水酸基との反応によるもの [3]  
 41/05 .. 不飽和化合物への化合物の付加によるもの [3]  
 41/06 ... 有機化合物のみの付加によるもの [3]  
 41/08 .... 炭素 炭素三重結合への [3]  
 41/09 .. 水酸基を含有する化合物の脱水によるもの [3]  
 41/14 .. エ - テル基の酸素原子に結合する有機基を他の有機基によって交換することによるもの、例、トランスエ - テル化によるもの [3]  
 41/16 .. 鉱酸または有機酸のエステルと水酸基または O 金属基との反応によるもの [3]  
 41/18 .. エ - テル基の酸素結合を生成しない反応によるもの [3]  
 41/20 ... 炭素 炭素二重結合または三重結合の水素化によるもの [3]  
 41/22 ... ハロゲンの導入によるもの；ハロゲン原子を他のハロゲン原子によって置換することによるもの [3]  
 41/24 ... ハロゲンの脱離によるもの、例、HCl の脱離 [3]  
 41/26 ... 水酸基または O 金属基の導入によるもの [3]  
 41/28 ... アセタ - ルからのもの、例、脱アルコール分解によるもの [3]  
 41/30 ... 炭素原子数の増加によるもの、例、オリゴマ - 化によるもの [3]  
 41/32 .. 異性化によるもの [3]  
 41/34 .. 分離；精製；安定化；添加剤の使用 [3]  
 41/36 ... 固 液処理によるもの；化学吸着によるもの [3]  
 41/38 ... 液 液処理によるもの [3]  
 41/40 ... 物理的状態の変化によるもの、例、結晶化によるもの [3]  
 41/42 .... 蒸留によるもの [3]  
 41/44 ... 化学的変性をひきおこす処理によるもの（化学吸着によるもの C07C41/36） [3]  
 41/46 ... 添加剤の使用、例、安定化のためのもの [3]  
 41/48 . 基をもつ化合物の製造 [3]  

$$\begin{array}{c} \text{O} \\ \diagup \quad \diagdown \\ \text{C} \end{array} \begin{array}{c} \text{O}- \\ \diagdown \quad \diagup \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$$
  
 41/50 .. 基を生成する反応によるもの [3]  

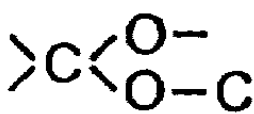
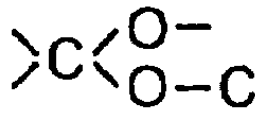
$$\begin{array}{c} \text{O} \\ \diagup \quad \diagdown \\ \text{C} \end{array} \begin{array}{c} \text{O}- \\ \diagdown \quad \diagup \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$$
  
 41/52 ... ハロゲンのみの置換によるもの [3]  
 41/54 ... 不飽和炭素 炭素結合への化合物の付加によるもの [3]  
 41/56 ... アルデヒド、パラホルムアルデヒド、またはケトンの縮合によるもの [3]  
 41/58 .. 分離；精製；安定化；添加剤の使用 [3]

- 41/60 . 基または基をもつ化合物の製造 [3]  

$$\begin{array}{c} \text{O} \\ \diagup \quad \diagdown \\ \text{C} \end{array} \begin{array}{c} \text{O}- \\ \diagdown \quad \diagup \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$$
  
 43/00 エ - テル；基，  

$$\begin{array}{c} \text{O} \\ \diagup \quad \diagdown \\ \text{C} \end{array} \begin{array}{c} \text{O}- \\ \diagdown \quad \diagup \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$$
  
 43/02 . エ - テル  
 43/03 .. すべてのエ - テル基の酸素原子が非環式炭素原子に結合しているもの [3]  
 43/04 ... 飽和エ - テル [3]  
 A 製法に特徴を有するもの  
 B 触媒に特徴を有するもの  
 C 化合物  
 D  $\text{CH}_3\text{OCH}_3$  及びその製法  
 E  $\text{CH}_3\text{OC}(\text{CH}_3)_3$  及びその製法  
 Z その他  
 43/06 .... ジエチルエ - テル [3]  
 43/10 .... ポリヒドロキシ化合物の [3]  
 43/11 ....  $2 \sim 10$  の O (C C O) n 単位を含有するポリエ - テル [2,3]  
 43/115 .... 炭素環を含有するもの [3]  
 43/12 .... ハロゲン含有するもの [3]  
 43/13 .... 水酸基または O 金属基を含有するもの（C07C43/11 が優先） [3]  
 A 製法に特徴を有するもの  
 B 触媒に特徴を有するもの  
 C 化合物  
 D ポリオ - ル化合物  
 Z その他  
 43/14 ... 不飽和エ - テル [3]  
 43/15 .... 非芳香族炭素 炭素二重結合のみを含有するもの [3]  
 43/16 .... ビニルエ - テル [3]

43/162	....6 員芳香環以外の環を含有するもの [3]
43/164	....6 員芳香環を含有するもの [3]
43/166	....芳香環以外に不飽和結合をもつもの [3]
43/168	....6 員芳香環および他の環を含有するもの [3]
43/17	....ハロゲンを含有するもの [2,3]
43/172	....6 員芳香環以外の環を含有するもの [3]
43/174	....6 員芳香環を含有するもの [3]
43/176	....芳香環以外に不飽和結合をもつもの [3]
43/178	....水酸基または O 金属基を含有するもの [3]
A	製法に特徴を有するもの
B	触媒に特徴を有するもの
C	化合物
D	ポリオ - ル化合物
Z	その他
43/18	..エ - テル基の酸素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの
A	製法に特徴を有するもの
B	触媒に特徴を有するもの
C	化合物
Z	その他
43/184	...非縮合環の炭素原子に結合しているもの [3]
43/188	...不飽和エ - テル [3]
43/192	...ハロゲンを含有するもの [3]
43/196	...水酸基または O 金属基を含有するもの [3]
43/20	..エ - テル基の酸素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの
A	製法に特徴を有するもの
B	触媒に特徴を有するもの
C	化合物
D	縮合環含有化合物
Z	その他
43/205	...芳香環が非縮合環であるもの [3]
A	製法に特徴を有するもの
B	触媒に特徴を有するもの
C	化合物
D	ビフェニル基含有化合物
Z	その他
43/21	....6 員芳香環以外の環を含有するもの [3]
43/215	....6 員芳香環以外に不飽和結合をもつもの [3]
43/225	....ハロゲンを含有するもの [3]
A	製法に特徴を有するもの
B	触媒に特徴を有するもの
C	化合物
D	ビフェニル基含有化合物
Z	その他
43/23	...水酸基または O 金属基を含有するもの [3]
A	製法に特徴を有するもの
B	触媒に特徴を有するもの
C	化合物
D	ポリオ - ル化合物
E	ハロゲン含有化合物

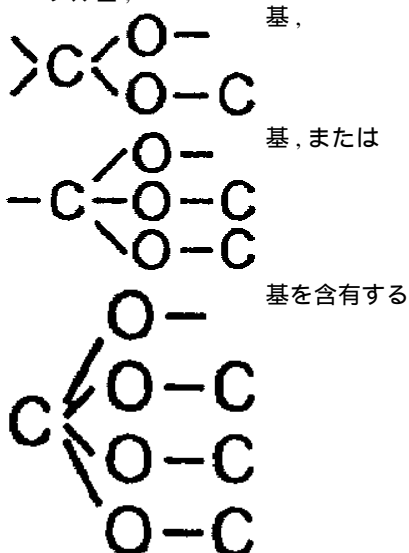
F	ビスフェノ - ル AO 付加物誘導体及びその製法
G	2,3,5 - 置換ハイドロキノン誘導体及びその製法
Z	その他
43/235	..エ - テル基の酸素原子が 6 員芳香環の炭素原子および 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [3]
43/243	...6 員芳香環以外に不飽和結合をもつもの [3]
43/247	...ハロゲンを含有するもの [3]
43/253	...水酸基または O 金属基を含有するもの [3]
43/257	..エ - テル基の酸素原子がともに 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [3]
A	製法に特徴を有するもの
B	触媒に特徴を有するもの
C	化合物
D	Ar - O - Ar 以外のエ - テル基含有化合物
Z	その他
43/263	...芳香環が非縮合環であるもの [3]
43/267	...他の環を含有するもの [3]
43/275	...すべてのエ - テル基の酸素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [3]
43/285	...6 員芳香環以外に不飽和結合をもつもの [3]
43/29	...ハロゲンを含有するもの [3]
A	製法に特徴を有するもの
B	触媒に特徴を有するもの
C	化合物
D	Ar - O - Ar 以外のエ - テル基含有化合物
Z	その他
43/295	...水酸基または O 金属基を含有するもの [3]
A	製法に特徴を有するもの
B	触媒に特徴を有するもの
C	化合物
D	Ar - O - Ar 以外のエ - テル基含有化合物
Z	その他
43/30	・  基をもつ化合物
	アセタ - ルの炭素原子は  基の炭素原子である [3]
43/303	..アセタ - ルの炭素原子が非環式炭素原子に結合しているもの [3]
43/305	..アセタ - ルの炭素原子が環を構成しているかまたは 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [3]
43/307	..アセタ - ルの炭素原子が 6 員芳香環に結合しているもの [3]
43/313	...ハロゲンを含有するもの [3]
43/315	..アセタ - ルの炭素原子以外の炭素原子に単結合している酸素原子を含有するもの [3]

43/317	..		基をもつもの
			, ただし X は水素または金属 [3]
43/32	..		基または
			基をもつ化合物
45/00	炭素原子または水素原子のみに結合している $>C=O$ 基をもつ化合物の製造; それらの化合物のキレ - トの製造 [2]		
45/26	・炭素 炭素三重結合の水和によるもの [3]		
45/27	・酸化によるもの [3]		
45/28	.. $CH_x$ 部分の [3]		
45/29	.. 水酸基の [3]		
45/30	.. ハロゲン含有化合物を用いるもの, 例 . ハイポハロゲネ - ション ( hypohalogenation ) [3]		
45/31	.. 水銀原子を含有する化合物を用いるもの。その化合物は, たとえば酸素によってその場で再生されたものでもよい [3]		
45/32	.. 分子状酸素を用いるもの [3]		
45/33	... $CH_x$ 部分の [3]		
45/34	.... 不飽和化合物における [3]		
45/35	..... プロペンまたはイソブテンにおける [3]		
45/36	..... 6 員芳香環を含有する化合物における [3]		
45/37	...		基の $>C=O$ 基への [3]
45/38	.... 第一級水酸基の [3]		
45/39	.... 第二級水酸基の [3]		
45/40	・オゾンによる酸化によるもの; オゾン分解によるもの [3]		
45/41	・カルボキシル基またはその官能基の誘導体の水添分解または還元によるもの [3]		
45/42	・加水分解によるもの [3]		
45/43	.. $>CX_2$ の, X はハロゲン [3]		
45/44	・ニトリルの還元および加水分解によるもの [3]		
45/45	・縮合によるもの [3]		
45/46	.. フリ - デル クラフツ反応によるもの [3]		
45/47	.. ホスゲンを用いるもの [3]		
45/48	.. 脱カルボキシル反応の関与するもの [3]		
45/49	・酸化炭素との反応によるもの [3]		

45/50	.. オキシ反応によるもの [3]
45/51	・熱分解, 転位または分解によるもの [3]
45/52	.. 同一分子中の 2 つの水酸基の関与する脱水および転位反応によるもの [3]
45/53	.. ヒドロパ - オキサイドの [3]
45/54	.. 二重結合している酸素原子を含有する化合物の, 例 . エステル [3]
45/55	.. オキシ化合物のオリゴマ - またはポリマ - の [3]
45/56	・複素環式化合物からのもの ( C07C45/55 が優先 ) [3]
45/57	.. 異種原子として酸素原子を有するもの [3]
45/58	... 3 員環の [3]
45/59	... 5 員環の ( オゾナイドからのもの C07C45/40 ) [3]
45/60	... 6 員環の [3]
45/61	・ $>C=O$ 基の生成を伴わない反応によるもの [3]
45/62	.. 炭素 炭素二重結合または三重結合の水素化によるもの [3]
45/63	.. ハロゲンの導入によるもの; ハロゲン原子を他のハロゲン原子によって置換することによるもの [3]
45/64	.. 単結合の酸素原子を含有する官能基の導入によるもの [3]
45/65	.. 水素原子または官能基の離脱によるもの; 官能基の水添分解によるもの [3]
45/66	... 脱水反応によるもの [3]
45/67	.. 異性化によるもの; 炭素骨格の大きさを变化させることによるもの [3]
45/68	... 炭素数の増加によるもの [3]
45/69	.... 炭素 炭素二重結合または三重結合への付加によるもの [3]
45/70	.... 単結合の酸素原子を含有する官能基との反応によるもの [3]
45/71	..... 水酸基であるもの [3]
45/72	.... $>C=O$ 基を含有する化合物と $>C=O$ 基を含有する同一または他の化合物との反応によるもの [3]
45/73	..... 水素化と組み合せたもの [3]
45/74	..... 脱水と組み合せたもの [3]
45/75	.... ホルムアルデヒドとの反応 [3]
45/76	... ケテンを用いるもの [3]
45/77	・アルデヒドのキレ - トまたはケトンのキレ - トの製造 [3]
45/78	・分離; 精製; 安定化; 添加剤の使用 [3]
45/79	.. 固 液処理によるもの; 化学吸着によるもの [3]
45/80	.. 液 液処理によるもの [3]
45/81	.. 物理的状態の変化によるもの, 例 . 結晶化 [3]
45/82	... 蒸留によるもの [3]
45/83	.... 抽出蒸留によるもの [3]
45/84	.... 共沸蒸留によるもの [3]
45/85	.. 化学的変性をひきおこす処理によるもの [3]
45/86	.. 添加剤の使用, 例 . 安定化のためのもの [3]
45/87	・ケテンまたはケテン二量体の製造 [3]
45/88	.. ケトンからのもの [3]

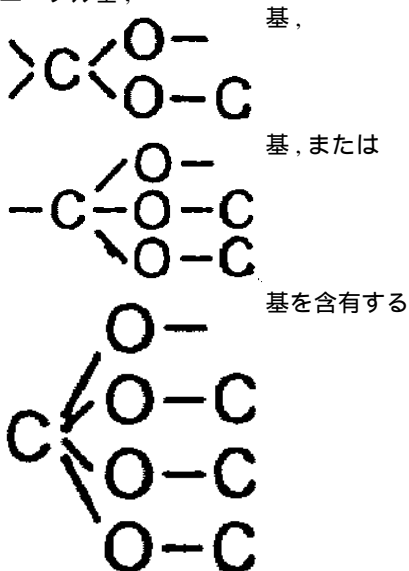
45/89	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カルボン酸、その酸無水物、エステルまたは酸ハロゲン化物からのもの [3]</li> </ul>	47/198	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エ - テル基、             基、             基、または             基を含有するもの [3]</li> </ul>
45/90	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分離；精製；安定化；添加剤の使用 [3]</li> </ul>	47/20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非環式炭素原子に結合している CHO 基をもつ不飽和化合物</li> </ul>
46/00	キノンの製造 [3]	47/21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不飽和結合として炭素 炭素二重結合のみを有するもの [3]</li> </ul>
46/02	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キノン構造を生成する酸化反応によるもの [3]</li> </ul>	47/22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクロレイン；メタクロレイン [3]</li> </ul>
46/04	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6 員芳香環の置換していない環炭素原子の [3]</li> </ul>	A	Mo が必須の金属触媒系によりオレフィンに酸素酸化するもの
46/06	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6 員芳香環上の少なくとも 1 個の水酸基の [3]</li> </ul>	B	Mo が必須で Bi が選択的に記載されている金属触媒系によりオレフィンを酸素酸化するもの
46/08	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分子状酸素を用いるもの [3]</li> </ul>	C	Mo が必須で Bi が必ず含まれない金属触媒系によりオレフィンを酸素酸化するもの
46/10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分離；精製；安定化；添加剤の使用 [3]</li> </ul>	D	Mo が選択的に記載されている金属触媒系によりオレフィンを酸素酸化するもの
47/00	CHO 基をもつ化合物	E	Mo が必ず含まれず、かつ、Bi が必須又は選択的に記載されている金属触媒系によりオレフィンを酸素酸化するもの
47/02	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非環式炭素原子または水素に結合している CHO 基をもつ飽和化合物</li> </ul>	F	Mo が必須で Bi が共に必ず含まれない触媒系によりオレフィンを酸素酸化するもの
47/04	・ホルムアルデヒド	G	オレフィンを酸素酸化するもので、触媒系の組成以外の点に特徴があるもの〔例、〔アルデヒド含有生成物の分離・回収を含む〕製造工程に特徴があるもの〕
47/042	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一酸化炭素からの製造 [3]</li> </ul>	H	オレフィンの酸素酸化以外の方法
47/045	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解重合による製造 [3]</li> </ul>	J	・ブチルアルコ - ルの酸化によるもの
47/048	<ul style="list-style-type: none"> <li>・炭化水素の酸化による製造 [3]</li> </ul>	K	アルデヒドの単離、精製、安定化〔G,H,J が優先〕
47/052	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メタノ - ルの酸化による製造 [3]</li> </ul>	Z	その他
47/055	<ul style="list-style-type: none"> <li>・触媒として貴金属またはその化合物を用いるもの [3]</li> </ul>	47/222	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不飽和結合として炭素 炭素三重結合のみを有するもの [3]</li> </ul>
47/058	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分離；精製；安定化；添加剤の使用 [3]</li> </ul>	47/225	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6 員芳香環以外の環を含有するもの [3]</li> </ul>
A	分離、精製、濃縮	47/228	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6 員芳香環を含有するもの、例、フェニルアセトアルデヒド [3]</li> </ul>
B	安定化	47/23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多環式のもの [3]</li> </ul>
Z	その他〔含、廃液・廃ガスの処理〕	47/232	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芳香環以外に不飽和結合をもつもの [3]</li> </ul>
47/06	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセトアルデヒド</li> </ul>	47/235	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6 員芳香環および他の環を含有するもの [3]</li> </ul>
A	アセチレンからの製造		
B	オレフィンからの製造		
C	メチルアルコ - ルからの製造		
D	一酸化炭素及び水素からの製造〔C が優先〕		
Z	その他		
47/07	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酸化による製造 [3]</li> </ul>		
47/09	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分離；精製；安定化；添加剤の使用 [3]</li> </ul>		
47/105	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環を含有するもの [3]</li> </ul>		
47/11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単環式のもの [3]</li> </ul>		
47/115	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縮合環系を含有するもの [3]</li> </ul>		
47/12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2 以上の CHO 基を含有するもの</li> </ul>		
47/127	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリオキサ - ル [3]</li> </ul>		
47/133	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環を含有するもの [3]</li> </ul>		
47/14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハロゲンを含むもの</li> </ul>		
47/16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トリクロロアセトアルデヒド</li> </ul>		
47/17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環を含有するもの [3]</li> </ul>		
47/19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水酸基を含有するもの [2,3]</li> </ul>		
47/192	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環を含有するもの [3]</li> </ul>		
47/195	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハロゲンを含有するもの [3]</li> </ul>		

- 47/238 ... 芳香環以外に不飽和結合をもつもの [3]  
 47/24 ... ハロゲンを含むもの  
 47/26 ... 水酸基を含有するもの [3]  
 47/263 ... 非環式のもの [3]  
 47/267 ... 6 員芳香環以外の環を含有するもの [3]  
 47/27 ... 6 員芳香環を含有するもの [3]  
 47/273 ... ハロゲンを含有するもの [3]  
 47/277 ... エ - テル基,



もの [3]

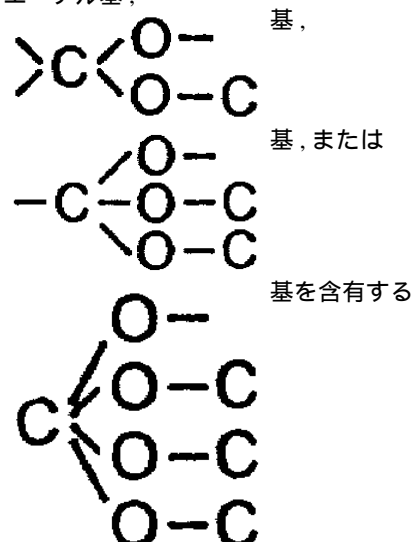
- 47/28 ... 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合している CHO 基をもつ飽和化合物  
 47/293 ... 3 または 4 員環を有するもの [3]  
 47/30 ... 5 員環を有するもの  
 47/32 ... 6 員環を有するもの  
 47/33 ... 7-12 員環を有するもの [3]  
 47/34 ... 多環式のもの  
 47/347 ... 縮合環系上に CHO 基をもつもの [3]  
 47/353 ... ハロゲンを含有するもの [3]  
 47/36 ... 水酸基を含有するもの  
 47/37 ... エ - テル基,



もの [3]

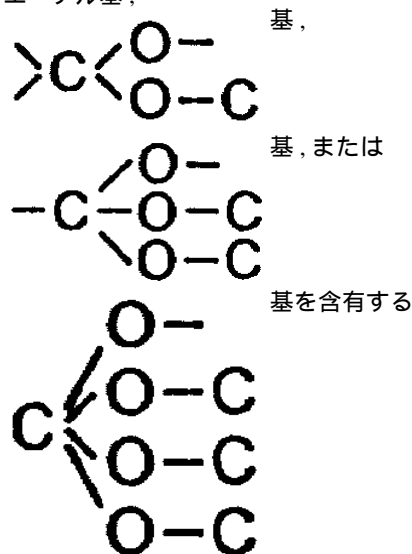
- 47/38 ... 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合する CHO 基をもつ不飽和化合物  
 47/395 ... 3 または 4 員環を有するもの [3]

- 47/40 ... 5 員環を有するもの [3]  
 47/42 ... 6 員環を有するもの [3]  
 47/43 ... 7-12 員環を有するもの [3]  
 47/44 ... 多環式のもの [3]  
 47/445 ... 縮合環系を含有するもの [3]  
 47/45 ... 環以外に不飽和結合をもつもの [2]  
 47/453 ... 6 員芳香環を含有するもの [3]  
 47/457 ... ハロゲンを含有するもの [3]  
 47/46 ... 水酸基を含有するもの  
 47/47 ... エ - テル基,



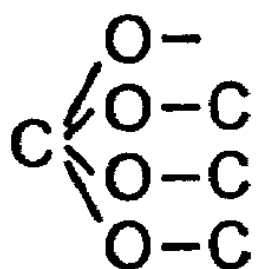
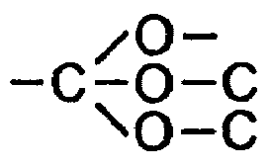
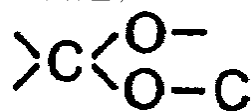
もの [3]

- 47/52 ... 6 員芳香環の炭素原子に結合している CHO 基をもつ化合物  
 47/54 ... ベンズアルデヒド  
 47/542 ... アルキル化ベンズアルデヒド [3]  
 47/544 ... ジホルミル ベンゼン; そのアルキル化誘導体 [3]  
 47/546 ... 多環式のもの [3]  
 47/548 ... 6 員芳香環以外に不飽和結合をもつもの [3]  
 47/55 ... ハロゲンを含有するもの [2]  
 47/56 ... 水酸基を含有するもの  
 47/565 ... すべての水酸基が環に結合してるもの [3]  
 47/57 ... 多環式のもの [3]  
 47/575 ... エ - テル基,



もの [3]

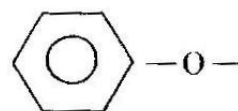
- 47/58 ...バニリン  
 49/00 ケトン；ケテン；二量化ケテン；ケトン性キレ-ト  
 49/04 ・非環式炭素原子に結合しているケト基を含有する飽和化合物  
 A >C = O 基の生成を伴う反応によるもの  
 E >C = O 基の生成を伴わない反応によるもの  
 J 分離，精製，安定化  
 Z その他〔新規化合物〕  
 49/08 ・アセトン [3]  
 A >C = O 基の生成を伴う反応によるもの  
 E >C = O 基の生成を伴わない反応によるもの  
 J 分離，精製，安定化  
 Z その他のもの  
 49/10 ・メチル エチルケトン [3]  
 49/105 ・環を含有するもの [3]  
 49/11 ...単環式のもの [3]  
 49/115 ...縮合環系を含有するもの [3]  
 49/12 ...2 個以上のケト基を含有するケトン  
 49/14 ...アセチルアセトン；すなわち，2,4 ペンタンジオン  
 49/15 ...環を含有するもの [3]  
 49/16 ...ハロゲンを含むもの  
 49/163 ...環を含有するもの [3]  
 49/167 ...ハロゲンとしてフッ素のみを含有するもの [3]  
 49/17 ・水酸基を含有するもの [2]  
 A >C = O 基の生成を伴う反応によるもの  
 E >C = O 基の生成を伴わない反応によるもの  
 J 分離，精製，安定化  
 Z その他のもの  
 49/172 ...環を含有するもの [3]  
 49/173 ...ハロゲンを含有するもの [3]  
 49/175 ...エ-テル基，



もの [2,3]

- A  $-(\text{C})_n-\text{O}-(\text{C})_n-$  <sup>n</sup> 1

B

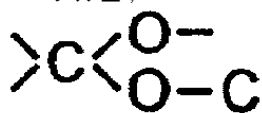


- Z その他のもの  
 49/185 ... CHO 基を含有するもの [3]  
 49/20 ・非環式炭素原子に結合しているケト基を含有する不飽和化合物  
 A >C = O 基の生成を伴う反応によるもの  
 E >C = O 基の生成を伴わない反応によるもの  
 J 分離，精製，安定化  
 Z その他のもの  
 49/203 ・不飽和結合として炭素 炭素二重結合のみを有するもの [3]  
 A >C = O 基の生成を伴う反応によるもの  
 E >C = O 基の生成を伴わない反応によるもの  
 J 分離，精製，安定化  
 Z その他のもの  
 49/205 ...メチル ビニルケトン [3]  
 49/207 ・不飽和結合として炭素 炭素三重結合のみを有するもの [3]  
 49/21 ...6 員芳香環以外の環を含有するもの [3]  
 49/213 ...6 員芳香環を含有するもの [3]  
 49/215 ...多環式のもの [3]  
 49/217 ...芳香環以外に不飽和結合をもつもの [3]  
 49/223 ...多環式のもの [3]  
 49/225 ...6 員芳香環および他の環を含有するもの [3]  
 49/227 ...ハロゲンを含有するもの [3]  
 49/23 ...6 員芳香環以外の環を含有するもの [3]  
 49/233 ...6 員芳香環を含有するもの [3]  
 49/235 ...芳香環以外に不飽和結合をもつもの [3]  
 49/237 ...6 員芳香環および他の環を含有するもの [3]  
 49/24 ...水酸基を含有するもの  
 49/242 ...6 員芳香環以外の環を含有するもの [3]  
 49/245 ...6 員芳香環を含有するもの [3]  
 49/248 ...芳香環以外に不飽和結合をもつもの [3]  
 49/252 ...6 員芳香環および他の環を含有するもの [3]

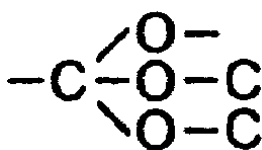


49/255

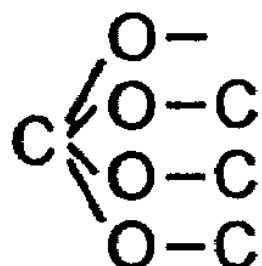
..エ - テル基,



基,

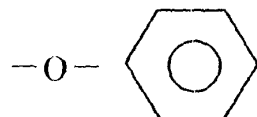


基,または



基を含有する

もの [3]

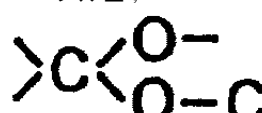
A  $-(\text{C})_n-\text{O}-(\text{C})_n-, n \geq 1$ B  または

Z その他のもの

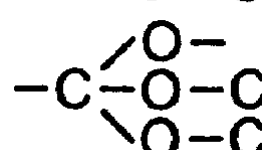
- 49/258 .. CHO 基を含有するもの [3]  
 49/29 .. 環に結合しているケト基を含有する飽和化合物 [3]  
 49/293 .. 3 または 4 員環に [3]  
 49/297 .. 5 員環に [3]  
 49/303 .. 6 員環に [3]  
 49/307 .. 7-12 員環に [3]  
 49/313 .. 多環式のもの [3]  
 49/317 .. ケト基に結合している炭素原子がともに環に属しているもの [3]  
 49/323 .. 縮合環系に結合しているケト基をもつもの [3]  
 49/327 .. ハロゲンを含有するもの [3]  
 49/333 .. 多環式のもの [3]  
 49/337 .. 水酸基を含有するもの [3]  
 49/345 .. 多環式のもの [3]

49/35

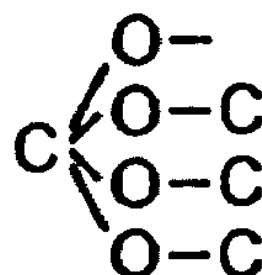
..エ - テル基,



基,



基,または



基を含有する

もの [3]

49/355

49/385

.. CHO 基を含有するもの [3]

.. 環部分を構成しているケト基を含有する飽和化合物 [3]

A  $>\text{C}=\text{O}$  基の生成を伴う反応によるものE  $>\text{C}=\text{O}$  基の生成を伴わない反応によるもの

J 分離, 精製, 安定化

Z その他のもの [ 新規化合物 ]

49/39

49/395

49/403

.. 3 または 4 員環の [3]

.. 5 員環の [3]

.. 6 員環の [3]

A  $>\text{C}=\text{O}$  基の生成を伴う反応によるものE  $>\text{C}=\text{O}$  基の生成を伴わない反応によるもの

J 分離, 精製, 安定化

Z その他のもの [ 新規化合物 ]

49/407

49/413

49/417

49/423

49/427

49/433

49/437

49/443

49/447

49/453

49/457

49/463

49/467

49/473

49/477

49/483

49/487

49/493

... メントン [3]

.. 7-12 員環の [3]

.. 多環式のもの [3]

.. ケト基が縮合環系の一部を構成しているもの [3]

.... 2 個の環をもつもの [3]

..... 縮合環系が 7 個の炭素原子を含有するもの [3]

..... 樟脳; フェンコン [3]

..... 縮合環系が 8 または 9 個の炭素原子を含有するもの [3]

..... 縮合環系が 10 個の炭素原子を含有するもの [3]

.... 3 個の環をもつもの [3]

.. ハロゲンを含有するもの [3]

.. ケト基が 6 員環の環部分を構成しているもの [3]

.. 多環式のもの [3]

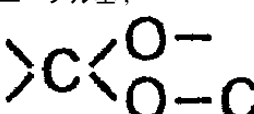
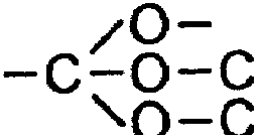
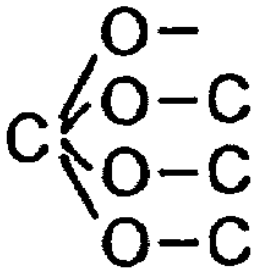
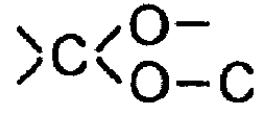
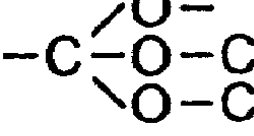
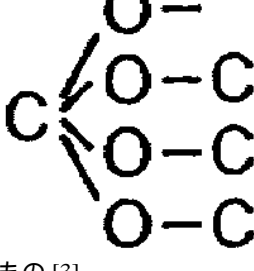
.... ケト基が縮合環系の環部分を構成しているもの [3]

..... 2 個の環をもつもの [3]

..... 3 個の環をもつもの [3]

.. 水酸基を含有するもの [3]

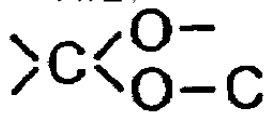
.. ケト基が 3-5 員環の環部分を構成しているもの [3]

49/497	...ケト基が6員環の環部分を構成しているもの [3]
49/503	...ケト基が7-12員環の環部分を構成しているもの [3]
49/507	...多環式のもの [3]
49/513	...ケト基が縮合環系の環部分を構成しているもの [3]
49/517	..エ - テル基 ,  基 ,  基 , または  基を含有する もの [3]
49/523	.. CHO 基を含有するもの [3]
49/527	・6員芳香環以外の環に結合しているケト基を含有する不飽和化合物 [3]
49/533	..3 または 4 員環に [3]
49/537	..5 員環に [3]
49/543	..6 員環に [3]
49/547	..7-12 員環に [3]
49/553	..多環式のもの [3]
49/557	..環以外に不飽和結合をもつもの [3]
49/563	..6 員芳香環を含有するもの [3]
49/567	..ハロゲンを含有するもの [3]
49/573	..水酸基を含有するもの [3]
49/577	..エ - テル基 ,  基 ,  基 , または  基を含有する もの [3]
49/583	.. CHO 基を含有するもの [3]
49/587	・環部分を構成しているケト基を含有する不飽和化合物 [3]

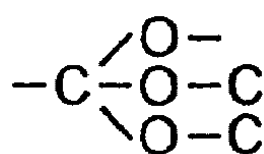
A	>C = O 基の生成を伴う反応によるもの
E	>C = O 基の生成を伴わない反応によるもの
J	分離, 精製, 安定化
Z	その他のもの [ 新規化合物 ]
49/593	...3 または 4 員環の [3]
49/597	...5 員環の [3]
49/603	...6 員環の [3]
49/607	...7-12 員環の [3]
49/613	...多環式のもの [3]
49/617	...ケト基が縮合環系の環部分を構成しているもの [3]
49/623	....2 個の環をもつもの [3]
49/627	....縮合環系が 7 個の炭素原子を含有するもの [3]
49/633	....縮合環系が 8 または 9 個の炭素原子を含有するもの [3]
49/637	....縮合環系が 10 個の炭素原子を含有するもの [3]
49/643	....3 個の環をもつもの [3]
49/647	..環以外に不飽和結合をもつもの [3]
49/653	...多環式のもの [3]
49/657	..6 員芳香環を含有するもの [3]
49/665	...ケト基が縮合環系の環部分を構成しているもの [3]
49/67	....2 個の環をもつもの, 例 . テトラロン [3]
49/675	....3 個の環をもつもの [3]
49/683	...芳香環以外に不飽和結合をもつもの [3]
49/687	..ハロゲンを含有するもの [3]
49/693	...多環式のもの [3]
49/697	...6 員芳香環を含有するもの [3]
49/703	..水酸基を含有するもの [3]
49/707	...ケト基が 3-5 員環の環部分を構成しているもの [3]
49/713	...ケト基が 6 員環の環部分を構成しているもの [3]
49/717	...ケト基が 7-12 員環の環部分を構成しているもの [3]
49/723	...多環式のもの [3]
49/727	...ケト基が縮合環系の環部分を構成しているもの [3]
49/733	....2 個の環をもつもの [3]
49/737	....3 個の環をもつもの [3]
49/743	..環以外に不飽和結合をもつもの, 例 . フムロン, ルブロン [3]
A	3-5 員環
B	6 員環以上
C	多環式
Z	その他のもの
49/747	...6 員芳香環を含有するもの [3]
A	ケト基が 3-5 員環の環部分を構成しているもの
B	ケト基が 6 員環以上の環部分を構成しているもの
C	ケト基が縮合環系の環部分を構成しているもの
Z	その他のもの

49/753

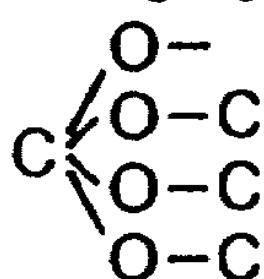
.. エ - テル基,



基,



基, または



基を含有する

もの [3]

- A すべてのエ - テル基の酸素原子が非環式炭素原子に結合しているもの  
 B エ - テル基の酸素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの  
 C エ - テル基の酸素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの  
 Z その他のもの

49/755

... ケト基が, 少なくとも 1 個の環が 6 員芳香環である 2 または 3 個の環を有する縮合環系の環部分を構成しているもの [3]

49/757

.. CHO 基を含有するもの [3]

49/76

・ 6 員芳香環に結合しているケト基を含有するケトン (縮合環系の環部分を構成し, 6 員芳香環に結合しているケト基をもつ化合物 C07C49/657-C07C49/757)

- A  $>C=O$  基の生成を伴う反応によるもの  
 B ・縮合のみによる反応によるもの  
 E  $>C=O$  基の生成を伴わない反応によるもの  
 J 分離, 精製, 安定化  
 Z その他のもの [ 新規化合物 ]

49/78

.. アセトフェノン

49/782

... 多環式のもの [3]

49/784

... すべてのケト基が非縮合環に結合しているもの [3]

49/786

... ベンゾフェノン [3]

49/788

... ケト基が縮合環系に結合しているもの [3]

49/792

... 6 員芳香環以外の環を含有するもの [3]

49/794

.. 芳香環以外に不飽和結合をもつもの [3]

49/796

... 多環式のもの [3]

49/798

... 6 員芳香環以外の環を含有するもの [3]

49/80

.. ハロゲンを含むもの

49/807

... すべてのハロゲン原子が環に結合しているもの [3]

49/813

... 多環式のもの [3]

49/82

.. 水酸基を含有するもの [3]

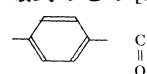
49/825

... すべての水酸基が環に結合しているもの [3]

49/83

... 多環式のもの [3]

A



骨格を有

するもの

Z

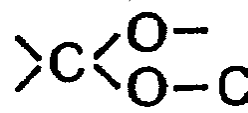
その他のもの

49/835

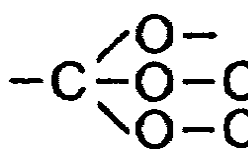
... 芳香環以外に不飽和結合をもつもの [3]

49/84

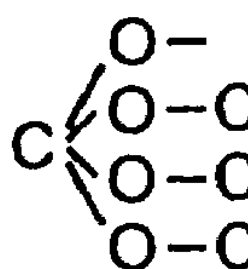
.. エ - テル基,



基,



基, または



基を含有する

もの [2,3]

- A すべてのエ - テル基の酸素原子が非環式炭素原子に結合しているもの  
 B エ - テル基の酸素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの  
 C エ - テル基の酸素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの  
 D ・ハロゲンを含有するもの  
 E ・水酸基を含有するもの  
 F エ - テル基の酸素原子が 6 員芳香環の炭素原子および 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの  
 G エ - テル基の酸素原子がともに 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの  
 Z その他のもの

49/86

.. CHO 基を含有するもの [3]

49/88

・ケテン; 二量化ケテン [3]

49/90

.. ケテン, すなわち,  $C_2H_2O$  [3]

49/92

・ケトン性キレ - ト [3]

50/00

キノン (キノンメチドに対しては, 環部分を構成しているケト基を有する不飽和ケトンを参照) [3]

このグル - プにおいては, キンヒドロンはそのキノイド部分にしたがって分類する。 [3]

50/02

・単環式キノイド構造を有するもの [3]

50/04

.. ベンゾキノン, すなわち,  $C_6H_4O_2$  [3]

50/06

.. キノイド構造以外に不飽和結合を有するもの [3]

50/08

・多環式非縮合キノイド構造を有するもの [3]

50/10

・キノイド構造が 2 個の環を含有する縮合環系の環部分を構成しているもの [3]

50/12

.. ナフトキノン, すなわち,  $C_{10}H_6O_2$  [3]

50/14

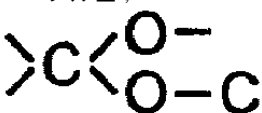
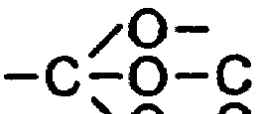
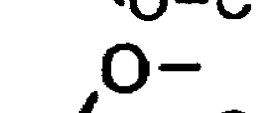
.. 環系以外に不飽和結合を有するもの, 例: ビタミン  $K_1$  [3]

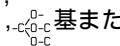

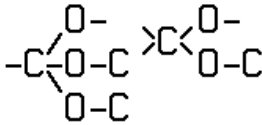
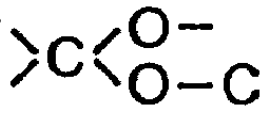
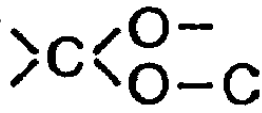
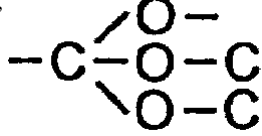
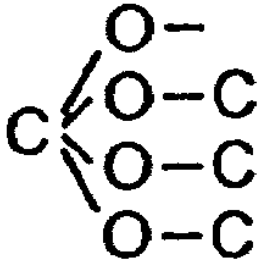
50/16	・キノイド構造が3個の環を含有する縮合環系の環部分を構成しているもの [3]	51/265	・・・アルキル側鎖を酸化してカルボキシル基にするもの [3]
50/18	・・アントラキノン, すなわち $C_{14}H_8O_2$ [3]	51/27	・・窒素酸化物または窒素を含有する鉱酸を用いるもの [3]
50/20	・・環系以外に不飽和結合を有するもの [3]	51/275	・・・炭化水素基の [3]
50/22	・キノイド構造が4個以上の環を含有する縮合環系の環部分を構成しているもの [3]	51/285	・・過酸化物を用いるもの [3]
50/24	・ハロゲンを含有するもの [3]	51/29	・・その場で形成してもよいハロゲンを含有する化合物を用いるもの [3]
50/26	・炭素原子に単結合している酸素原子をもつ基を含有するもの [3]	51/295	・・無機塩基を用いるもの, 例 . アルカリ熔融によるもの [3]
50/28	・・単環式キノイド構造を有するもの [3]	51/305	・硫黄または硫黄を含有する化合物を用いるもの [3]
50/30	・・多環式非縮合キノイド構造を有するもの [3]	51/31	・・環式化合物の環開裂を伴うもの [3]
50/32	・・キノイド構造が2個の環をもつ縮合環系の環部分を構成しているもの [3]	51/34	・オゾン酸化によるもの; オゾニドの加水分解によるもの [3]
50/34	・・キノイド構造が3個の環をもつ縮合環系の環部分を構成しているもの [3]	51/347	・カルボキシル基の生成を伴わない反応によるもの [3]
50/36	・・キノイド構造が4個以上の環をもつ縮合環系の環部分を構成しているもの [3]	51/353	・・異性化によるもの; 炭素骨格の大きさを変化させることによるもの [3]
50/38	・ CHO または非キノイドケト基を含有するもの [3]	51/36	・・炭素 炭素不飽和結合の水素添加によるもの [3]
51/00	カルボン酸またはその塩, 酸ハロゲン化物または酸無水物の製造 [2]	51/363	・・ハロゲンの導入によるもの; ハロゲン原子を他のハロゲン原子によって置換することによるもの [3]
51/02	・カルボン酸の塩から	51/367	・・単結合の酸素を含有する官能基の導入によるもの [3]
51/04	・カルボン酸ハロゲン化物から	51/373	・・二重結合の酸素を含有する官能基の導入によるもの [3]
51/06	・カルボン酸アミドのけん化によるもの	51/377	・・水素または官能基の離脱によるもの; 官能基の水添分解によるもの [3]
51/08	・ニトリルから	51/38	・・・脱炭酸によるもの [3]
51/083	・カルボン酸無水物から [3]	51/41	・酸またはその塩をその酸部分において塩に変換することによるカルボン酸塩の製造 (石けんの製造 C11D) [3]
51/087	・・加水分解によるもの [3]	51/42	・分離; 精製; 安定化; 添加剤の使用 [3]
51/09	・カルボン酸エステルまたはラクトンから (カルボン酸エステルのけん化 C07C27/02)	51/43	・・物理的状態の変化によるもの, 例 . 結晶化 [3]
51/093	・ $CX_3$ 基 (X はハロゲン) の加水分解によるもの [3]	51/44	・・・蒸留によるもの [3]
51/097	・ニトロ置換有機化合物からまたはそれを経由するもの [3]	51/46	・・・共沸蒸留によるもの [3]
51/10	・一酸化炭素との反応によるもの	51/47	・・固 液処理によるもの; 化学吸着によるもの [3]
51/12	・・有機化合物中の酸素含有基におけるもの, 例 . アルコ - ル	51/48	・・液 液処理によるもの
51/14	・・有機化合物中の炭素 炭素不飽和結合におけるもの [3]	51/487	・・化学的变化をひきおこす処理によるもの (化学吸着によるもの C07C51/47) [3]
51/145	・・酸化を同時に伴うもの [3]	51/493	・・カルボン酸エステルを形成することによるもの [3]
51/15	・有機化合物と二酸化炭素との反応によるもの, 例 . コルベ - シュミット合成 [2]	51/50	・・添加剤の使用, 例 . 安定化のためのもの [3]
51/16	・酸化によるもの (C07C51/145 が優先) [3]	51/54	・カルボン酸無水物の製造 (酸化によるもの C07C51/16)
51/21	・・分子状酸素を用いるもの [3]	51/56	・・有機酸, その塩またはそのエステルからのもの
51/215	・・・飽和ヒドロカルビル基の [3]	51/567	・・カルボン酸無水物基の関与しない反応によるもの [3]
51/225	・・・パラフィンワックスの [3]	51/573	・・分離; 精製; 安定化; 添加剤の使用 [3]
51/23	・・・酸素含有基のカルボキシル基への [3]	51/58	・カルボン酸ハロゲン化物の製造
51/235	・・・ CHO 基または第一級アルコ - ル基の [3]	51/60	・カルボン酸またはその無水物をその酸部分においてハロゲン化物に変換することによるもの [3]
51/245	・・・ケト基または第二級アルコ - ル基の [3]	51/62	・・カルボン酸ハロゲン化物基の関与しない反応によるもの [3]
51/25	・・・6員芳香環を含有しない不飽和化合物の [3]	51/64	・・分離; 精製; 安定化; 添加剤の使用 [3]
51/255	・・・6員芳香環を含有する化合物の環開裂を伴わないもの [3]		

53/00	非環式炭素原子または水素に結合している 1 個のカルボキシル基をもつ飽和化合物	57/00	非環式炭素原子に結合しているカルボキシル基をもつ不飽和化合物 [2]
53/02	・ギ酸	57/02	・不飽和結合として炭素 炭素二重結合のみを有するもの
53/04	・一酸化炭素からの製造	57/03	・一塩基性カルボン酸 [3]
53/06	・その塩	57/04	・…アクリル酸 ; メタクリル酸 [3]
53/08	・酢酸	57/045	・…液相酸化による製造 [3]
53/10	・その塩	57/05	・…気相酸化による製造 [3]
53/12	・無水酢酸 ( ケテン C07C49/90 )	57/055	・…不飽和アルデヒドを原料とするもの [3]
53/122	・プロピオン酸 [3]	A	アクリル酸の製法
53/124	・4 個の炭素原子を含有する酸 [3]	B	メタクリル酸の製法
53/126	・5 個以上の炭素原子を含有する酸 [3]	Z	その他
53/128	・カルボキシル基が少なくとも 2 個の他の炭素原子に結合している炭素原子に結合しているもの、例、ネオ酸 [3]	57/065	・…H X ( X はハロゲン、OR または NR <sub>2</sub> ( R は水素または炭化水素基 ) ) の脱離による製造 [3]
53/132	・環を含有するもの [3]	57/07	・…分離 ; 精製 ; 安定化 ; 添加剤の使用 [3]
53/134	・単環式のもの [3]	57/075	・…添加剤の使用、例、安定化のためのもの [3]
53/136	・縮合環系を含有するもの [3]	57/08	・…クロトン酸 [3]
53/138	・…アダマンタン環系を含有するもの [3]	57/10	・…ソルビン酸 [3]
53/15	・ハロゲンを含有するもの [3]	57/12	・…18 個の炭素原子を含有する直鎖カルボン酸 [3]
53/16	・ハロ酢酸 [3]	57/13	・…二塩基性カルボン酸 [3]
53/18	・…フッ素を含有するもの [3]	57/145	・…マレイン酸 [3]
53/19	・…3 個以上の炭素原子を含有する酸 [3]	57/15	・…フマル酸 [3]
53/21	・…フッ素を含有するもの [3]	57/155	・…シトラコン酸 [3]
53/23	・環を含有するもの [3]	57/16	・…ムコン酸 [3]
53/38	・酸ハロゲン化物 [3]	57/18	・不飽和結合として炭素 炭素三重結合のみをもつもの
53/40	・酢酸ハロゲン化物 [3]	57/20	・…プロピオ - ル酸
53/42	・…3 個以上の炭素原子を含有する酸の [3]	57/22	・…アセチレンジカルボン酸
53/44	・環を含有するもの [3]	57/24	・…ジアセチレンまたはポリアセチレンジカルボン酸
53/46	・カルボニルハライド基以外にハロゲンを含有するもの [3]	57/26	・6 員芳香環以外の環を含有するもの [3]
53/48	・…ハロゲン化酢酸ハロゲン化物 [3]	57/28	・…アダマンタン環系を含有するもの [3]
53/50	・…3 個以上の炭素原子を含有する酸の [3]	57/30	・6 員芳香環を含有するもの [3]
55/00	非環式炭素原子に結合している 2 個以上のカルボキシル基をもつ飽和化合物 [2]	57/32	・…フェニル酢酸 [3]
55/02	・二塩基性カルボン酸	57/34	・…2 個以上のカルボキシル基を含有するもの [3]
55/06	・…しゅう酸	57/36	・…フェニルマロン酸 [3]
55/07	・…その塩 [3]	57/38	・…多環式のもの [3]
55/08	・…マロン酸	57/40	・…縮合環系を含有するもの [3]
55/10	・…こはく酸	57/42	・…環以外に不飽和結合をもつもの [3]
55/12	・…グルタル酸	57/44	・…桂皮酸 [3]
55/14	・…アジピン酸	57/46	・6 員芳香環および他の環を含有するもの、例、シクロヘキシルフェニル酢酸 [3]
55/16	・…ピメリン酸	57/48	・…芳香環以外に不飽和結合をもつもの [3]
55/18	・…アゼライン酸	57/50	・…縮合環系を含有するもの [3]
55/20	・…セバシン酸	57/52	・…ハロゲンを含有するもの [3]
55/21	・…12 個の炭素原子をもつ二塩基性カルボン酸 [3]	57/54	・…ハロアクリル酸またはハロメタクリル酸 [3]
55/22	・三塩基性カルボン酸	57/56	・…6 員芳香環以外の環を含有するもの [3]
55/24	・4 個以上のカルボキシル基を含有するもの	57/58	・…6 員芳香環を含有するもの [3]
55/26	・環を含有するもの [3]	57/60	・…環以外に不飽和結合をもつもの [3]
55/28	・単環式のもの [3]	57/62	・…6 員芳香環および他の環を含有するもの [3]
55/30	・縮合環系を含有するもの [3]	57/64	・酸ハロゲン化物 [3]
55/32	・ハロゲンを含有するもの [3]		
55/34	・環を含有するもの [3]		
55/36	・酸ハロゲン化物 [3]		
55/38	・環を含有するもの [3]		
55/40	・カルボニルハライド基以外にハロゲンを含有するもの [3]		

57/66	..不飽和結合として炭素 炭素二重結合のみを有するもの [3]
57/68	..不飽和結合として炭素 炭素三重結合のみを有するもの [3]
57/70	..6 員芳香環以外の環を含有するもの [3]
57/72	..6 員芳香環を含有するもの [3]
57/74	..6 員芳香環および他の環を含有するもの [3]
57/76	..カルボニルハライド基以外にハロゲン含有するもの [3]
59/00	非環式炭素原子に結合しているカルボキシル基および OH, O 金属, CHO, ケト基, エ - テル基, $\begin{array}{c} \text{O}- \\ \diagup \quad \diagdown \\ \text{C} \quad \text{O}-\text{C} \\ \diagdown \quad \diagup \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$ 基または $\begin{array}{c} \text{O}- \\ \diagup \quad \diagdown \\ \text{C} \quad \text{O}-\text{C} \\ \diagdown \quad \diagup \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$ 基のうちいずれかの基を含有する化合物 [2]
59/01	・1 個のカルボキシル基をもち、水酸基または O 金属基を含有する飽和化合物 [3]
59/06	..グリコ - ル酸 [3]
59/08	..乳酸 [3]
59/10	..ポリヒドロキシカルボン酸
59/105	...5 個以上の炭素原子をもつもの、例、アルドン酸 [3]
59/11	..環を含有するもの [3]
59/115	..ハロゲンを含有するもの [3]
59/125	・1 個のカルボキシル基をもち、エ - テル基, $\begin{array}{c} \text{O}- \\ \diagup \quad \diagdown \\ \text{C} \quad \text{O}-\text{C} \\ \diagdown \quad \diagup \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$ 基または $\begin{array}{c} \text{O}- \\ \diagup \quad \diagdown \\ \text{C} \quad \text{O}-\text{C} \\ \diagdown \quad \diagup \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$ 基を含有する飽和化合物 [3]
A	HOOC - R - O - R
C	HOOC - R - O - R - X
E	HOOC - R - O - R - [O]
F	ジグリコ - ル酸 HOOCCH <sub>2</sub> OCH <sub>2</sub> COOH
Z	その他のもの R : アルキレン基, R : 脂肪族又は脂環式炭化水素基, X: ハロゲン, [O] : 酸素含有基 (カルボキシル基, エ - テル基を含む)
59/13	..環を含有するもの [3]
59/135	..ハロゲンを含有するもの [3]
59/147	・1 個のカルボキシル基をもち、CHO 基を含有する飽和化合物 [3]
59/153	..グリオキシル酸 [3]

59/185	・1 個のカルボキシル基をもち、ケト基を含有する飽和化合物 [3]
59/19	..ピルピン酸 [3]
59/195	..アセト酢酸 [3]
59/205	..環を含有するもの [3]
59/21	..ハロゲンを含有するもの [3]
59/215	..単結合の酸素を含有する基を含有するもの [3]
59/225	.. CHO 基を含有するもの [3]
59/235	・2 個以上のカルボキシル基をもつ飽和化合物 [3]
59/245	..水酸基または O 金属基を含有するもの [3]
59/255	...酒石酸 [3]
59/265	...クエン酸 [3]
59/285	...5 個以上の炭素原子をもつポリヒドロキシ二塩基性カルボン酸、例、糖酸 [3]
59/29	...環を含有するもの [3]
59/295	...ハロゲンを含有するもの [3]
59/305	..エ - テル基, $\begin{array}{c} \text{O}- \\ \diagup \quad \diagdown \\ \text{C} \quad \text{O}-\text{C} \\ \diagdown \quad \diagup \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$ 基または $\begin{array}{c} \text{O}- \\ \diagup \quad \diagdown \\ \text{C} \quad \text{O}-\text{C} \\ \diagdown \quad \diagup \\ \text{O}-\text{C} \end{array}$ 基を含有する飽和化合物 [3]
59/31	...環を含有するもの [3]
59/315	...ハロゲンを含有するもの [3]
59/325	.. CHO 基を含有するもの [3]
59/347	..ケト基を含有するもの [3]
59/353	...環を含有するもの [3]
59/40	・不飽和化合物 [3]
59/42	..水酸基または O 金属基を含有するもの [3]
59/44	...リシノ - ル酸 [3]
59/46	...6 員芳香環以外の環を含有するもの [3]
59/48	...6 員芳香環を含有するもの [3]
59/50	...マンデル酸 [3]
59/52	...水酸基または O 金属基が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [3]
59/54	...6 員芳香環および他の環を含有するもの [3]
59/56	...ハロゲンを含有するもの [3]

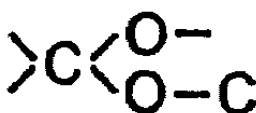
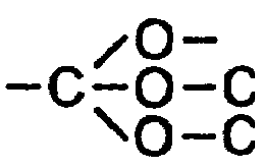
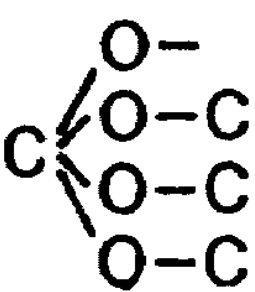
59/58	<p>…エ - テル基,</p>  <p>基,</p>  <p>基または</p>  <p>基を含有する</p> <p>不飽和化合物 [3]</p>
59/60	…エ - テルの非カルボキシル基部分が不飽和であるもの [3]
59/62	…6 員芳香環以外の環を含有するもの [3]
59/64	…6 員芳香環を含有するもの [3]
59/66	…エ - テルの非カルボキシル基部分が 6 員芳香環を含有するもの [3]
59/68	…エ - テル基の酸素原子が非縮合 6 員芳香環に結合しているもの [3]
59/70	…ヒドロキシ酢酸のエ - テル [3]
59/72	…6 員芳香環および他の環を含有するもの [3]
59/74	… CHO 基を含有するもの [3]
59/76	…ケト基を含有するもの [3]
59/80	…6 員芳香環以外の環を含有するもの [3]
59/82	…ケト基が環部分を構成しているもの [3]
59/84	…6 員芳香環を含有するもの [3]
59/86	…6 員芳香環と他の環を含有するもの [3]
59/88	…ハロゲンを含有するもの [3]
59/90	…単結合の酸素含有基を含有するもの [3]
59/92	… CHO 基を含有するもの [3]
61/00	6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているカルボキシル基をもつ化合物
61/04	・3 員環または 4 員環に結合しているカルボキシル基をもつ飽和化合物 [3]
61/06	・5 員環に結合しているカルボキシル基をもつ飽和化合物 [3]
61/08	・6 員環に結合しているカルボキシル基をもつ飽和化合物 [3]
61/09	…完全に水素化されたベンゼンジカルボン酸 [2,3]
61/10	・7-12 員環に結合しているカルボキシル基をもつ飽和化合物 [3]
61/12	・飽和多環式化合物 [3]
61/125	…縮合環系に結合しているカルボキシル基をもつもの [3]
61/13	…2 個の環をもつもの [3]
61/135	…3 個の環をもつもの [3]
61/15	・ハロゲンを含有する飽和化合物 [3]
61/16	・不飽和化合物 [3]

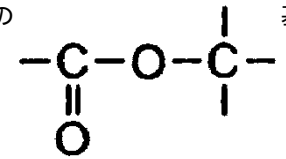
61/20	…5 員環に結合しているカルボキシル基をもつもの [3]
61/22	…6 員環に結合しているカルボキシル基をもつもの [3]
61/24	…部分的に水素化されたベンゼンジカルボン酸 [3]
61/26	…7-12 員環に結合しているカルボキシル基をもつもの [3]
61/28	…多環式のもの [3]
61/29	…縮合環系に結合しているカルボキシル基をもつもの [3]
61/35	…環以外に不飽和結合をもつもの [3]
61/37	…菊酸 [3]
61/39	…6 員芳香環を含有するもの [3]
61/40	…ハロゲンを含有するもの [3]
62/00	6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているカルボキシル基をもち、OH、O 金属、CHO、ケト、エ - テル、  基、  基または
	
	は、  基のうちいずれかの基を含有する化合物 [3]
62/02	・水酸基または O 金属基を含有する飽和化合物 [3]
62/04	…6 員環を有するもの [3]
62/06	…多環式のもの [3]
62/08	<p>・エ - テル基,</p>  <p>基</p>  <p>基または</p>  <p>基を含有する</p> <p>もの [3]</p>
62/10	…6 員環を有するもの [3]
62/12	…多環式のもの [3]
62/14	…縮合環系上にカルボキシル基をもつもの [3]
62/16	・ CHO 基を含有する飽和化合物 [3]
62/18	・ケト基を含有する飽和化合物 [3]
62/20	…6 員環を有するもの [3]
62/22	…多環式のもの [3]
62/24	…ケト基が環部分を構成しているもの [3]
62/26	…単結合の酸素含有基を含有するもの [3]
62/28	… CHO 基を含有するもの [3]
62/30	・不飽和化合物 [3]
62/32	…水酸基または O 金属基を含有するもの [3]


62/34	<p>.. エ - テル基 ,</p> <p>基 ,</p> <p>基または</p> <p>基を含有する</p> <p>もの [3]</p>
62/36	.. CHO 基を含有するもの [3]
62/38	.. ケト基を含有するもの [3]
63/00	6 員芳香環の炭素原子に結合しているカルボキシル基をもつ化合物 [2]
	A 酸ハロゲン化物
	B 精製、分離、安定化
	Z その他のもの
63/04	・単環式一塩基性カルボン酸
63/06	.. 安息香酸
63/08	... その塩
63/10	... そのハロゲン化物
63/14	・単環式二塩基性カルボン酸
63/15	.. すべてのカルボキシル基が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [3]
	A 酸ハロゲン化物
	B 精製、分離、安定化
	Z その他のもの
63/16	... 1,2 ベンゼンジカルボン酸 [3]
63/20	... その塩 [3]
63/22	... そのハロゲン化物 [3]
63/24	... 1,3 ベンゼンジカルボン酸 [3]
63/26	... 1,4 ベンゼンジカルボン酸 [3]
	A 酸化以外の方法
	B 酸化
	C ・分子状 O <sub>2</sub> による酸化
	D ・分子状 O <sub>2</sub> によるアルキル側鎖の酸化
	E .. 触媒として Co,Mn,Br を用いるもの
	F .. 触媒として Co,Mn,Br 以外のものを用いるもの
	G 精製
	H ・回収・循環
	J ・物理的状態変化による精製
	K ・液処理・吸着による精製
	L ・化学変化処理による精製
	M .. 再酸化
	N ・アルキル側鎖の酸化及び精製
	Z その他のもの
63/28	... その塩 [3]
63/30	... そのハロゲン化物 [3]
63/307	・単環式三塩基性カルボン酸 [3]

63/313	・4 個以上のカルボキシル基を含有する単環式の酸 [3]
63/33	・多環式の酸 [2,3]
63/331	.. すべてのカルボキシル基が非縮合環に結合しているもの [3]
63/333	... 4,4 ビフェニルジカルボン酸 [2,3]
63/337	.. カルボキシル基が縮合環系に結合しているもの [2,3]
63/34	... 2 個の環を含有するもの [3]
63/36	... 1 個のカルボキシル基を含有するもの [3]
63/38	... 縮合環系の炭素原子に結合しているカルボキシル基を 2 個含有するもの [3]
63/40	... 縮合環系の炭素原子に結合しているカルボキシル基を 3 個以上含有するもの [3]
63/42	... 3 個以上の環を含有するもの [3]
63/44	... 1 個のカルボキシル基を含有するもの [3]
63/46	... 縮合環系の炭素原子に結合しているカルボキシル基を 2 個含有するもの [3]
63/48	... 縮合環系の炭素原子に結合しているカルボキシル基を 3 個以上含有するもの [3]
63/49	.. 6 員芳香環以外の環を含有するもの [3]
63/64	・芳香環以外に不飽和結合を有する単環式カルボン酸 [3]
63/66	・芳香環以外に不飽和結合を有する多環式カルボン酸 [3]
63/68	・ハロゲンを含有するもの [3]
63/70	.. 一塩基酸 [3]
63/72	.. 多塩基酸 [3]
63/74	.. 芳香環以外に不飽和結合をもつもの [3]
65/00	6 員芳香環の炭素原子に結合しているカルボキシル基をもち, OH, O 金属, CHO, ケト, エ - テル, 基, 基 また
	は 基のいずれかの官能基を含有する化合物
65/01	・水酸基または O 金属基を含有するもの [3]
65/03	.. すべての水酸基または O 金属基が環に結合している単環式のもの [3]
	A - COOH を生成するもの
	B - COOH を生成しないもの
	C 分離、精製、安定化
	D 化合物
	Z その他
65/05	... o ヒドロキシカルボン酸 [3]
65/10	... サリチル酸 [3]
65/105	.. 多環式のもの [3]
65/11	... 2 個の環からなる縮合環系にカルボキシル基を有するもの [3]
65/15	... 3 個以上の環からなる縮合環系にカルボキシル基を有するもの [3]
65/17	.. 6 員芳香環以外の環を含有するもの [3]



- 65/19 .. 芳香環以外に不飽和結合をもつもの [3]
- 65/21 ・エ - テル基 ,  基 , または  基, または  基を含有するもの [3]
- A 製法に特徴
- B 触媒に特徴
- C 化合物
- D O - 芳香環化合物
- E ・OH 基をも有するもの
- Z その他
- 65/24 .. 多環式のもの [3]
- 65/26 ... 6 員芳香環以外の環を含有するもの [3]
- 65/28 .. 芳香環以外に不飽和結合をもつもの [3]
- 65/30 ・ CHO 基を含有するもの [3]
- 65/32 ・ ケト基を含有するもの [3]
- A 製法
- C 化合物
- Z その他
- 65/34 .. 多環式のもの [3]
- 65/36 ... 6 員芳香環以外の環を含有するもの [3]
- 65/38 .. 芳香環以外に不飽和結合をもつもの [3]
- 65/40 .. 単結合の酸素含有基を含有するもの [3]
- 65/42 .. CHO 基を含有するもの [3]
- 66/00 キノンカルボン酸 [2]
- 66/02 ・アントラキノンカルボン酸 [2]
- 67/00 カルボン酸エステルの製造
- このグループにおいては, 原料として使用されるラク톤はエステルとみなす。 [3]
- 67/02 ・エステル基相互の反応によるもの, すなわちエステル交換反応によるもの
- 67/03 ・エステル基と水酸基との反応によるもの [2]
- 67/035 ・カルボン酸または対称無水物と飽和炭化水素との反応によるもの [3]
- 67/04 ・カルボン酸または対称無水物と炭素炭素不飽和結合との反応によるもの [2]
- 67/05 .. 酸化によるもの [2,3]
- 67/055 ... 白金族金属またはそれらの化合物の存在下に行なうもの [3]

- 67/08 ・カルボン酸または対称無水物と有機化合物の水酸基または O 金属基との反応によるもの [2]
- 67/10 ・カルボン酸または対称無水物とエステル基または炭素 ハロゲン結合との反応によるもの [2]
- 67/11 .. 鉱酸エステル基であるもの [3]
- 67/12 ・非対称無水物からのもの [2]
- 67/14 ・カルボン酸ハロゲン化物からのもの [2]
- 67/16 ・1 個の酸素原子が硫黄, セレンまたはテルル原子で置換されているカルボン酸, エステルまたは無水物からのもの [2]
- 67/18 ・窒素含有基のエステルへの転換によるもの [2]
- 67/20 .. アミドまたはラクタムからのもの [2]
- 67/22 .. ニトリルからのもの [2]
- 67/24 ・カルボン酸またはその誘導体と炭素酸素エ - テル結合, 例: アセタ - ル, テトラヒドロフラン, との反応によるもの [2]
- 67/26 .. オキシラン環を用いるもの [2]
- 67/27 ・オルトエステルからのもの [3]
- 67/28 ・エステル基を導入することなくエステルのヒドロキシル部分を変化させることによるもの [2]
- 67/283 .. 炭素 炭素不飽和結合の水素添加によるもの [3]
- 67/287 .. ハロゲンの導入によるもの; ハロゲン原子を他のハロゲン原子によって置換させることによるもの [3]
- 67/29 .. 酸素含有官能基の導入によるもの [3]
- 67/293 .. 異性化によるもの; 炭素骨格の大きさを変化させるもの [3]
- 67/297 .. 水素または官能基の離脱によるもの; 官能基の水添分解によるもの [3]
- 67/30 ・エステル基を導入することなくエステルの酸部分を変化させることによるもの [2]
- 67/303 .. 炭素 炭素不飽和結合の水素添加によるもの [3]
- 67/307 .. ハロゲンの導入によるもの; ハロゲン原子を他のハロゲン原子で置換することによるもの [3]
- 67/31 .. 単結合の酸素を含有する官能基の導入によるもの [3]
- 67/313 .. 二重結合の酸素を含有する官能基の導入によるもの, 例: カルボキシル基 [3]
- 67/317 .. 水素または官能基の離脱によるもの; 官能基の水添分解によるもの [3]
- 67/32 ... 脱カルボキシル基化 [2,3]
- 67/327 ... 単結合の酸素を含有する官能基の脱離によるもの [3]
- 67/333 .. 異性化によるもの; 炭素骨格の大きさを変化させることによるもの (カルボキシル基の導入または脱離によるもの C07C67/313, C07C67/32) [3]
- 67/34 ... 分子中の  基の移動 [2,3]
- 67/343 ... 炭素原子数が増加することによるもの [3]

- 67/347 .....炭素 炭素不飽和結合への付加によるもの [3]
- 67/36 ・一酸化炭素またはホルメ - トとの反応によるもの (C07C67/02,C07C67/03,C07C67/10 が優先) [2]
- 67/37 ・一酸化炭素とエ - テルとの反応によるもの [2]
- 67/38 ・炭素 炭素不飽和結合への付加によるもの [2]
- 67/39 ・エステルの酸部分に変化する官能基の酸化によるもの [3]
- 67/40 ・第一級アルコ - ルの酸化によるもの [2,3]
- 67/42 ・第二級アルコ - ルまたはケトンの酸化によるもの [2,3]
- 67/44 ・アルデヒドの酸化 還元によるもの, 例 . ティシエンコ反応 [2]
- 67/46 ・ケテンまたはポリケテンからのもの [2]
- 67/465 ・低量重合によるもの [3]
- 67/47 ・テロメリ化によるもの (高分子化合物 C08 ) [3]
- 67/475 ・炭素 炭素結合の開裂および再分配によるもの, 例 . 不均化反応または異種の分子間における 基の移動 [3]
- 
- 67/48 ・分離 ; 精製 ; 安定化 ; 添加剤の使用 [2,3]
- 67/52 ・物理状態の変化によるもの, 例 . 結晶化 [3]
- 67/54 ・蒸留によるもの [3]
- 67/56 ・固 液処理によるもの ; 化学吸着によるもの [3]
- 67/58 ・液 液処理によるもの [3]
- 67/60 ・化学的变化をひきおこす処理によるもの (化学吸着 C07C67/56 ) [3]
- 67/62 ・添加剤の使用, 例 . 安定化のためのもの [3]
- 68/00 炭酸またはハロゲン酸のエステルの製造 [2020.01]
- A 一酸化炭素からの
- C カルバミン酸エステル, すなわちウレタン類からの
- D 尿素からの
- Z その他のもの
- 68/01 ・一酸化炭素および酸素からの [2020.01]
- 68/02 ・ホスゲンまたはハロホルメ - トからの [2]
- A ホスゲンからの
- B ハロホルメ - トからの
- Z その他のもの
- 68/04 ・二酸化炭素または無機力 - ボネ - トからの [2]
- A 二酸化炭素からの
- B 無機力 - ボネ - トからの
- C 二酸化炭素および無機力 - ボネ - トからの
- Z その他のもの
- 68/06 ・有機力 - ボネ - トからの [2020.01]
- 68/065 ・アルキレン力 - ボネ - トからの [2020.01]
- 68/08 ・精製 ; 分離 ; 安定化 [2]

- 69/00 カルボン酸のエステル ; 炭酸またはハロゲン酸のエステル
- このサブクラスのタイトルに続く注 (6) に注意すること。 [5]
- 69/003 ・エステル化されている水酸基が非環式炭素原子に結合している飽和アルコ - ルのエステル [3]
- A エステル化されているカルボキシル基が非環式炭素原子または水素に結合しているもの
- B ・飽和カルボン酸のエステル
- C ・不飽和カルボン酸のエステル
- D エステル化されているカルボキシル基が 6 員芳香族環以外の環の炭素原子に結合しているもの
- E エステル化されているカルボキシル基が 6 員芳香族環の炭素原子に結合しているもの
- Z その他のもの
- 69/007 ・エステル化されている水酸基が非環式炭素原子に結合している不飽和アルコ - ルのエステル [3]
- A エステル化されているカルボキシル基が非環式炭素原子または水素に結合しているもの
- B ・飽和カルボン酸のエステル
- C ・不飽和カルボン酸のエステル
- D エステル化されているカルボキシル基が 6 員芳香族環以外の環の炭素原子に結合しているもの
- E エステル化されているカルボキシル基が 6 員芳香族環の炭素原子に結合しているもの
- Z その他のもの
- 69/01 ・ビニルエステル [3]
- 69/013 ・エステル化されている水酸基が 6 員芳香族環以外の環の炭素原子に結合しているアルコ - ルのエステル [3]
- A エステル化されているカルボキシル基が非環式炭素原子または水素に結合しているもの
- B ・飽和カルボン酸のエステル
- C ・不飽和カルボン酸のエステル
- D エステル化されているカルボキシル基が 6 員芳香族環以外の環の炭素原子に結合しているもの
- E エステル化されているカルボキシル基が 6 員芳香族環の炭素原子に結合しているもの
- Z その他のもの
- 69/017 ・エステル化されている水酸基が 6 員芳香族環の炭素原子に結合しているヒドロキシ化合物のエステル [3]
- A エステル化されているカルボキシル基が非環式炭素原子または水素に結合しているもの
- B ・飽和カルボン酸のエステル
- C ・不飽和カルボン酸のエステル
- D エステル化されているカルボキシル基が 6 員芳香族環以外の環の炭素原子に結合しているもの
- E エステル化されているカルボキシル基が 6 員芳香族環の炭素原子に結合しているもの
- Z その他のもの

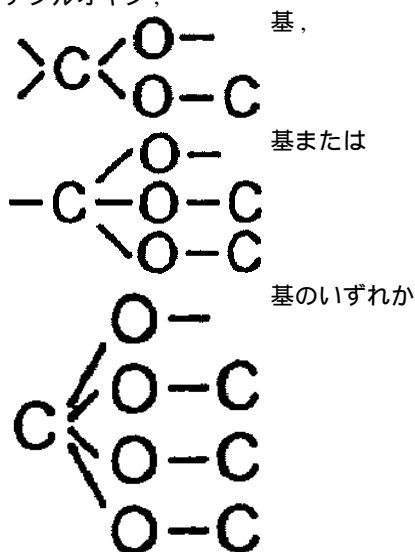
択一的に特定された酸部分をもつエステル, すなわち 69/02, 69/34, 69/52, 69/608, 69/612, 69/62, 69/66, 69/74, 69/76, 69/95, 69/96 の 2 以上のグル - プに包含されるエステルは, それらのアルコ - ル部分に応じて 69/003 から 69/017 までのグル - プに包含される。[3]

- 69/02      ・カルボキシル基が非環式炭素原子または水素に結合している非環式飽和一塩基酸のエステル
- 69/025      ・エステル化されている水酸基が非環式炭素原子に結合している不飽和アルコ - ルでエステル化されているもの [3]
- A      不飽和アルコ - ルが環を含むもの
- Z      その他のもの
- 69/03      ・エステル化されている水酸基が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているアルコ - ルでエステル化されているもの [3]
- 69/035      ・エステル化されている水酸基が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているヒドロキシ化合物でエステル化されているもの [3]
- 69/04      ・ぎ酸エステル
- 69/06      ・1 個の水酸基を有する化合物の
- 69/07      ・不飽和アルコ - ルのもの [2]
- 69/08      ・2 個の水酸基を有する化合物の
- 69/10      ・3 個の水酸基を有する化合物の
- 69/12      ・酢酸エステル
- 69/14      ・1 個の水酸基を有する化合物の
- 69/145      ・不飽和アルコ - ルのもの [2]
- 69/15      ・酢酸ビニル [2]
- 69/155      ・酢酸アリル [2]
- 69/157      ・6 員芳香環を含有するもの [3]
- 69/16      ・2 個の水酸基を有する化合物の
- 69/18      ・3 個の水酸基を有する化合物の
- 69/21      ・4 個以上の水酸基を有する化合物の [2]
- 69/22      ・酸部分に 3 個以上の炭素原子をもつもの
- 69/24      ・1 個の水酸基を有する化合物でエステル化されているもの
- 69/26      ・合成ろう
- 69/28      ・2 個の水酸基を有する化合物でエステル化されているもの
- 69/30      ・3 個の水酸基を有する化合物でエステル化されているもの
- 69/33      ・4 個以上の水酸基を有する化合物でエステル化されているもの [2]
- 69/34      ・エステル化されているカルボキシル基が非環式炭素原子に結合している非環式飽和多塩基酸のエステル [3]
- 69/347      ・エステル化されている水酸基が非環式炭素原子に結合している不飽和アルコ - ルでエステル化されているもの [3]
- 69/353      ・エステル化されている水酸基が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているヒドロキシ化合物でエステル化されているもの [3]
- 69/36      ・しゅう酸エステル [3]
- 69/38      ・マロン酸エステル [3]
- 69/40      ・こはく酸エステル [3]
- 69/42      ・グルタル酸エステル [3]
- 69/44      ・アジピン酸エステル [3]
- 69/46      ・ピメリン酸エステル [3]
- 69/48      ・アゼライン酸エステル [3]
- 69/50      ・セバシン酸エステル [3]

- 69/52      ・エステル化されているカルボキシル基が非環式炭素原子に結合している非環式不飽和カルボン酸のエステル [3]
- 69/527      ・不飽和ヒドロキシ化合物の [3]
- 69/533      ・炭素 炭素二重結合を 1 個もつ一塩基酸のエステル [3]
- 69/54      ・アクリル酸エステル; メタクリル酸エステル [3]
- A      多価カルボン酸を併用したもの
- B      環に結合した水酸基によつてエステル化されているもの
- Z      その他のもの
- 69/56      ・クロトン酸エステル; ビニル酢酸エステル [3]
- 69/58      ・酸部分に 18 個の炭素原子をもつ直鎖カルボン酸のエステル [3]
- 69/587      ・炭素 炭素二重結合を少なくとも 2 個有する一塩基酸のエステル [3]
- 69/593      ・炭素 炭素二重結合を 1 個有する二塩基酸のエステル [3]
- 69/60      ・マレイン酸エステル; フマル酸エステル [3]
- 69/602      ・炭素 炭素二重結合を少なくとも 2 個有する二塩基酸のエステル [3]
- 69/604      ・多塩基酸のエステル, 酸部分に 3 個以上のカルボキシル基を含有するもの [3]
- 69/606      ・カルボン酸部分に不飽和結合として炭素 炭素三重結合のみを有するもの [3]
- 69/608      ・カルボキシル基が非環式炭素原子に結合し, 酸部分に 6 員芳香環以外の環を有するカルボン酸のエステル [3]
- 69/612      ・カルボキシル基が非環式炭素原子に結合し, 酸部分に 6 員芳香環を有するカルボン酸のエステル [3]
- 69/614      ・フェニル酢酸の [3]
- 69/616      ・多環式のもの [3]
- 69/618      ・6 員芳香環以外に不飽和結合をもつもの [3]
- 69/62      ・ハロゲン含有エステル [2]
- 69/63      ・飽和酸のもの [2]
- 69/635      ・酸部分に環を含有するもの [3]
- 69/65      ・不飽和酸のもの [2]
- 69/653      ・アクリル酸エステル; メタクリル酸エステル; ハロアクリル酸エステル; ハロメタクリル酸エステル [3]
- 69/657      ・マレイン酸エステル; フマル酸エステル; ハロマレイン酸エステル; ハロフマル酸エステル [3]

69/66

・エステル化されているカルボキシル基が非環式炭素原子に結合し、酸部分に OH, O 金属, CHO, ケト, エ - テル, アシルオキシ,



をもつカルボン酸のエステル

69/67

・飽和酸のもの [2]

69/675

・飽和ヒドロキシ カルボン酸の [3]

69/68

・乳酸エステル [3]

69/70

・酒石酸エステル [3]

69/704

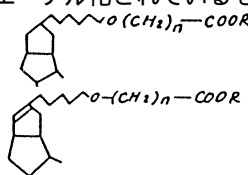
・クエン酸エステル [3]

69/708

・エ - テル [3]

A フッ素原子を含有する飽和酸のもの

B エステルの水酸基が、ピシクロオクタン環またはピシクロオクテン環を含有するヒドロキシ化合物でエ - テル化されているもの



Z その他のもの

69/712

・エ - テルの水酸基が 6 員芳香環の炭素原子に結合する水酸基をもつヒドロキシ化合物でエ - テル化されているもの [3]

A 骨格をもつもの

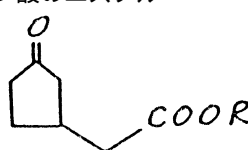
B 骨格をもつもの

Z その他のもの

69/716

・ケト カルボン酸のエステル [3]

A シクロペンタノン環を含むカルボン酸のエステル



Z その他のもの

69/72

・アセト酢酸エステル [3]

69/73

・不飽和酸のもの [2]

69/732

・不飽和ヒドロキシ カルボン酸の [3]

A ピシクロオクタン環またはピシクロオクテン環を有するカルボン酸のもの

Z その他のもの

69/734

・エ - テル [3]

A ピシクロオクタン環またはピシクロオクテン環を含むカルボン酸のもの

B R-O- -C-COO-C- 骨格をもつもの

Z その他のもの

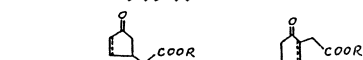
69/736

・エ - テルの水酸基が 6 員芳香環の炭素原子に結合する水酸基をもつヒドロキシ化合物でエ - テル化されているもの [3]

69/738

・ケト カルボン酸のエステル [3]

A シクロペンタノン環またはシクロペンタノン環を含むカルボン酸のエステル



Z その他のもの

69/74

・エステル化されているカルボキシル基が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているカルボン酸のエステル

A 製法に特徴を有するもの

Z その他のもの

69/743

・3 員環を有し、環以外に不飽和結合を有する酸の [3]

69/747

・菊酸エステル [3]

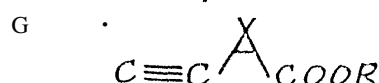
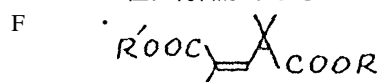
A 1 位に特徴があるもの

B 2 位に特徴があるもの

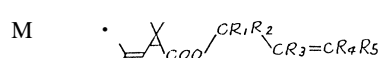
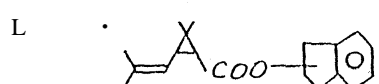
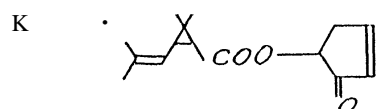
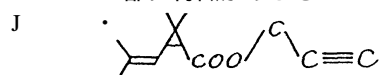
C 3 位に特徴があるもの

D 1 位に特徴があるもの

E 2 位に特徴があるもの

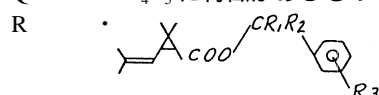


H R 部に特徴があるもの

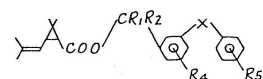

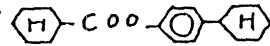
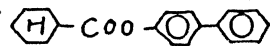
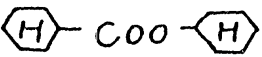
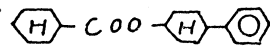
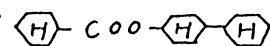
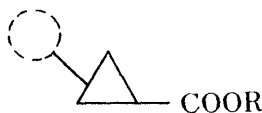
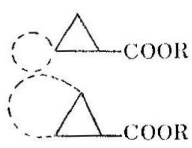
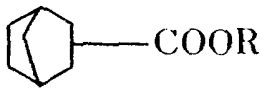
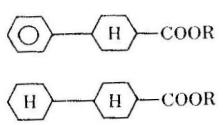
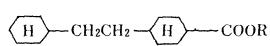
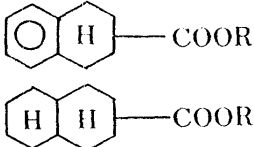


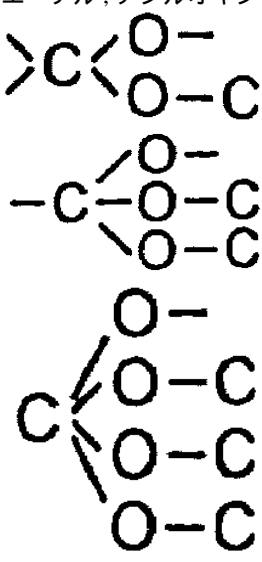
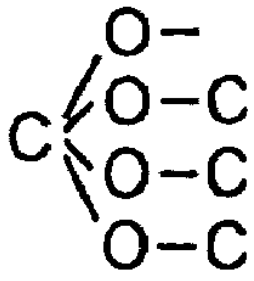

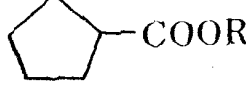
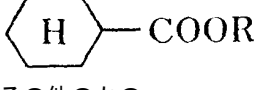
N CR<sub>1</sub>R<sub>2</sub> に特徴があるもの

Q CR<sub>4</sub>R<sub>5</sub> に特徴があるもの



S CR<sub>1</sub>R<sub>2</sub> に特徴があるもの

- T ..R<sub>3</sub> に特徴があるもの  
 U 
- V ..R<sub>1</sub>R<sub>2</sub> に特徴があるもの  
 W ..R<sub>4</sub>R<sub>5</sub> に特徴があるもの  
 X ..X に特徴があるもの  
 Y ..R がその他のもの  
 Z その他のもの
- 69/75 ..6員環を有する酸の [3]  
 A   
 B   
 C   
 D   
 E   
 F   
 Z その他のもの
- 69/753 ..多環式酸の [3]  
 A   
 B   
 C   
 D   
 E   
 F   
 Z その他のもの

- 69/757 ..酸部分に OH, O 金属, CHO, ケト, エーテル, アシルオキシ, 基,  
  
 または  
  
 基のいずれか  
 の基をもつもの [3]  
 A   
 B   
 C   
 Z その他のもの
- 69/76 ..エステル化されているカルボキシル基が6員芳香環の炭素原子に結合しているカルボン酸のエステル  
 A 多環式酸の  
 Z その他のもの
- 69/767 ..エステル化されている水酸基が非環式炭素原子に結合している不飽和アルコールでエステル化されているもの [3]  
 69/773 ..エステル化されている水酸基が6員芳香環の炭素原子に結合しているヒドロキシ化合物でエステル化されているもの [3]  
 69/78 ..安息香酸エステル  
 69/80 ..フタル酸エステル [2]  
 A 一価アルコールのエステル  
 B 多価アルコールのエステル  
 Z その他のもの
- 69/82 ...テレフタル酸エステル  
 A 一価アルコールのエステル  
 B 多価アルコールのエステル  
 Z その他のもの
- 69/83 ...不飽和アルコールのエステル [2]  
 69/84 ..水酸基とカルボキシル基がともに6員芳香環の炭素原子に結合している単環式ヒドロキシカルボン酸の  
 69/86 ...エステル化された水酸基をもつもの  
 69/88 ...エステル化されたカルボキシル基をもつもの  
 69/90 ...エステル化された水酸基とカルボキシル基をもつもの

69/92	...エ - テル化された水酸基をもつもの [2]	205/16	...6 員芳香環を含有する炭素骨格の [5]
69/94	..水酸基とカルボキシ基がともに 6 員芳香環の炭素原子に結合している多環式ヒドロキシ カルボン酸の [2]	205/17	..非環式炭素原子に結合しているニトロ基と 6 員芳香環の炭素原子に結合している水酸基をもつもの [5]
69/95	・キノンカルボン酸のエステル [2]	205/18	..6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているニトロ基または水酸基をもつもの [5]
69/96	・炭酸またはハロギ酸のエステル [2]	205/19	..6 員芳香環の炭素原子に結合しているニトロ基と非環式炭素原子に結合している水酸基をもつもの [5]
A	ハロギ酸のエステル	205/20	..6 員芳香環の炭素原子に結合しているニトロ基と水酸基をもつもの [5]
Z	その他のもの	205/21	...同じ非縮合 6 員芳香環の炭素原子に結合しているニトロ基と水酸基をもつもの [5]
71/00	ハロゲンのオキシ酸のエステル	205/22	....環に結合している 1 個のニトロ基をもつもの [5]
炭素および窒素を含有し、水素、ハロゲンまたは酸素を有するかまたは有しない化合物 [5]		205/23	....環に結合している 2 個のニトロ基をもつもの [5]
201/00	硝酸もしくは亜硝酸のエステルまたは炭素骨格に結合しているニトロ基またはニトロソ基を含有する化合物の製造 [5]	205/24	....環に結合している 3 個のニトロ基をもつもの [5]
201/02	・硝酸エステルの製造 [5]	205/25	...縮合環系の一部である 6 員芳香環の炭素原子に結合しているニトロ基をもつもの [5]
201/04	・亜硝酸エステルの製造 [5]	205/26	..そしてさらにハロゲン原子で置換されているもの [5]
201/06	・ニトロ化合物の製造 [5]	205/27	・炭素骨格がさらにエ - テル化された水酸基で置換されているもの [5]
201/08	..水素原子をニトロ基で置換するもの [5]	205/28	..炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているニトロ基とエ - テル化された水酸基をもつもの [5]
201/10	..官能基をニトロ基で置換するもの [5]	205/29	...炭素骨格が飽和であるもの [5]
201/12	..ニトロ基の形成が関与しない反応によるもの [5]	205/30	....少なくとも 1 個のエ - テル化された水酸基の酸素原子がさらに 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
201/14	..ニトロ基の形成が関与しない反応とニトロ基の形成反応が同時に起こるもの [5]	205/31	...炭素骨格が 6 員芳香環を含有するもの [5]
201/16	..分解 ; 精製 ; 安定化 ; 添加剤の使用 [5]	205/32	..非環式炭素原子に結合しているニトロ基と炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているエ - テル化された水酸基をもつもの [5]
203/00	硝酸または亜硝酸のエステル [5]	205/33	..炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているニトロ基またはエ - テル化された水酸基をもつもの [5]
203/02	・硝酸のエステル [5]	205/34	..6 員芳香環の炭素原子に結合しているニトロ基と炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているエ - テル化された水酸基をもつもの [5]
203/04	..非環式炭素原子に結合している硝酸基をもつもの [5]	205/35	..炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているニトロ基とエ - テル化された水酸基をもつもの [5]
203/06	...三硝酸グリセリン [5]	205/36	...同じ非縮合 6 員芳香環の炭素原子または同じ縮合環系の一部である 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
203/08	..6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合している硝酸基をもつもの [5]	205/37	....1 個以上のエ - テル化された水酸基の酸素原子がさらに非環式炭素原子に結合しているもの [5]
203/10	..6 員芳香環の炭素原子に結合している硝酸基をもつもの [5]	205/38	....1 個以上のエ - テル化された水酸基の酸素原子がさらに 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの、例 . ニトロジフェニルエ - テル [5]
205/00	炭素骨格に結合しているニトロ基を含有する化合物 [5]	205/39	・炭素骨格がさらにエステル化された水酸基で置換されているもの [5]
205/01	・非環式炭素原子に結合しているニトロ基をもつもの [5]	205/40	..炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているニトロ基とエステル化された水酸基をもつもの [5]
205/02	..飽和炭素骨格の [5]		
205/03	..不飽和炭素骨格の [5]		
205/04	...6 員芳香環を含有するもの [5]		
205/05	・6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているニトロ基をもつもの [5]		
205/06	・6 員芳香環の炭素原子に結合しているニトロ基をもつもの [5]		
205/07	・炭素骨格がさらにハロゲン原子で置換されているもの [5]		
205/08	..非環式炭素原子に結合しているニトロ基をもつもの [5]		
205/09	...不飽和炭素骨格の [5]		
205/10	..6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているニトロ基をもつもの [5]		
205/11	..6 員芳香環の炭素原子に結合しているニトロ基をもつもの [5]		
205/12	...6 員芳香環または縮合環系がハロゲン原子で置換されているもの [5]		
205/13	・炭素骨格がさらに水酸基で置換されているもの [5]		
205/14	..非環式炭素原子に結合しているニトロ基と水酸基をもつもの [5]		
205/15	...飽和炭素骨格の [5]		

205/41	・炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているニトロ基またはエステル化された水酸基をもつもの [5]	209/10	・・・6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基を形成するものまたは 6 員芳香環の炭素原子に結合している窒素原子をもつアミンからのもの [5]
205/42	・炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているニトロ基またはエステル化された水酸基をもつもの [5]	209/12	・・・第 4 アンモニウム化合物の形成によるもの [5]
205/43	・・・同じ非縮合 6 員芳香環の炭素原子または同じ縮合環系の一部である 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]	209/14	・・・水酸基またはエ - テル化もしくはエステル化された水酸基を置換するもの [5]
205/44	・炭素骨格がさらに CHO 基で置換されているもの [5]	209/16	・・・非環式炭素原子または 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているアミノ基の形成によるもの [5]
205/45	・炭素骨格がさらに CHO 基の一部ではない少なくとも 1 個の二重結合の酸素原子で置換されているもの [5]	209/18	・・・6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基を形成するものまたは 6 員芳香環の炭素原子に結合している窒素原子をもつアミンからのもの [5]
205/46	・炭素骨格がキノン環の炭素原子を含有するもの [5]	209/20	・・・第 4 アンモニウム化合物の形成によるもの [5]
205/47	・・・ニトロ基を含有するアントラキノ [5]	209/22	・・・他の官能基を置換するもの [5]
205/48	・・・炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されているもの [5]	209/24	・アンモニア、アミンまたはアミノ基に還元可能な官能基をもつ化合物のカルボニル化合物による還元アルキル化によるもの [5]
205/49	・炭素骨格がさらにカルボキシル基で置換されているもの [5]	209/26	・・・水素による還元によるもの [5]
205/50	・炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているニトロ基とカルボキシル基をもつもの [5]	209/28	・・・他の還元剤による還元によるもの [5]
205/51	・・・炭素骨格が飽和のもの [5]	209/30	・窒素 酸素結合または窒素 窒素結合の還元によるもの [5]
205/52	・・・ニトロ酢酸 [5]	209/32	・・・ニトロ基の還元によるもの [5]
205/53	・・・炭素骨格が 6 員芳香環を含有するもの [5]	209/34	・・・非環式炭素原子または 6 員芳香環以外の環の炭素に結合しているニトロ基の還元によるもの [5]
205/54	・炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているニトロ基と 6 員芳香環の炭素原子に結合しているカルボキシル基をもつもの [5]	209/36	・・・6 員芳香環の炭素原子に結合しているニトロ基の還元によるもの [5]
205/55	・炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているニトロ基またはカルボキシル基をもつもの [5]	209/38	・・・ニトロソ基の還元によるもの [5]
205/56	・炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているニトロ基と非環式炭素原子に結合しているカルボキシル基をもつもの [5]	209/40	・・・ヒドロキシルアミノ基またはオキシイミノ基の還元によるもの [5]
205/57	・炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているニトロ基とカルボキシル基をもつもの [5]	209/42	・・・窒素 窒素結合の還元によるもの [5]
205/58	・・・炭素骨格がさらにハロゲン原子で置換されているもの [5]	209/44	・カルボン酸またはそのエステルのアンモニアまたはアミン存在下における還元によるもの、またはニトリル、カルボン酸アミド、イミンまたはイミノ エ - テルの還元によるもの [5]
205/59	・・・炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されているもの [5]	209/46	・・・カルボン酸またはそのエステルのアンモニアまたはアミン存在下における還元によるもの [5]
205/60	・・・カルボキシル基のオルト位にあるもの、例、ニトロ サリチル酸 [5]	209/48	・・・ニトリルの還元によるもの [5]
205/61	・・・炭素骨格がさらに二重結合の酸素原子で置換されているもの [5]	209/50	・・・カルボン酸アミドの還元によるもの [5]
207/00	炭素骨格に結合しているニトロソ基を含有する化合物 [5]	209/52	・・・イミンまたはイミノ エ - テルの還元によるもの (C07C209/24 優先) [5]
207/02	・炭素骨格がさらに置換されていないもの [5]	209/54	・転位反応によるもの [5]
207/04	・炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されているもの [5]	209/56	・・・ホフマン、クルチウス、シュミットまたはロッセン型の転位が関与するカルボン酸からのもの [5]
209/00	炭素骨格に結合しているアミノ基を含有する化合物の製造 [5]	209/58	・・・アミドからのものまたはアミドを経由するもの [5]
209/02	・水素原子をアミノ基で置換するもの [5]	209/60	・縮合反応または付加反応によるもの、例、マンニッヒ反応、アルケンまたはアルキンへのアンモニアまたはアミンの付加、シッフ塩基、キノイミンまたはアジランへの活性水素原子を含有する化合物の付加 [5]
209/04	・官能基をアミノ基で置換するもの [5]		
209/06	・・・ハロゲン原子を置換するもの [5]		
209/08	・・・非環式炭素原子または 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているアミノ基を形成するもの [5]		

209/62	・炭素 窒素結合, 硫黄 窒素結合またはリン 窒素結合の開裂によるもの, 例. アミドの加水分解, アミンまたは4級アンモニウム化合物のN 脱アルキル化 (C07C209/24 優先) [5]	211/21	・・・モノアミン [5]
209/64	・不均化によるもの [5]	211/22	・・・炭素骨格に結合している少なくとも2個のアミノ基を含有するもの [5]
209/66	・有機金属化合物からのものまたは有機金属化合物を経由するもの [5]	211/23	・・・炭素骨格が炭素 炭素三重結合を含有するもの [5]
209/68	・アミノ基の関与しない反応によるアミノからのもの, 例. 不飽和アミンの還元, 芳香族化または炭素骨格の置換 [5]	211/24	・・・炭素骨格がさらにハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換されているもの [5]
209/70	・・・不飽和アミンの還元によるもの [5]	211/25	・・・6員芳香環以外の環を含有する不飽和炭素骨格の [5]
209/72	・・・6員芳香環の還元によるもの [5]	211/26	・・・少なくとも1個の6員芳香環を含有する不飽和炭素骨格の [5]
209/74	・・・ハロゲン化, ハロゲン化水素化, 脱ハロゲン化または脱ハロゲン化水素化によるもの [5]	211/27	・・・飽和炭素鎖によって6員芳香環に結合しているアミノ基をもつもの [5]
209/76	・・・ニトロ化によるもの [5]	211/28	・・・不飽和炭素鎖によって6員芳香環に結合しているアミノ基をもつもの [5]
209/78	・・・カルボニル化合物, 例. ホルムアルデヒド, と6員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基をもつアミンからメチレン ジアリールアミンを形成するもの [5]	211/29	・・・炭素骨格がさらにハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換されているもの [5]
209/80	・光化学反応によるもの; 遊離基を用いるもの [5]	211/30	・・・6員芳香環が2個の環からなる縮合環系の一部であるもの [5]
209/82	・精製; 分離; 安定化; 添加剤の使用 [5]	211/31	・・・6員芳香環が少なくとも3個の環からなる縮合環系の一部であるもの [5]
209/84	・・・精製 [5]	211/32	・・・ジベンゾシクロヘプタンまたはジベンゾシクロヘプテン環系またはそれらの縮合誘導体を含有するもの [5]
209/86	・・・分離 [5]	211/33	・6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [5]
209/88	・・・光学異性体の分離 [5]	211/34	・・・飽和炭素骨格の [5]
209/90	・・・安定化; 添加物の使用 [5]	211/35	・・・非縮合環のみを含有するもの [5]
211/00	炭素骨格に結合しているアミノ基を含有する化合物 [5]	211/36	・・・炭素骨格に結合している少なくとも2個のアミノ基を含有するもの [5]
211/01	・非環式炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [5]	211/37	・・・炭素骨格がさらにハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換されているもの [5]
211/02	・・・非環式飽和炭素骨格の [5]	211/38	・・・縮合環系を含有するもの [5]
211/03	・・・モノアミン [5]	211/39	・・・不飽和炭素骨格の [5]
211/04	・・・モノ, ジ, またはトリ メチルアミン [5]	211/40	・・・非縮合環のみを含有するもの [5]
211/05	・・・モノ, ジ, またはトリ エチルアミン [5]	211/41	・・・縮合環系を含有するもの [5]
211/06	・・・n またはイソ プロピル基のみを含有するもの [5]	211/42	・・・6員芳香環が縮合環系の一部となっているもの [5]
211/07	・・・1個, 2個または3個のアルキル基を含有し, そのアルキル基のそれぞれが3個を超える同数の炭素原子をもつもの [5]	211/43	・炭素骨格の6員芳香環系の炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [5]
211/08	・・・異なった数の炭素原子をもつアルキル基を含有するもの [5]	211/44	・・・ただ1個の6員芳香環に結合しているアミノ基をもつもの [5]
211/09	・・・ジアミン [5]	211/45	・・・モノアミン [5]
211/10	・・・ジアミノエタン [5]	211/46	・・・アニリン [5]
211/11	・・・ジアミノプロパン [5]	211/47	・・・トリイジン; その同族体 [5]
211/12	・・・1,6 ジアミノヘキサン [5]	211/48	・・・N アルキル化アミン [5]
211/13	・・・炭素骨格に結合している3個以上のアミノ基を含有するアミン [5]	211/49	・・・炭素骨格に結合している少なくとも2個のアミノ基をもつもの [5]
211/14	・・・少なくとも2個のアミノアルキル基に結合しているアミノ基を含有するアミン, 例. ジエチレントリアミン [5]	211/50	・・・炭素骨格の6員芳香環の炭素原子に結合している少なくとも2個のアミノ基をもつもの [5]
211/15	・・・炭素骨格がさらにハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換されているもの [5]	211/51	・・・フェニレンジアミン [5]
211/16	・・・6員芳香環以外の環を含有する飽和炭素骨格の [5]	211/52	・・・炭素骨格がさらにハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換されているもの [5]
211/17	・・・非縮合環のみを含有するもの [5]	211/53	・・・さらにアミノ基置換炭化水素基に結合している少なくとも1個のアミノ基の窒素原子をもつもの [5]
211/18	・・・炭素骨格に結合している少なくとも2個のアミノ基を含有するもの [5]	211/54	・・・2個または3個の6員芳香環に結合しているアミノ基をもつもの [5]
211/19	・・・縮合環系を含有するもの [5]	211/55	・・・ジフェニルアミン [5]
211/20	・・・非環式不飽和炭素骨格の [5]		



211/56	...炭素骨格がさらにハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換されているもの [5]	215/24	...そして非環式のもの [5]
211/57	..炭素骨格の縮合環系の一部である 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [5]	215/26	...そして 6 員芳香環以外の環を含有するもの [5]
211/58	...ナフチルアミン; その N 置換誘導体 [5]	215/28	...そして 6 員芳香環を含有するもの [5]
211/59	...炭素骨格がさらにハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換されているもの [5]	215/30	....炭素骨格の同じ炭素原子に結合している水酸基と 6 員芳香環の炭素原子を含有するもの [5]
211/60	...少なくとも 1 個の縮合環系の一部を形成している 6 員芳香環以外の環を含有するもの [5]	215/32	....炭素骨格の同じ炭素原子に結合している水酸基と 2 個の 6 員芳香環の炭素原子を含有するもの [5]
211/61	...少なくとも 1 個の縮合環系が 3 個以上の環で形成されているもの [5]	215/34	....炭素骨格の同じ炭素原子に結合している水酸基と 6 員芳香環の炭素原子を含有し、さらに炭素骨格の別の炭素原子に結合している水酸基を少なくとも 1 個含有するもの [5]
211/62	・4 級アンモニウム化合物 [5]	215/36	.....1 アリ-ル 2 アミノ 1,3 プロパンジオ-ル [5]
211/63	..非環式炭素原子に結合している 4 級窒素原子をもつもの [5]	215/38	....炭素骨格の一部である 6 員芳香環以外の環を有するもの [5]
211/64	..6 員芳香環の炭素原子に結合している 4 級窒素原子をもつもの [5]	215/40	..炭素骨格の炭素原子に結合している 4 級窒素原子を有するもの [5]
211/65	・アミンの金属錯体 [5]	215/42	・同じ炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているアミノ基または水酸基をもつもの [5]
213/00	同じ炭素骨格に結合しているアミノ基と水酸基、アミノ基とエ-テル化された水酸基またはアミノ基とエステル化された水酸基を含有する化合物の製造 [5]	215/44	..同じ環または同じ縮合環系の炭素原子に結合しているもの [5]
213/02	・水酸基またはエ-テル化もしくはエステル化された水酸基を含有する化合物からのアミノ基の形成が関与する反応によるもの [5]	215/46	・6 員芳香環の炭素原子に結合している少なくとも 1 個の水酸基と、同じ炭素骨格の非環式炭素原子または 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [5]
213/04	・アンモニアまたはアミンと、オレフィンオキシドまたはハロヒドリンの反応によるもの [5]	215/48	..6 員芳香環または 6 員芳香環を含有する縮合環系に、それ以上水酸基で置換されていない炭素鎖で結合されているアミノ基を有するもの [5]
213/06	・ヒドロキシアミンから水酸基のエ-テル化またはエステル化が関与する反応によるもの [5]	215/50	...炭素鎖の同じ炭素原子に結合しているアミノ基と 6 員芳香環もしくは 6 員芳香環を含有する縮合環系を有するもの [5]
213/08	・アミノ基、水酸基またはエ-テル化もしくはエステル化された水酸基のいずれの形成も関与しない反応によるもの [5]	215/52	...アミノ基と 6 員芳香環もしくは 6 員芳香環を含有する縮合環系が 2 個の炭素原子をもつ炭素鎖で結合されているもの [5]
213/10	・分離; 精製; 安定化; 添加剤の使用 [5]	215/54	...アミノ基と 6 員芳香環もしくは 6 員芳香環を含有する縮合環系が 3 個以上の炭素原子をもつ炭素鎖で結合されているもの [5]
215/00	同じ炭素骨格に結合しているアミノ基と水酸基を含有する化合物 [5]	215/56	..6 員芳香環または 6 員芳香環を含有する縮合環系にさらに水酸基で置換された炭素鎖で結合されているアミノ基を有するもの [5]
215/02	・同じ炭素骨格の非環式炭素原子に結合している水酸基とアミノ基をもつもの [5]	215/58	...炭素鎖の同じ炭素原子に結合している水酸基と 6 員芳香環もしくは 6 員芳香環を含有する縮合環系を有するもの [5]
215/04	..炭素骨格が飽和のもの [5]	215/60	....アミノ基と 6 員芳香環もしくは 6 員芳香環を含有する縮合環系の間の炭素鎖が 2 個の炭素原子をもつもの [5]
215/06	...そして非環式のもの [5]	215/62	....アミノ基と 6 員芳香環もしくは 6 員芳香環を含有する縮合環系の間の炭素鎖が少なくとも 3 個の炭素原子をもつもの [5]
215/08	....炭素骨格に結合しているただ 1 個の水酸基と 1 個のアミノ基を有するもの [5]	215/64	..炭素骨格の一部である 6 員芳香環以外の環を有するもの [5]
215/10	....炭素骨格に結合している 1 個のアミノ基と少なくとも 2 個の水酸基を有するもの [5]	215/66	..炭素骨格に結合している 4 級化アミノ基を有するもの [5]
215/12	....アミノ基の窒素原子がさらに水酸基で置換された炭化水素基に結合しているもの [5]		
215/14	....アミノ基の窒素原子がさらにアミノ基で置換された炭化水素基に結合しているもの [5]		
215/16	....アミノ基の窒素原子がさらに 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]		
215/18	....炭素骨格に結合している水酸基と少なくとも 2 個のアミノ基を有するもの [5]		
215/20	..炭素骨格が飽和で環を含有するもの [5]		
215/22	..炭素骨格が不飽和のもの [5]		

215/68	・6員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基と、同じ炭素骨格の非環式炭素原子または6員芳香環以外の環の炭素原子に結合している水酸基をもつもの [5]	217/26	・・・炭素骨格に結合しているただ1個のエ-テル化された水酸基と1個のアミノ基をもち、その炭素骨格がさらにハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換されているもの [5]
215/70	・・・炭素骨格の一部である6員芳香環以外の環を有するもの [5]	217/28	・・・炭素骨格に結合している1個のアミノ基と少なくとも2個の単結合の酸素原子をもち、その酸素原子のうち少なくとも1個はエ-テル化された水酸基の一部であるもの、例、ポリヒドロキシアミンのエ-テル [5]
215/72	・・・炭素骨格に結合している4級化アミノ基を有するもの [5]	217/30	・・・エ-テル化された水酸基の少なくとも1個の酸素原子がさらに6員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
215/74	・同じ炭素骨格の6員芳香環の炭素原子に結合している水酸基とアミノ基をもつもの [5]	217/32	・・・6員芳香環または6員芳香環を含有する縮合環系がさらに置換されているもの [5]
215/76	・・・同じ非縮合6員芳香環の [5]	217/34	・・・ハロゲン原子、トリハロメチル、ニトロもしくはニトロソ基または単結合の酸素原子によるもの [5]
215/78	・・・炭素骨格に結合している水酸基を少なくとも2個含有するもの [5]	217/36	・・・酸素原子との結合を少なくとも2個もつ炭素原子によるもの [5]
215/80	・・・炭素骨格に結合しているアミノ基を少なくとも2個含有するもの [5]	217/38	・・・6員芳香環が6員芳香環以外の環を含有する縮合環系の一部であるもの [5]
215/82	・・・少なくとも1個のアミノ基の窒素原子がさらに他の6員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]	217/40	・・・炭素骨格の同じ炭素原子に結合している少なくとも2個の単結合の酸素原子をもち、その酸素原子の少なくとも1個はエ-テル化された水酸基の一部であるもの、例、アミノ-ケタール、オルトエステル [5]
215/84	・・・縮合環系の一部である6員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [5]	217/42	・・・炭素骨格に結合しているエ-テル化された水酸基と少なくとも2個のアミノ基をもつもの [5]
215/86	・・・2個の環からなるもの [5]	217/44	・・・炭素骨格が飽和で環を含有するもの [5]
215/88	・・・少なくとも3個の環からなるもの [5]	217/46	・・・炭素骨格が非環式で不飽和のもの [5]
215/90	・・・炭素骨格に結合している4級化アミノ基を有するもの [5]	217/48	・・・炭素骨格が不飽和で環を含有するもの [5]
217/00	同じ炭素骨格に結合しているアミノ基とエ-テル化された水酸基を含有する化合物 [5]	217/50	・・・構造が未決定のヒドロキシアミンのエ-テル、例、エポキシドとヒドロキシアミンの反応によって得られたもの [5]
217/02	・同じ炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているエ-テル化された水酸基とアミノ基をもつもの [5]	217/52	・同じ炭素骨格の6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているエ-テル化された水酸基またはアミノ基をもつもの [5]
217/04	・・・炭素骨格が非環式で飽和のもの [5]	217/54	・少なくとも1個の6員芳香環の炭素原子に結合しているエ-テル化された水酸基と、同じ炭素骨格の非環式炭素原子または6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [5]
217/06	・・・炭素骨格に結合しているただ1個のエ-テル化された水酸基と1個のアミノ基をもち、その炭素骨格がそれ以上置換されていないもの [5]	217/56	・・・6員芳香環または6員芳香環を含有する縮合環系にそれ以上単結合の酸素原子で置換されていない炭素鎖で結合されているアミノ基を有するもの [5]
217/08	・・・エ-テル化された水酸基の酸素原子がさらに非環式炭素原子に結合しているもの [5]	217/58	・・・炭素鎖の同じ炭素原子に結合しているアミノ基と6員芳香環もしくは6員芳香環を含有する結合環系を有するもの [5]
217/10	・・・6員芳香環を含有する炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [5]	217/60	・・・アミノ基と6員芳香環もしくは6員芳香環を含有する縮合環系が2個の炭素原子をもつ炭素鎖で結合されているもの [5]
217/12	・・・エ-テル化された水酸基の酸素原子がさらに6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]		
217/14	・・・エ-テル化された水酸基の酸素原子がさらに6員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]		
217/16	・・・6員芳香環または6員芳香環を含有する縮合環系がそれ以上置換されていないもの [5]		
217/18	・・・6員芳香環または6員芳香環を含有する縮合環系がさらに置換されているもの [5]		
217/20	・・・ハロゲン原子またはトリハロメチル、ニトロもしくはニトロソ基または単結合の酸素原子によるもの [5]		
217/22	・・・酸素原子との結合を少なくとも2個もつ炭素原子によるもの [5]		
217/24	・・・6員芳香環が6員芳香環以外の環を含有する縮合環系の一部であるもの [5]		

217/62	... アミノ基と 6 員芳香環もしくは 6 員芳香環を含有する縮合環系が 3 個以上の炭素原子をもつ炭素鎖で結合されているもの [5]	219/08	... 非環式不飽和炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているエステル化カルボキシル基をもつカルボン酸でエステル化された少なくとも 1 個の水酸基をもつもの [5]
217/64	... 6 員芳香環または 6 員芳香環を含有する縮合環系にさらに単結合の酸素原子で置換されている炭素鎖で結合されているアミノ基をもつもの [5]	219/10	... 環を含有する炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているエステル化カルボキシル基をもつカルボン酸でエステル化された少なくとも 1 個の水酸基をもつもの [5]
217/66	... 炭素鎖の同じ炭素原子に単結合の酸素原子と 6 員芳香環が結合しているもの [5]	219/12	... 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているエステル化カルボキシル基をもつカルボン酸でエステル化された少なくとも 1 個の水酸基をもつもの [5]
217/68	... 炭素鎖の同じ炭素原子に単結合の酸素原子、6 員芳香環およびアミノ基が結合しているもの [5]	219/14	... 6 員芳香環の炭素原子に結合しているエステル化カルボキシル基をもつカルボン酸でエステル化された少なくとも 1 個の水酸基をもつもの [5]
217/70	... アミノ基と 6 員芳香環もしくは 6 員芳香環を含有する縮合環系が 2 個の炭素原子をもつ炭素鎖で結合されているもの [5]	219/16	... 無機酸またはその誘導体でエステル化された少なくとも 1 個の水酸基をもつもの [5]
217/72	... アミノ基と 6 員芳香環もしくは 6 員芳香環を含有する縮合環系が 3 個以上の炭素原子をもつ炭素鎖で結合されているもの [5]	219/18	... 炭素骨格が飽和で環を含有するもの [5]
217/74	... 炭素骨格の一部である 6 員芳香環以外の環を有するもの [5]	219/20	... 炭素骨格が不飽和のもの [5]
217/76	... 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基と、同じ炭素骨格の非環式炭素原子または 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているエ - テル化された水酸基をもつもの [5]	219/22	... そして 6 員芳香環を含有するもの [5]
217/78	... 同じ炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基とエ - テル化された水酸基をもつもの [5]	219/24	... 同じ炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているエステル化された水酸基またはアミノ基をもつもの [5]
217/80	... 非縮合 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基とエ - テル化された水酸基をもつもの [5]	219/26	... 少なくとも 1 個の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているエステル化された水酸基と、同じ炭素骨格の非環式炭素原子または 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [5]
217/82	... 同じ非縮合 6 員芳香環の [5]	219/28	... 炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [5]
217/84	... 少なくとも 1 個のエ - テル化された水酸基の酸素原子がさらに非環式炭素原子に結合しているもの [5]	219/30	... 6 員芳香環または 6 員芳香環を含有する縮合環系にさらに単結合の酸素原子で置換された炭素鎖で結合されたアミノ基をもつもの [5]
217/86	... 6 員芳香環を含有する炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [5]	219/32	... 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基と、同じ炭素骨格の非環式炭素原子または 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているエステル化された水酸基をもつもの [5]
217/88	... 少なくとも 1 個のエ - テル化された水酸基の酸素原子がさらに 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]	219/34	... 同じ炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基とエステル化された水酸基をもつもの [5]
217/90	... 少なくとも 1 個のエ - テル化された水酸基の酸素原子がさらに 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの、例 . アミノ ジフェニルエ - テル [5]	221/00	同じ炭素骨格に結合しているアミノ基と二重結合の酸素原子を含有する化合物の製造 [5]
217/92	... 少なくとも 1 個のアミノ基の窒素原子がさらに 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]	223/00	同じ炭素骨格に結合しているアミノ基と CHO 基を含有する化合物 [5]
217/94	... 縮合環系の一部である 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基と、同じ炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているエ - テル化された水酸基をもつもの [5]	223/02	... 炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [5]
219/00	同じ炭素骨格に結合しているアミノ基とエステル化された水酸基を含有する化合物 [5]	223/04	... 炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [5]
219/02	... 同じ炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているエステル化された水酸基とアミノ基をもつもの [5]	223/06	... 炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [5]
219/04	... 炭素骨格が非環式で飽和のもの [5]	225/00	同じ炭素骨格に結合しているアミノ基と二重結合の酸素原子を含有する化合物で、二重結合の酸素原子の少なくとも 1 個が CHO 基の一部でないもの、例 . アミノケトン [5]
219/06	... 水素原子または非環式飽和炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているエステル化カルボキシル基をもつカルボン酸でエステル化された水酸基をもつもの [5]	225/02	... 炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [5]
		225/04	... 炭素骨格が飽和のもの [5]

225/06	・・・非環式のもの [5]	227/32	・・立体特異的合成によるもの [5]
225/08	・・・環を含有するもの [5]	227/34	・・光学異性体の分離によるもの [5]
225/10	・・・環の一部ではない炭素原子に結合している二重結合の酸素原子をもつもの [5]	227/36	・光学異性体のラセミ化 [5]
225/12	・・・環の一部である炭素原子に結合している二重結合の酸素原子をもつもの [5]	227/38	・分離; 精製; 安定化; 添加剤の使用 (光学異性体の分離 C07C227/34) [5]
225/14	・・炭素骨格が不飽和のもの [5]	227/40	・・分離; 精製 [5]
225/16	・・・6 員芳香環を含有するもの [5]	227/42	・・・結晶化 [5]
225/18	・・・炭素骨格が 6 員芳香環以外の環も含有するもの [5]	227/44	・・安定化; 添加剤の使用 [5]
225/20	・炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [5]	229/00	同じ炭素骨格に結合しているアミノ基とカルボキシル基を含有する化合物 [5]
225/22	・炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [5]	229/02	・同じ炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているアミノ基とカルボキシル基をもつもの [5]
225/24	・炭素骨格がキノン環の炭素原子を含有するもの [5]	229/04	・・炭素骨格が非環式で飽和のもの [5]
225/26	・・キノン環またはキノン環を含有する縮合環系の炭素原子に結合しているアミノ基をもつもの [5]	229/06	・・・炭素骨格に結合しているただ 1 個のアミノ基と 1 個のカルボキシル基をもつもの [5]
225/28	・・・非縮合キノン環のもの [5]	229/08	・・・アミノ基の窒素原子がさらに水素原子に結合しているもの [5]
225/30	・・・2 個の環からなる縮合キノン環のもの [5]	229/10	・・・アミノ基の窒素原子がさらに非環式炭素原子または 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
225/32	・・・少なくとも 3 個の環からなる縮合キノン環のもの [5]	229/12	・・・非環式炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]
225/34	・・・アミノアントラキノ [5]	229/14	・・・環を含有する炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]
225/36	・・・炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されているもの [5]	229/16	・・・アミノ基またはカルボキシル基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの、例、エチレンジアミン 4 酢酸、イミノジ酢酸 [5]
227/00	同じ炭素骨格に結合しているアミノ基とカルボキシル基を含有する化合物の製造 [5]	229/18	・・・アミノ基の窒素原子がさらに 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
227/02	・アミノ基を含有する化合物におけるカルボキシル基の形成、例、アミノアルコールの酸化 [5]	229/20	・・炭素骨格がさらにハロゲン原子またはニトロ基もしくはニトロソ基で置換されているもの [5]
227/04	・カルボキシル基を含有する化合物におけるアミノ基の形成 [5]	229/22	・・炭素骨格がさらに酸素原子で置換されているもの [5]
227/06	・・酸の炭素骨格の炭素原子数の増加を伴わない付加または置換反応によるもの [5]	229/24	・・炭素骨格に結合している 2 個以上のカルボキシル基をもつもの、例、アスパラギン酸 [5]
227/08	・・・アンモニアまたはアミンと官能基を含有する酸との反応によるもの [5]	229/26	・・炭素骨格に結合している 2 個以上のアミノ基をもつもの、例、リジン [5]
227/10	・・炭素骨格における炭素原子数の増加が同時におこるもの [5]	229/28	・・炭素骨格が飽和で環を含有するもの [5]
227/12	・アミノ基とカルボキシル基の形成 [5]	229/30	・・炭素骨格が非環式で不飽和のもの [5]
227/14	・すでにアミノ基とカルボキシル基を含有している化合物またはその誘導体からのもの [5]	229/32	・・炭素骨格が不飽和で、6 員芳香環以外の環を含有するもの [5]
227/16	・・アミノ基およびカルボキシル基が関与しない反応によるもの [5]	229/34	・・炭素骨格が 6 員芳香環を含有するもの [5]
227/18	・・アミノ基またはカルボキシル基が関与する反応によるもの、例、エステルまたはアミドの加水分解、ハライド、塩またはエステルの形成 [5]	229/36	・・・炭素骨格の同じ炭素原子に結合している少なくとも 1 個のアミノ基と 1 個のカルボキシル基をもつもの [5]
227/20	・・・N-アシル化アミノ酸またはその誘導体の加水分解によるもの、例、カルバマ - トの加水分解 [5]	229/38	・同じ炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているアミノ基と 6 員芳香環の炭素原子に結合しているカルボキシル基をもつもの [5]
227/22	・ラクタム、環式ケトンまたは環式オキシムからのもの、例、ベックマン転位が関与する反応によるもの [5]	229/40	・同じ炭素骨格の少なくとも 1 個の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基と、非環式炭素原子に結合しているカルボキシル基をもつもの [5]
227/24	・ヒダントインからのもの [5]	229/42	・・6 員芳香環または 6 員芳香環を含有する縮合環系に、飽和炭素鎖で連結しているカルボキシル基をもつもの [5]
227/26	・カルボキシル基を含有する化合物と HCN もしくはその塩およびアミンとの反応によるもの、またアミノニトリルからのもの [5]		
227/28	・天然物からのもの [5]		
227/30	・光学異性体の製造 [5]		

229/44	・ 6 員芳香環または 6 員芳香環を含有する縮合環系に、不飽和炭素鎖で連結しているカルボキシル基をもつもの [5]	233/00	カルボン酸アミド [5]
229/46	・ 同じ炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているアミノ基またはカルボキシル基をもつもの [5]	233/01	・ カルボン酸アミド基の炭素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [5]
229/48	・ 同じ非縮合環の炭素原子に結合しているアミノ基とカルボキシル基をもつもの [5]	233/02	・ カルボン酸アミド基の窒素原子が水素原子または非置換炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]
229/50	・ 同じ縮合環系の一部である炭素原子に結合しているアミノ基とカルボキシル基をもつもの [5]	233/03	・ カルボン酸アミド基の炭素原子が水素原子に結合しているもの [5]
229/52	・ 同じ炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基とカルボキシル基をもつもの [5]	233/04	・ カルボン酸アミド基の炭素原子が非環式飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]
229/54	・ 同じ非縮合 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基とカルボキシル基をもつもの [5]	233/05	・ カルボン酸アミド基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [5]
229/56	・ オルト位に結合しているアミノ基とカルボキシル基をもつもの [5]	233/06	・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
229/58	・ 少なくとも 1 個のアミノ基の窒素原子がさらに 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの、例、N-フェニルアントラニル酸 [5]	233/07	・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
229/60	・ メタまたはパラ位に結合しているアミノ基とカルボキシル基をもつもの [5]	233/08	・ カルボン酸アミド基の炭素原子が環を含有する飽和炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [5]
229/62	・ 同じ 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基と少なくとも 2 個のカルボキシル基をもつもの [5]	233/09	・ カルボン酸アミド基の炭素原子が非環式不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]
229/64	・ 炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されているもの [5]	A	〔メタ〕アクリル酸アミド
229/66	・ 炭素骨格がさらに二重結合の酸素原子で置換されているもの [5]	B	・ 製造方法〔触媒の使用〕
229/68	・ 同じ縮合環系の一部である 6 員芳香環の炭素原子に結合しているアミノ基とカルボキシル基をもつもの [5]	C	・ 精製
229/70	・ 炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されているもの [5]	D	・ 原料ニトリルの精製
229/72	・ 炭素骨格がさらに二重結合の酸素原子で置換されているもの [5]	E	・ 生成物の精製
229/74	・ 縮合環系が少なくとも 3 個の環で形成されたもの、例、アミノアントラキノンカルボン酸 [5]	Z	その他
229/76	・ アミノカルボン酸の金属錯体 [5]	233/10	・ カルボン酸アミド基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環を含有する不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]
231/00	カルボン酸アミドの製造 [5]	233/11	・ カルボン酸アミド基の炭素原子が 6 員芳香環を含有する不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]
231/02	・ アンモニアまたはアミンとの反応によるカルボン酸そのエステル、無水物またはハロゲン化物からの製造 [5]	233/12	・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子がハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]
231/04	・ アンモニアまたはアミンとの反応によるケテンからの製造 [5]	233/13	・ 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に非環式炭素原子によって結合しているもの [5]
231/06	・ シアノ基のカルボン酸アミド基への変換によるニトリルからの製造 [5]	233/14	・ 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に 6 員芳香環以外の環の炭素原子によって結合しているもの [5]
231/08	・ カルボン酸アミド基の窒素原子における反応によるアミドからの製造 [5]	233/15	・ 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に 6 員芳香環の環の炭素原子によって結合しているもの [5]
231/10	・ C07C231/02-C07C231/08 に含まれない化合物からの製造 [5]	233/16	・ 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が単結合の酸素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]
231/12	・ カルボン酸アミド基の形成の関与しない反応による製造 [5]	233/17	・ 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に非環式炭素原子によって結合しているもの [5]
231/14	・ カルボン酸アミド基の形成の関与しない反応を伴う、カルボン酸アミド基の形成による製造 [5]	233/18	・ カルボン酸アミド基の炭素原子が水素原子または非環式飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]
231/16	・ 光学異性体の製造 [5]	233/19	・ カルボン酸アミド基の炭素原子が環を含有する飽和炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [5]
231/18	・ 立体特異的合成によるもの [5]		
231/20	・ 光学異性体の分離によるもの [5]		
231/22	・ 分離；精製；安定化；添加剤の使用（光学異性体の分離 C07C231/20） [5]		
231/24	・ 分離；精製 [5]		

233/20	.... カルボン酸アミド基の炭素原子が非環式不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]	233/40	.... カルボン酸アミド基の炭素原子が 6 員芳香環を含有する炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [5]
233/21	.... カルボン酸アミド基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環を含有する不飽和炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [5]	233/41	... 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に 6 員芳香環以外の環の炭素原子によって結合しているもの [5]
233/22	.... カルボン酸アミド基の炭素原子が 6 員芳香環を含有する炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [5]	233/42	... 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に 6 員芳香環の炭素原子によって結合しているもの [5]
233/23	... 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に 6 員芳香環以外の環の炭素原子によって結合しているもの [5]	233/43	.... カルボン酸アミド基の炭素原子が水素原子または飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]
233/24	... 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に 6 員芳香環の炭素原子によって結合しているもの [5]	233/44	.... カルボン酸アミド基の炭素原子が不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]
233/25	.... カルボン酸アミド基の炭素原子が水素原子または非環式飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]	233/45	.. 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子がカルボキシル基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]
233/26	.... カルボン酸アミド基の炭素原子が環を含有する飽和炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [5]	233/46	... 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に非環式炭素原子によって結合しているもの [5]
233/27	.... カルボン酸アミド基の炭素原子が非環式不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]	233/47	.... カルボン酸アミド基の炭素原子が水素原子または非環式飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]
233/28	.... カルボン酸アミド基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環を含有する不飽和炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [5]	233/48	.... カルボン酸アミド基の炭素原子が環を含有する飽和炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [5]
233/29	.... カルボン酸アミド基の炭素原子が 6 員芳香環を含有する炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [5]	233/49	.... カルボン酸アミド基の炭素原子が非環式不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]
233/30	.. 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が二重結合の酸素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]	233/50	.... カルボン酸アミド基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環を含有する不飽和炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [5]
233/31	... 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に非環式炭素原子によって結合しているもの [5]	233/51	.... カルボン酸アミド基の炭素原子が 6 員芳香環を含有する炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [5]
233/32	... 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に 6 員芳香環以外の環の炭素原子によって結合しているもの [5]	233/52	... 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に 6 員芳香環以外の環の炭素原子によって結合しているもの [5]
233/33	... 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に 6 員芳香環の炭素原子によって結合しているもの [5]	233/53	... 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に 6 員芳香の環の炭素原子によって結合しているもの [5]
233/34	.. 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子がアミノ基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]	233/54	.... カルボン酸アミド基の炭素原子が水素原子または飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]
233/35	... 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に非環式炭素原子によって結合しているもの [5]	233/55	.... カルボン酸アミド基の炭素原子が不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]
233/36	.... カルボン酸アミド基の炭素原子が水素原子または非環式飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]	233/56	.. カルボン酸アミド基の炭素原子がカルボキシル基の炭素原子に結合しているもの、例、オキサミド [5]
233/37	.... カルボン酸アミド基の炭素原子が環を含有する飽和炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [5]	233/57	.. カルボン酸アミド基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
233/38	.... カルボン酸アミド基の炭素原子が非環式不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]	233/58	.. カルボン酸アミド基の窒素原子が水素原子または非置換炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]
233/39	.... カルボン酸アミド基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環を含有する不飽和炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [5]	233/59	.. 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子がハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]

233/60	.. 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が単結合の酸素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]	233/81	.. 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子がカルボキシル基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]
233/61	.. 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が二重結合の酸素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]	233/82	... 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に非環式炭素原子によって結合しているもの [5]
233/62	.. 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子がアミノ基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]	233/83	.... 非環式飽和炭素骨格の非環式炭素原子 [5]
233/63	.. 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子がカルボキシル基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]	233/84	.... 環を含有する飽和炭素骨格の非環式炭素原子 [5]
233/64	・カルボン酸アミド基の炭素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]	233/85	.... 非環式不飽和炭素骨格の非環式炭素原子 [5]
233/65	.. カルボン酸アミド基の窒素原子が水素原子または非置換炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]	233/86	.... 6 員芳香環以外の環を含有する不飽和炭素骨格の非環式炭素原子 [5]
233/66	.. 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子がハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]	233/87	.... 6 員芳香環を含有する炭素骨格の非環式炭素原子 [5]
233/67	.. 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が単結合の酸素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]	233/88	・カルボン酸アミド基の窒素原子が非環式炭素原子と、少なくとも 1 個のオルト位の水素原子が置換されている 6 員芳香環の炭素原子とに結合しているもの [5]
233/68	... 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に非環式炭素原子によって結合しているもの [5]	233/89	・カルボン酸アミド基の窒素原子が 4 級化されているもの [5]
233/69	.... 非環式飽和炭素骨格の非環式炭素原子 [5]	233/90	・カルボン酸アミド基の窒素原子がさらにアシル化されているもの [5]
233/70	.... 環を含有する飽和炭素骨格の非環式炭素原子 [5]	233/91	.. カルボン酸アミド基の炭素原子が非環式炭素原子に結合しているもの [5]
233/71	.... 非環式不飽和炭素骨格の非環式炭素原子 [5]	233/92	.. 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の炭素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
233/72	.... 6 員芳香環以外の環を含有する不飽和炭素骨格の非環式炭素原子 [5]	235/00	酸部分の炭素骨格がさらに酸素原子で置換されているカルボン酸アミド [5]
233/73	.... 6 員芳香環を含有する炭素骨格の非環式炭素原子 [5]	235/02	・カルボン酸アミド基の炭素原子が非環式炭素原子に結合し、それと同じ炭素骨格に単結合の酸素原子が結合しているもの [5]
233/74	... 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に 6 員芳香環以外の環の炭素原子によって結合しているもの [5]	235/04	.. 炭素骨格が非環式で飽和のもの [5]
233/75	... 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に 6 員芳香環の炭素原子によって結合しているもの [5]	235/06	... カルボン酸アミド基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [5]
233/76	.. 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が、二重結合の酸素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]	235/08	.. 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が単結合の酸素原子で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [5]
233/77	.. 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が、アミノ基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]	235/10	... 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子がニトロ基またはニトロソ基の一部ではない窒素原子で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [5]
233/78	... 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に非環式炭素原子によって結合しているもの [5]	235/12	... 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子がカルボキシル基で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [5]
233/79	... 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に 6 員芳香環以外の環の炭素原子によって結合しているもの [5]	235/14	... 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
233/80	... 置換された炭化水素基がカルボン酸アミド基の窒素原子に 6 員芳香環の炭素原子によって結合しているもの [5]	A	窒素原子に結合する炭素骨格が単結合の酸素原子で置換されたもの
		B	窒素原子に結合する炭素骨格がニトロ基またはニトロソ基の一部ではない窒素原子で置換されたもの
		C	窒素原子に結合する炭素骨格がカルボキシル基で置換されたもの
		Z	その他
		235/16	... 少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]



235/18	A	窒素原子に結合する炭素骨格が単結合の酸素原子で置換されたもの	235/38	・・・少なくとも1個のカルボン酸アミド基の窒素原子が6員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
	B	窒素原子に結合する炭素骨格がニトロ基またはニトロソ基の一部ではない窒素原子で置換されたもの	235/40	・カルボン酸アミド基の炭素原子が6員芳香環以外の環の炭素原子に結合し、それと同じ炭素骨格に単結合の酸素原子が結合しているもの [5]
	C	窒素原子に結合する炭素骨格がカルボキシル基で置換されたもの	235/42	・カルボン酸アミド基の炭素原子が6員芳香環の炭素原子に結合し、それと同じ炭素骨格に単結合の酸素原子が結合しているもの [5]
	Z	その他	235/44	・・カルボン酸アミド基の炭素原子と単結合の酸素原子が同じ非縮合6員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
235/20		・・・少なくとも1個の単結合の酸素原子がさらに6員芳香環の炭素原子と結合しているもの、例、フェノキシアセトアミド [5]	235/46	・・・カルボン酸アミド基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [5]
235/22	A	窒素原子に結合する炭素骨格が単結合の酸素原子で置換されたもの	235/48	・・・少なくとも1個のカルボン酸アミド基の窒素原子が単結合の酸素原子で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [5]
	B	窒素原子に結合する炭素骨格がニトロ基またはニトロソ基の一部ではない窒素原子で置換されたもの	235/50	・・・少なくとも1個のカルボン酸アミド基の窒素原子がニトロまたはニトロソ基の一部ではない窒素原子で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [5]
	C	窒素原子に結合する炭素骨格がカルボキシル基で置換されたもの	235/52	・・・少なくとも1個のカルボン酸アミド基の窒素原子がカルボキシル基で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [5]
	Z	その他	235/54	・・・少なくとも1個のカルボン酸アミド基の窒素原子が6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
235/24	A	窒素原子に結合する炭素骨格が単結合の酸素原子で置換されたもの	235/56	・・・少なくとも1個のカルボン酸アミド基の窒素原子が6員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
	B	窒素原子に結合する炭素骨格がニトロ基またはニトロソ基の一部ではない窒素原子で置換されたもの	235/58	・・・カルボン酸アミド基の炭素原子と単結合の酸素原子が同じ非縮合6員芳香環の炭素原子にオルト位で結合しているもの [5]
	C	窒素原子に結合する炭素骨格がカルボキシル基で置換されたもの	235/60	・・・カルボン酸アミド基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [5]
	Z	その他	235/62	・・・少なくとも1個のカルボン酸アミド基の窒素原子が6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
235/26	A	窒素原子に結合する炭素骨格が単結合の酸素原子で置換されたもの	235/64	・・・少なくとも1個のカルボン酸アミド基の窒素原子が6員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
	B	窒素原子に結合する炭素骨格がニトロ基またはニトロソ基の一部ではない窒素原子で置換されたもの	235/66	・・カルボン酸アミド基の炭素原子が縮合環系的一部分である6員芳香環の炭素原子に結合し、同一炭素骨格に単結合の酸素原子が同じ炭素骨格に結合しているもの [5]
	C	窒素原子に結合する炭素骨格がカルボキシル基で置換されたもの	235/68	・少なくとも1個のカルボン酸アミド基の窒素原子が非環式炭素原子と少なくとも1個のカルボン酸アミド基の窒素原子が非環式炭素原子と少なくとも1個のオルト位の水素原子が置換されている6員芳香環の炭素原子とに結合しているもの [5]
	Z	その他	235/70	・カルボン酸アミド基の炭素原子と二重結合の酸素原子が同じ炭素骨格に結合しているもの [5]
235/28		・・・炭素骨格が飽和で環を含有するもの [5]	235/72	・・カルボン酸アミド基の炭素原子が非環式炭素原子に結合しているもの [5]
235/30		・・・炭素骨格が非環式で不飽和のもの [5]	235/74	・・・飽和炭素骨格の非環式炭素原子 [5]
235/32		・・・炭素骨格が不飽和で6員芳香環以外の環を含有するもの [5]	235/76	・・・不飽和炭素骨格の非環式炭素原子 [5]
235/34		・・・炭素骨格が6員芳香環を含有するもの [5]	235/78	・・・環を含有する炭素骨格 [5]
235/36		・・・カルボン酸アミド基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [5]		
		・・・少なくとも1個のカルボン酸アミド基の窒素原子が6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]		



235/80	・・・カルボン酸アミド基の炭素原子とケト基の炭素原子とが同じ炭素原子に結合しているもの、例、アセト酢酸アミド [5]	237/28	・少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の炭素原子が炭素骨格の非縮合 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
235/82	・・少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]	237/30	・・カルボン酸アミド基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [5]
235/84	・・少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の炭素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]	237/32	・・カルボン酸アミド基の窒素原子が酸素原子で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [5]
235/86	・少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が 4 級化されているもの [5]	237/34	・・カルボン酸アミド基の窒素原子がニトロまたはニトロソ基の一部ではない窒素原子で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [5]
235/88	・少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子がさらにアシル化されているもの [5]	237/36	・・カルボン酸アミド基の窒素原子がカルボキシル基で置換された炭化水素の非環式炭素原子に結合しているもの [5]
237/00	酸部分の炭素骨格がさらにアミノ基で置換されているカルボン酸アミド [5]	237/38	・・カルボン酸アミド基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
237/02	・カルボン酸アミド基の炭素原子が炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [5]	237/40	・・カルボン酸アミド基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
237/04	・・炭素骨格が非環式で飽和のもの [5] A 窒素原子に結合する炭素骨格が 6 員芳香環で、かつ、単結合の酸素原子で置換されたもの B 窒素原子に結合する炭素骨格が 6 員芳香環で、かつ、ニトロ基またはニトロソ基の一部ではない窒素原子で置換されたもの C 窒素原子に結合する炭素骨格が 6 員芳香環で、かつ、カルボキシル基で、置換されたもの D 窒素原子に結合する炭素骨格が 6 員芳香環以外の環であるもの Z その他	237/42	・・アミノ基の窒素原子が酸部分の炭素骨格に結合し、さらにアシル化されているもの [5]
237/06	・・・カルボン酸アミド基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [5]	237/44	・・カルボン酸アミド基の炭素原子、アミノ基および単結合の酸素原子が同じ非縮合 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
237/08	・・・少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が単結合の酸素原子で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [5]	237/46	・・カルボン酸アミド基の炭素原子、アミノ基および少なくとも 3 個の酸素またはヨウ素原子が同じ非縮合 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
237/10	・・・少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子がニトロまたはニトロソ基の一部ではない窒素原子で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [5]	237/48	・少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の炭素原子が同じ炭素骨格の縮合環系の一部である 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
237/12	・・・少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子がカルボキシル基で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [5]	237/50	・少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子が 4 級化されているもの [5]
237/14	・・炭素骨格が飽和で環を含有するもの [5]	237/52	・少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の窒素原子がさらにアシル化されているもの [5]
237/16	・・炭素骨格が非環式で不飽和のもの [5]	239/00	窒素 ハロゲン結合を含有する化合物；ヒドロキシルアミノ化合物またはそのエーテルもしくはエステル [5]
237/18	・・炭素骨格が不飽和で 6 員芳香環以外の環を含有するもの [5]	239/02	・窒素 ハロゲン結合を含有する化合物 [5]
237/20	・・炭素骨格が 6 員芳香環を含有するもの [5]	239/04	・・N ハロゲン化アミン [5]
237/22	・・アミノ基の窒素原子が酸部分の炭素骨格に結合し、さらにアシル化されているもの [5]	239/06	・・N ハロゲン化カルボン酸アミド [5]
237/24	・少なくとも 1 個のカルボン酸アミド基の炭素原子が炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]	239/08	・ヒドロキシルアミノ化合物またはそのエーテルもしくはエステル [5]
237/26	・・少なくとも 4 個の環からなる縮合環系の一部である環、例、テトラサイクリン [5]	239/10	・・ヒドロキシルアミノ基の窒素原子がさらに不飽和炭化水素基または、ハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]
		239/12	・・ヒドロキシルアミノ基の窒素原子がさらに単結合の酸素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]
		239/14	・・ヒドロキシルアミノ基の窒素原子がさらに二重結合の酸素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]

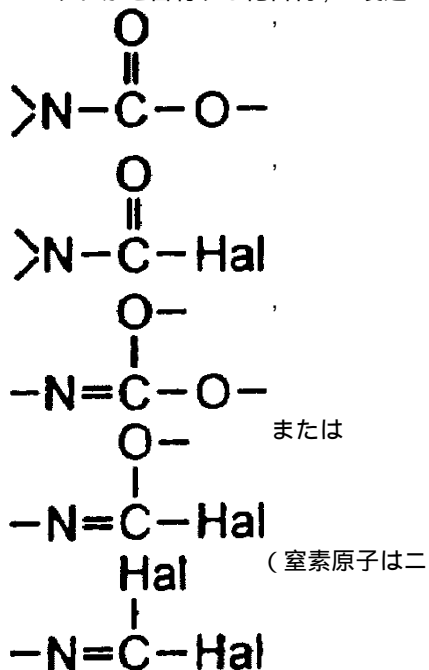
239/16	.. ヒドロキシルアミノ基の窒素原子がさらにニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]	245/06	.. アゾ基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
239/18	.. ヒドロキシルアミノ基の窒素原子がさらにカルボキシル基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]	245/08	... アゾ基の 2 個の窒素原子が 6 員芳香環に結合しているもの, 例 . アゾベンゼン [5]
239/20	.. ヒドロキシルアミノ基の酸素原子がエテル化されているもの [5]	245/10	... アゾ基の窒素原子が縮合環系の一部である 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
239/22	.. ヒドロキシルアミノ基の酸素原子がエステル化されているもの [5]	245/12	・ジアゾ化合物, すなわち $>N_2$ 基が同じ炭素原子に結合している化合物 [5]
241/00	互いに単結合で結合している窒素原子鎖を含有する化合物の製造, 例 . ヒドラジン, トリアザン [5]	245/14	.. 炭素骨格の非環式炭素原子に結合するジアゾ基をもつもの [5]
241/02	・ヒドラジンの製造 [5]	245/16	... ジアゾメタン [5]
241/04	・ヒドラジドの製造 [5]	245/18	... 炭素骨格がさらにカルボキシル基で置換されているもの [5]
243/00	互いに単結合で結合している窒素原子鎖を含有する化合物, 例 . ヒドラジン, トリアザン [5]	245/20	・ジアゾニウム化合物 [5]
243/02	・N ニトロ化合物 [5]	245/22	・1 個以上の窒素 窒素二重結合を持つ 3 個以上の窒素原子からなる窒素鎖を含有するもの [5]
243/04	・N ニトロソ化合物 [5]	245/24	.. 3 個の窒素原子からなる窒素鎖, 例 . ジアゾアミン [5]
243/06	.. N ニトロソ アミン [5]	247/00	アジド基を含有する化合物 [5]
243/08	.. N ニトロソ カルボン酸アミド [5]	247/02	・炭素骨格の非環式炭素原子に結合するアジド基をもつもの [5]
243/10	・ヒドラジン [5]	247/04	.. 飽和のもの [5]
243/12	.. ヒドラジノ基の窒素原子が非環式炭素原子に結合しているもの [5]	247/06	... 環を含有するもの [5]
243/14	... 飽和炭素骨格の [5]	247/08	.. 不飽和のもの [5]
243/16	... 不飽和炭素骨格の [5]	247/10	... 環を含有するもの [5]
243/18	... 環を含有するもの [5]	247/12	.. さらにカルボキシル基で置換されているもの [5]
243/20	.. ヒドラジノ基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]	247/14	・アジド基が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
243/22	.. ヒドラジノ基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]	247/16	・アジド基が炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
243/24	・ヒドラジノ基の窒素原子がカルボン酸でアシル化されているヒドラジン [5]	247/18	.. さらにカルボキシル基で置換されているもの [5]
243/26	.. アシル化しているカルボキシル基が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [5]	247/20	・アジド基がカルボン酸でアシル化されているもの [5]
243/28	... 水素原子または飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]	247/22	.. アシル化しているカルボキシル基が水素原子, 非環式炭素原子または 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
243/30	... 不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]	247/24	.. 少なくとも 1 個のアシル化しているカルボキシル基が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
243/32	... 炭素骨格が環を含有するもの [5]	249/00	炭素骨格に二重結合で結合している窒素原子を含有する化合物の製造 (ジアゾ化合物の製造 (C07C245/12) ) [5]
243/34	.. さらに窒素原子で置換された炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]	249/02	・イミノ基を含有する化合物の [5]
243/36	.. アシル化しているカルボキシル基が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]	249/04	・オキシムの [5]
243/38	.. アシル化しているカルボキシル基が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]	249/06	.. 炭化水素または置換炭化水素のニトロソ化によるもの [5]
243/40	・ヒドラジノ基の窒素原子が 4 級化されているヒドラジン [5]	249/08	.. ヒドロキシルアミンとカルボニル化合物との反応によるもの [5]
243/42	・ヒドラジノ基の窒素原子がさらに異種原子に単結合で結合しているヒドラジン [5]	249/10	.. ニトロ化合物またはその塩からのもの [5]
245/00	少なくとも 1 個の窒素 窒素多重結合をもつ窒素原子鎖を含有する化合物 (アゾキシ化合物 C07C291/08) [5]	249/12	.. オキシイミノ基の形成が関与しない反応によるもの [5]
245/02	・アゾ化合物, すなわち $N=N$ 基が異なった原子に結合している化合物, 例 . ジアゾヒドロキッド [5]	249/14	.. 分離; 精製; 安定化; 添加剤の使用 [5]
245/04	.. アゾ基の窒素原子が非環式炭素原子または 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]	249/16	・ヒドラゾンの [5]
		251/00	炭素骨格に二重結合で結合している窒素原子を含有する化合物 (ジアゾ化合物 C07C245/12) [5]
		251/02	・イミノ基を含有するもの [5]
		251/04	.. イミノ基の炭素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [5]

251/06	・・・飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]	251/68	・・・少なくとも 1 個のエステル化されたカルボキシル基が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
251/08	・・・炭素骨格が非環式のもの [5]	251/70	・・オキシムの金属錯体 [5]
251/10	・・・不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]	251/72	・ヒドラゾン [5]
251/12	・・・炭素骨格が非環式のもの [5]	251/74	・・ヒドラゾン基の二重結合の炭素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [5]
251/14	・・・炭素骨格が 6 員芳香環以外の環を含有するもの [5]	251/76	・・・飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]
251/16	・・・炭素骨格が 6 員芳香環を含有するもの [5]	251/78	・・・不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]
251/18	・・イミノ基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]	251/80	・・・炭素骨格が環を含有するもの [5]
251/20	・・イミノ基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環の一部であるもの [5]	251/82	・・ヒドラゾン基の二重結合の炭素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
251/22	・・・キノンイミン [5]	251/84	・・ヒドラゾン基の二重結合の炭素原子が 6 員芳香環以外の環の一部であるもの [5]
251/24	・・イミノ基の炭素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]	251/86	・・ヒドラゾン基の二重結合の炭素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
251/26	・・イミノ基の窒素原子がさらにハロゲン原子に結合しているもの [5]	251/88	・・他方の窒素原子も炭素原子に二重結合で結合しているもの、例 . アジン [5]
251/28	・・イミノ基の窒素原子がアシル化されているもの [5]	253/00	カルボン酸ニトリルの製造 ( シアンまたはその化合物 C01C3/00 ) [5]
251/30	・・イミノ基の窒素原子が 4 級化されているもの [5]	253/02	・窒素酸化物と有機化合物との反応によるもの [5]
251/32	・オキシム [5]	253/04	・ハロゲン化シアン、例 . C1CN, と有機化合物との反応によるもの [5]
251/34	・・オキシイミノ基の酸素原子が水素原子または非置換炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]	253/06	・N ホルミル化アミノ化合物からのもの [5]
251/36	・・・オキシイミノ基の炭素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [5]	253/08	・シアン化水素またはその塩の不飽和化合物への付加によるもの [5]
251/38	・・・飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]	253/10	・・炭素 炭素二重結合を含有する化合物への付加 [5]
251/40	・・・不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]	253/12	・・炭素 炭素三重結合を含有する化合物への付加 [5]
251/42	・・・少なくとも 1 個のオキシイミノ基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]	253/14	・ハロゲン原子のシアノ基による置換を伴う、シアン化物とハロゲン含有化合物との反応によるもの [5]
251/44	・・・少なくとも 1 個のオキシイミノ基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環の一部であるもの [5]	253/16	・シアン化物と、ラクトンまたは水酸基またはエ - テル化もしくはエステル化された水酸基を含有する化合物との反応によるもの [5]
251/46	・・・キノンオキシム [5]	253/18	・アンモニアまたはアミンと、6 員芳香環以外に炭素 炭素多重結合を含有する化合物との反応によるもの [5]
251/48	・・・少なくとも 1 個のオキシイミノ基の炭素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]	253/20	・カルボン酸アミドの脱水によるもの [5]
251/50	・・オキシイミノ基の酸素原子が置換炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]	253/22	・カルボキシル基のシアノ基による置換を伴う、アンモニアとカルボン酸の反応によるもの [5]
251/52	・・・炭化水素基がハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換されているもの [5]	253/24	・炭化水素の、または置換された炭化水素のアンモキシデ - ションによるもの [5]
251/54	・・・炭化水素基が単結合の酸素原子で置換されているもの [5]	253/26	・・炭素 炭素多重結合を含有するもの、例 . 不飽和アルデヒド [5]
251/56	・・・炭化水素基が二重結合の酸素原子で置換されているもの [5]	253/28	・・6 員芳香環を含有するもの、例 . スチレン [5]
251/58	・・・炭化水素基がニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換されているもの [5]	253/30	・シアノ基の形成の関与しない反応によるもの [5]
251/60	・・・炭化水素基がカルボキシル基で置換されているもの [5]	253/32	・分離 ; 精製 ; 安定化 ; 添加剤の使用 [5]
251/62	・・オキシイミノ基の酸素原子がエステル化されているもの [5]	253/34	・・分離 ; 精製 [5]
251/64	・・・カルボン酸によるもの [5]	255/00	カルボン酸ニトリル ( シアンまたはその化合物 C01C3/00 ) [5]
251/66	・・・エステル化されたカルボキシル基が水素原子または、非環式炭素原子もしくは 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]	255/01	・非環式炭素原子に結合しているシアノ基をもつもの [5]

255/02	.. 非環式飽和炭素骨格の [5]	255/30	.. シアノ基と、同じ不飽和非環式炭素骨格に結合しており、さらに異種原子に結合していない単結合の窒素原子とを含有するもの [5]
255/03	... モノニトリル [5]	255/31	.. シアノ基が、6 員芳香環以外の環を含有する炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [5]
255/04	... 炭素骨格に結合している 2 個のシアノ基を含有するもの [5]	255/32	.. シアノ基が、少なくとも 1 個の 6 員芳香環を含有する炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [5]
255/05	... 炭素骨格に結合している少なくとも 3 個のシアノ基を含有するもの [5]	255/33	... シアノ基が、6 員芳香環または 6 員芳香環を含有する縮合環系に飽和炭素鎖で結合しているもの [5]
255/06	.. 非環式で不飽和の炭素骨格の [5]	255/34	... シアノ基が、6 員芳香環または 6 員芳香環を含有する縮合環系に、不飽和炭素鎖で結合しているもの [5]
255/07	... モノニトリル [5]	255/35	... 炭素骨格がさらにハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換されているもの [5]
255/08	.... アクリロニトリル; メタクリロニトリル [5]	255/36	.. 炭素骨格がさらに水酸基で置換されているもの [5]
255/09	... 炭素骨格に結合している少なくとも 2 個のシアノ基を含有するもの [5]	255/37	... 炭素骨格がさらにエ - テル化された水酸基で置換されているもの [5]
255/10	.. シアノ基と、同じ非環式炭素骨格に結合しているハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基とを含有するもの [5]	255/38	... 炭素骨格がさらにエステル化された水酸基で置換されてくるもの [5]
255/11	.. シアノ基と、同じ飽和非環式炭素骨格に結合している単結合の酸素原子とを含有するもの [5]	255/39	... 2,2 ジメチルシクロプロパンカルボン酸誘導体、例、菊酸、でエステル化されている水酸基を有するもの [5]
255/12	... シアノ基と、炭素骨格に結合している水酸基とを含有するもの [5]	255/40	... 炭素骨格がさらに二重結合の酸素原子で置換されているもの [5]
255/13	... シアノ基と、炭素骨格に結合しているエ - テル化された水酸基とを含有するもの [5]	255/41	... 炭素骨格がさらにシアノ基以外のカルボキシル基で置換されているもの [5]
255/14	... シアノ基と、炭素骨格に結合しているエステル化された水酸基とを含有するもの [5]	255/42	... 炭素骨格がさらに単結合の窒素原子で置換されており、さらに他の異種原子に結合していないもの [5]
255/15	.. シアノ基と、同じ不飽和非環式炭素骨格に結合している単結合の酸素原子とを含有するもの [5]	255/43	... 炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されているもの [5]
255/16	.. シアノ基と、非環式炭素骨格の同じ炭素原子に結合している単結合の酸素原子とを含有するもの [5]	255/44	... 少なくとも 1 個の単結合の窒素原子がアシル化されているもの [5]
255/17	.. シアノ基と、同じ非環式炭素骨格に結合している二重結合の酸素原子とを含有するもの [5]	255/45	.. シアノ基が、6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
255/18	.. カルボキシル基の炭素原子に結合しているシアノ基を含有するもの [5]	255/46	.. 非縮合環の炭素原子に結合しているもの [5]
255/19	.. シアノ基と、同じ飽和非環式炭素骨格に結合している、シアノ基以外のカルボキシル基とを含有するもの [5]	255/47	.. 縮合環系の一部である環の炭素原子に結合しているもの [5]
255/20	... 炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されているもの [5]	255/48	.. 2,2 ジメチルシクロプロパン環の炭素原子に結合しているもの、例、菊酸のニトリル [5]
255/21	... 炭素骨格がさらに二重結合の酸素原子で置換されているもの [5]	255/49	.. シアノ基が、炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
255/22	... シアノ基と、炭素骨格に結合している少なくとも 2 個のカルボキシル基とを含有するもの [5]	255/50	.. 非縮合 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
255/23	.. シアノ基と、同じ飽和非環式炭素骨格に結合している、シアノ基以外のカルボキシル基とを含有するもの [5]	255/51	... 炭素骨格に結合している少なくとも 2 個のシアノ基を含有するもの [5]
255/24	.. シアノ基と、同じ飽和非環式炭素骨格に結合しておりさらに他の異種原子に結合していない単結合の窒素原子とを含有するもの [5]	255/52	.. 縮合環系の一部である 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
255/25	... アミノアセトニトリル [5]	255/53	.. シアノ基と、炭素骨格に結合している水酸基とを含有するもの [5]
255/26	... 炭素骨格に結合しているシアノ基、アミノ基および単結合の酸素原子を含有するもの [5]	255/54	.. シアノ基と、炭素骨格に結合しているエ - テル化された水酸基とを含有するもの [5]
255/27	... 炭素骨格に結合しているシアノ基、アミノ基および二重結合の酸素原子を含有するもの [5]	255/55	.. シアノ基と、炭素骨格に結合しているエステル化された水酸基とを含有するもの [5]
255/28	... 炭素骨格に結合しているシアノ基、アミノ基およびシアノ基以外のカルボキシル基を含有するもの [5]	255/56	.. シアノ基と、炭素骨格に結合している二重結合の酸素原子とを含有するもの [5]
255/29	... シアノ基と、炭素骨格に結合しているアシル化されたアミノ基とを含有するもの [5]		

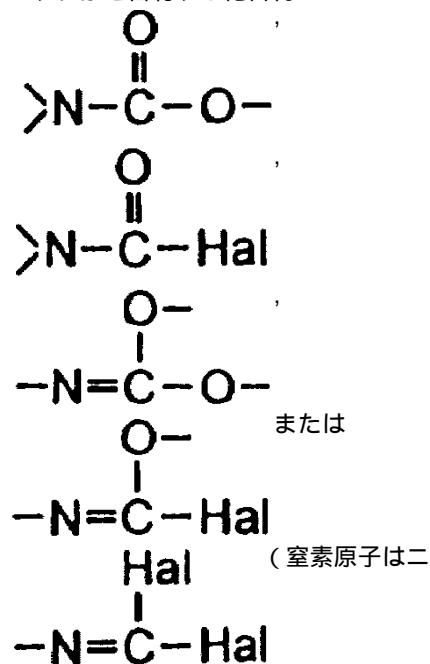
255/57	.. シアノ基と、炭素骨格に結合しているシアノ基以外のカルボキシル基とを含有するもの [5]	259/00	カルボキシル基の酸素原子がニトロまたはニトロソ基の一部ではない窒素原子で置き換えられ、その窒素原子がさらに酸素原子に結合しているカルボキシル基を含有する化合物 [5]
255/58	.. シアノ基と、炭素骨格に結合しており他の異種原子に結合していない単結合の窒素原子とを含有するもの [5]	259/02	・カルボキシル基の他方の酸素原子がハロゲン原子で置き換えられているもの [5]
255/59	... 炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されたもの [5]	259/04	・カルボキシル基の他方の酸素原子が置き換えられていないもの、例、ヒドロキサム酸 [5]
255/60	... 少なくとも 1 個の単結合の窒素原子がアシル化されているもの [5]	259/06	.. ヒドロキサム酸基の炭素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [5]
255/61	・シアノ基と、同じ炭素骨格に結合しているイミノ基の一部である窒素原子とを含有するもの [5]	259/08	.. ヒドロキサム酸基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
255/62	・シアノ基と、同じ炭素骨格に結合しているオキシイミノ基の一部である酸素原子を含有するもの [5]	259/10	.. ヒドロキサム酸基の炭素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
255/63	・シアノ基と、同じ炭素骨格に結合している、ニトロもしくはニトロソ基の酸素原子以外の異種原子にさらに結合する窒素原子を有するもの [5]	259/12	・カルボキシル基の他方の酸素原子が窒素原子で置き換えられているもの、例、N-ヒドロキシアミジン [5]
255/64	.. 窒素原子がさらに酸素原子に結合しているもの [5]	259/14	.. ヒドロキシアミジン基の炭素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [5]
255/65	.. 窒素原子がさらに窒素原子に結合しているもの [5]	259/16	.. ヒドロキシアミジン基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
255/66	... シアノ基と、同じ炭素骨格に結合しているヒドラジノ基またはヒドラゾノ基の一部である窒素原子とをもつもの [5]	259/18	.. ヒドロキシアミジン基の炭素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
255/67	... シアノ基と同じ炭素骨格に結合しているアジド基をもつもの [5]	259/20	.. ヒドロキシアミジン基の少なくとも 1 個の窒素原子が他の窒素原子に結合しているもの [5]
257/00	カルボキシル基の二重結合で結合している酸素原子が、二重結合で結合している窒素原子で置き換えられていて、かつその窒素原子はそれ以上酸素原子と結合していないカルボキシル基を含有する化合物、例、イミノ エ - テル、アミジン [5]	261/00	シアン酸誘導体 [5]
257/02	・カルボキシル基の一方の酸素原子がハロゲン原子で置き換えられているもの、低、イミノ ハライド [5]	261/02	・シアナ - ト [5]
257/04	・カルボキシル基の一方の酸素原子が置き換えられていないもの、例、イミノ エ - テル [5]	261/04	・シアナミド（非置換シアナミド C01C3/16） [5]
257/06	.. イミノ カルボキシル基の炭素原子が水素原子、非環式炭素原子または 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]	263/00	イソシアン酸誘導体の製造 [5]
257/08	.. イミノ カルボキシル基の炭素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]	263/02	・ハロゲン化合物と、イソシアン酸またはその誘導体との反応によるもの [5]
257/10	・カルボキシル基の他方の酸素原子が窒素原子で置き換えられているもの、例、アミジン [5]	263/04	・カルバマ - トまたはカルバモイルハライドからのもの、またはそれらを経由するもの [5]
257/12	.. アミジノ基の炭素原子が水素原子に結合しているもの [5]	263/06	・尿素からのもの、または尿素を経由するもの [5]
257/14	.. アミジノ基の炭素原子が非環式炭素原子に結合しているもの [5]	263/08	・複素環化合物からのもの、またはそれを経由するもの、例、フロキサンの熱分解 [5]
257/16	.. アミジノ基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]	263/10	・アミンとカルボニルハロゲン化合物、例、ホスゲン、との反応によるもの [5]
257/18	.. アミジノ基の炭素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]	263/12	・カルボン酸の含窒素誘導体、例、ヒドロキサム酸、からのものまたはそれを経由するもの、ホフマン、クルチウスまたはロッセン型転位反応を含む（C07C209/56 が優先） [5]
257/20	.. アミジノ基の窒素原子がアシル化されているもの [5]	263/14	・ニトロ化合物と一酸化炭素との触媒反応によるもの [5]
257/22	.. アミジノ基の窒素原子がさらに窒素原子に結合しているもの、例、ヒドラジジン [5]	263/16	・イソシアナ - ト基の形成の関与しない反応によるもの [5]
		263/18	・分離；精製；安定化；添加剤の使用 [5]
		263/20	.. 分離；精製 [5]
		265/00	イソシアン酸誘導体 [5]
		265/02	・イソシアナ - ト基が非環式炭素原子に結合しているもの [5]
		265/04	.. 飽和炭素骨格の [5]
		265/06	.. 不飽和炭素骨格の [5]

- 265/08 ...炭素骨格が環を含有するもの [5]  
 265/10 ・イソシアナ - ト基が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]  
 265/12 ・イソシアナ - ト基が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]  
 265/14 ・少なくとも 2 個のイソシアナ - ト基が同じ炭素骨格に結合しているもの [5]  
 265/16 ・イソシアナ - ト基がアシル化されているもの [5]  
 267/00 カルボジイミド [5]  
 269/00 カルバミン酸誘導体, すなわち以下の基のいずれかを含有する化合物, の製造



- トロまたはニトロソ基の一部ではない) [5]  
 269/02 ・カルバマ - ト基の形成を伴うイソシアナ - トからのもの [5]  
 269/04 ・カルバマ - ト基の形成を伴うアミンからのもの [5]  
 269/06 ・カルバマ - ト基の形成の関与しない反応によるもの [5]  
 269/08 ・分離; 精製; 安定化; 添加剤の使用 [5]

- 271/00 カルバミン酸誘導体, すなわち, 以下のいずれかを含有する化合物

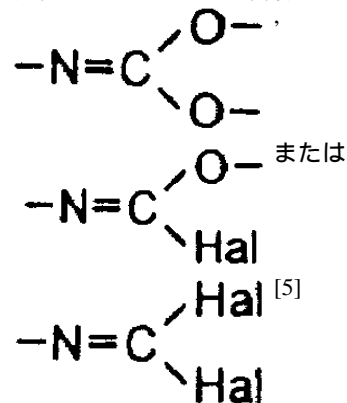


トロまたはニトロソ基の一部ではない) [5]

- 271/02 ・カルバミン酸; カルバミン酸の塩 (非置換カルバミン酸またはその塩 C01B21/12) [5]  
 271/04 ・カルバミン酸ハライド [5]  
 271/06 ・カルバミン酸エステル [5]  
 271/08 ・カルバマ - ト基の酸素原子が非環式炭素原子に結合しているもの [5]  
 271/10 ...カルバマ - ト基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [5]  
 271/12 ...水素原子または非置換炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]  
 271/14 ...ハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換された炭化水素の炭素原子に結合しているもの [5]  
 271/16 ...単結合の酸素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]  
 271/18 ...二重結合の酸素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]  
 271/20 ...ニトロもしくはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換された炭素水素基の炭素原子に結合しているもの [5]  
 271/22 ...カルボキシル基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]  
 271/24 ...少なくとも 1 個のカルバマ - ト基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]  
 271/26 ...少なくとも 1 個のカルバマ - ト基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]  
 271/28 ...非縮合 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]  
 271/30 ...縮合環系の一部である 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]  
 271/32 ...カルバマ - ト基の酸素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]

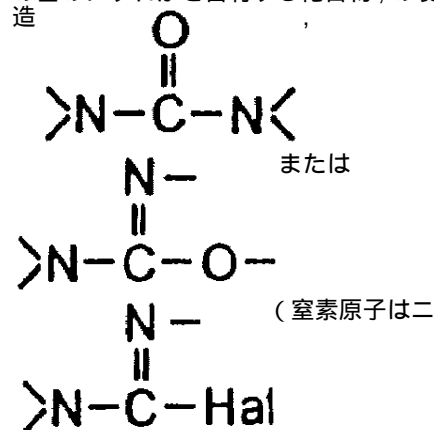
- 271/34 ... カルバマ - ト基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [5]
- 271/36 ... 少なくとも 1 個のカルバマ - ト基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 271/38 ... 少なくとも 1 個のカルバマ - ト基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 271/40 .. カルバマ - ト基の酸素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 271/42 ... カルバマ - ト基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [5]
- 271/44 .... 水素原子または非置換炭化水素の炭素原子に結合しているもの [5]
- 271/46 .... ハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]
- 271/48 .... 単結合の酸素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]
- 271/50 .... 二重結合の酸素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]
- 271/52 .... ニトロもしくはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]
- 271/54 .... カルボキシル基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]
- 271/56 ... 少なくとも 1 個のカルバマ - ト基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 271/58 ... 少なくとも 1 個のカルバマ - ト基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 271/60 ・カルバマ - ト基の酸素原子が窒素原子に結合しているもの [5]
- 271/62 ・以下の基のいずれかを含有する化合物
- $$\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ -\text{O}-\text{C}-\text{N}-\text{C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \end{array}$$
- $$\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ \text{Hal}-\text{C}-\text{N}-\text{C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \end{array}$$
- または
- $$\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ -\text{O}-\text{C}-\text{N}=\text{C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \end{array}$$
- $$\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ \text{Hal}-\text{C}-\text{N}=\text{C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \end{array}$$
- (X は異種原子
- , Y は任意の原子を表わす) 例 .N アシルカルバマ - ト [5]
- 271/64 .. Y が水素原子または炭素原子であるもの、例 .ベンゾイルカルバマ - ト [5]
- 271/66 .. Y が異種原子であるもの [5]

- 271/68 ・以下の基のいずれかを含有する化合物



273/00

尿素またはその誘導体、すなわち、以下の基のいずれかを含有する化合物、の製造



トロもしくはニトロソ基の一部ではない) [5]

273/02

・尿素、その塩、錯体または付加化合物の製造 [5]

273/04

・二酸化炭素とアンモニアからのもの [5]

273/06

・シアナミドまたはカルシウムシアナミドからのもの [5]

273/08

・アンモニア性溶液からのもの [5]

273/10

・アンモニアの合成と組み合わせたもの [5]

273/12

・メラミンの合成と組み合わせたもの [5]

273/14

・分離; 精製; 安定化; 添加剤の使用 [5]

273/16

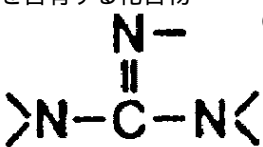
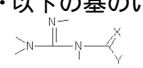
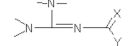
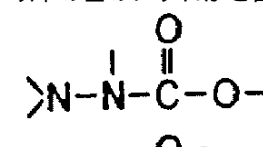
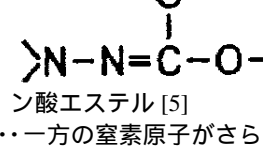
・分離; 精製 [5]

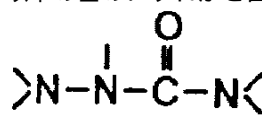
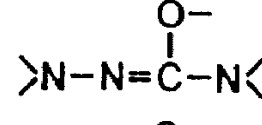
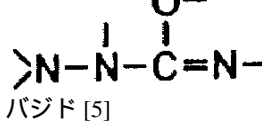
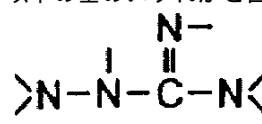
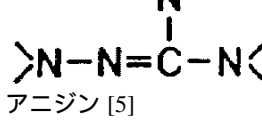
273/18

・置換尿素の製造 [5]

275/00	<p>尿素の誘導体，すなわち以下の基いづれかを含有する化合物</p> $\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{C}-\text{N}< \\   \\ \text{N}- \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{C}-\text{O}- \\   \\ \text{N}- \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{C}-\text{Hal} \end{array}$ <p>または</p> $\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{C}-\text{N}< \\   \\ \text{N}- \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{C}-\text{O}- \\   \\ \text{N}- \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{C}-\text{Hal} \end{array}$ <p>(窒素原子は二トロもしくはニトロソ基の一部ではない) [5]</p>	275/46	<p>以下の基のいづれかを含有する化合物または</p> $\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{C}-\text{N}-\text{C}=\text{X} \\   \quad \quad \quad   \\ \text{Y} \quad \quad \quad \text{Y} \end{array}$ <p>(X は異種原子</p> $\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{C}-\text{N}=\text{C}-\text{X} \\   \quad \quad \quad   \\ \text{Y} \quad \quad \quad \text{Y} \end{array}$ <p>, Y は任意の原子を表わす) 例 . アシル尿素 [5]</p>
275/02	<p>塩 ; 錯体 ; 付加化合物 [5]</p>	275/48	<p>.. Y が水素原子または炭素原子であるもの [5]</p>
275/04	<p>・尿素基の窒素原子が非環式炭素原子に結合しているもの [5]</p>	275/50	<p>... Y が水素原子または非環式炭素原子であるもの [5]</p>
275/06	<p>.. 非環式で飽和の炭素骨格の [5]</p>	275/52	<p>... Y が 6 員芳香環以外の環の炭素原子であるもの [5]</p>
275/08	<p>... 炭素骨格がさらにハロゲン原子または二トロもしくはニトロソ基で置換されたもの [5]</p>	275/54	<p>... Y が 6 員芳香環の炭素原子であるもの , 例 . ベンゾイル尿素 [5]</p>
275/10	<p>... 炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されたもの [5]</p>	275/56	<p>... X が窒素原子であるもの [5]</p>
275/12	<p>... 炭素骨格がさらに二重結合の酸素原子で置換されたもの [5]</p>	275/58	<p>.. Y が異種原子であるもの [5]</p>
275/14	<p>... 炭素骨格がさらにニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換されたもの [5]</p>	275/60	<p>... Y が酸素原子であるもの , 例 . アロファン酸 [5]</p>
275/16	<p>... 炭素骨格がさらにカルボキシル基で置換されたもの [5]</p>	275/62	<p>... Y が窒素原子であるもの , 例 . ピウレット [5]</p>
275/18	<p>.. 環を含有する飽和炭素骨格の [5]</p>	275/64	<p>・尿素基の窒素原子が単結合で酸素原子に結合しているもの [5]</p>
275/20	<p>.. 不飽和炭素骨格の [5]</p>	275/66	<p>・尿素基の窒素がハロゲン原子または二トロもしくはニトロソ基に結合しているもの [5]</p>
275/22	<p>... 炭素骨格が 6 員芳香環以外の環を含有するもの [5]</p>	275/68	<p>.. N ニトロソ尿素 [5]</p>
275/24	<p>... 炭素骨格が 6 員芳香環を含有するもの [5]</p>	275/70	<p>以下の基のいづれかを含有する化合物または</p> $\begin{array}{c}   \\ \text{N}- \\ \parallel \\ -\text{N}=\text{C} \\   \\ \text{O}- \\   \\ \text{N}- \\ \parallel \\ -\text{N}=\text{C} \\   \\ \text{Hal} \end{array}$ <p>例 . イソ尿素</p>
275/26	<p>・尿素基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]</p>		
275/28	<p>・尿素基の窒素原子が炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]</p>		
275/30	<p>.. 炭素骨格がさらにハロゲン原子または二トロもしくはニトロソ基で置換されているもの [5]</p>	277/00	<p>[5] グアニジンまたはその誘導体，すなわち以下の基を含む化合物の製造 (単結合で結合</p> $\begin{array}{c} \text{N}- \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{C}-\text{N}< \end{array}$ <p>している窒素原子は二トロまたはニトロソ基の一部ではない) [5]</p>
275/32	<p>.. 炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されたもの [5]</p>	277/02	<p>・シアナミド、カルシウムシアナミドまたはジシアンジアミドからのグアニジンの製造 [5]</p>
275/34	<p>... 尿素基の窒素原子と単結合の酸素原子が同じ非縮合 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]</p>	277/04	<p>・アンモニウムチオシアナ - トからのグアニジンの製造 [5]</p>
275/36	<p>... 少なくとも 1 個の酸素原子がさらに 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの , 例 . N アリ - ルオキシフェニル尿素 [5]</p>	277/06	<p>・グアニジンの精製または分離 [5]</p>
275/38	<p>.. 炭素骨格がさらに二重結合の酸素原子で置換されたもの [5]</p>	277/08	<p>・置換グアニジンの製造 [5]</p>
275/40	<p>.. 炭素骨格がさらにニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換されたもの [5]</p>		
275/42	<p>.. 炭素骨格がさらにカルボキシル基で置換されたもの [5]</p>		
275/44	<p>・尿素基の窒素原子が二重結合で炭素原子に結合しているもの [5]</p>		



279/00	グアニジンの誘導体，すなわち以下の基を含有する化合物 (単結合で結合) 
279/02	している窒素原子はニトロまたはニトロソ基の一部ではない) [5]
279/02	・グアニジン；その塩，錯体または付加化合物 [5]
279/04	・グアニジン基の窒素原子が炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [5]
279/06	・炭素骨格がさらにハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基で置換されたもの [5]
279/08	・炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されたもの [5]
279/10	・炭素骨格がさらに二重結合の酸素原子で置換されたもの [5]
279/12	・炭素骨格がさらにニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換されたもの [5]
279/14	・炭素骨格がさらにカルボキシル基で置換されたもの [5]
279/16	・グアニジン基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
279/18	・グアニジン基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
279/20	・以下の基のいずれかを含有する化合物  (X は異種原子  , Y は任意の原子を表わす) 例 . アシルグアニジン [5]
279/22	・ Y が水素または炭素原子であるもの，例 . ベンゾイルグアニジン [5]
279/24	・ Y が異種原子であるもの [5]
279/26	・ X と Y が窒素原子であるもの，すなわちビグアニド [5]
279/28	・グアニジン基の窒素原子がシアノ基に結合しているもの，例 . シアノグアニジン，ジシアンジアミド [5]
279/30	・グアニジン基の窒素原子がニトロまたはニトロソ基に結合しているもの [5]
279/32	・ N ニトログアニジン類 [5]
279/34	・ N ニトログアニジン [5]
279/36	・置換 N ニトログアニジン [5]
281/00	その官能基の少なくとも 1 個の窒素原子がさらにニトロまたはニトロソ基の一部ではない窒素原子に結合しているグル - プ C07C269/00-C07C279/00 までに属する官能基を含有する炭酸誘導体 [5]
281/02	・以下の基のいずれかを含む化合物，または  例 . カルバジ  ン酸エステル [5]
281/04	・一方の窒素原子がさらに二重結合で炭素原子に結合しているもの [5]

281/06	・以下の基のいずれかを含有する化合物  または  例 . セミカル  バジド [5]
281/08	・上記他の窒素原子がさらに二重結合で炭素原子に結合しているもの，例 . セミカルバゾン [5]
281/10	・炭素原子がさらに非環式炭素原子または 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
281/12	・炭素原子が 6 員芳香環以外の環の一部であるもの [5]
281/14	・炭素骨格がさらに 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
281/16	・以下の基のいずれかを含有する化合物または  例 . アミノグ  アニジン [5]
281/18	・上記他の窒素原子がさらに二重結合で炭素原子に結合しているもの，例 . グアニルヒドラゾン [5]
281/20	・官能基の 2 個の窒素原子が互いに二重結合で結合しているもの，例 . アゾホルムアミド [5]
291/00	炭素と窒素を含有し，グル - プ C07C201/00-C07C281/00 に包含されない官能基をもつ化合物 [5]
291/02	・窒素 オキシド結合を含有するもの [5]
291/04	・アミノ - オキシド結合を含有するもの [5]
291/06	・ニトリルオキシド [5]
291/08	・アゾキシ化合物 [5]
291/10	・イソシアニド [5]
291/12	・雷酸エステル [5]
291/14	・ニトロまたはニトロソ基との結合と異種原子への二重結合とをもつ少なくとも 1 個の炭素原子を含有するもの [5]
301/00	硫黄，セレンもしくはテルルとともに炭素を含有し水素，ハロゲン，酸素もしくは窒素有するかまたは有しない化合物 [5]
301/02	・亜硫酸エステル [5]
303/00	・亜硫酸基が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
303/02	硫酸エステルまたはアミドの製造；スルホン酸またはそのエステル，ハライド，無水物またはアミドの製造 [5]
303/04	・スルホン酸またはそのハロゲン化物の製造 [5]
303/04	・水素原子をスルホ基またはハロスルホニル基で置換することによるもの [5]

303/06 ... 硫酸または三酸化イオウとの反応によるもの [5]

303/08 ... ハロゲン化スルホン酸との反応によるもの [5]

303/10 ... 二酸化イオウおよびハロゲンとの反応またはハロゲン化スルフィリルとの反応によるもの [5]

303/12 ... ハロゲン化チオニルとの反応によるもの [5]

303/14 ... スルホキシデ - ションすなわちスルホ基またはハロスルホニル基の形成を伴う二酸化硫黄および酸素との反応によるもの [5]

303/16 ... スルホ基またはハロスルホニル基の形成を伴うチオ - ル、スルフィド、ヒドロポリスルフィドまたはポリスルフィドの酸化によるもの [5]

303/18 ... スルホ基またはハロスルホニル基の形成を伴う置換可能な基を持つ化合物とスルフィドの反応によるもの [5]

303/20 ... 炭素 炭素多重結合を持つ化合物に亜硫酸またはその塩を付加することによるもの [5]

303/22 ... スルホ基またはハロスルホニル基の形成が関与しない反応によるスルホン酸からのもの [5]

303/24 ... 硫酸エステルの製造 [5]

303/26 ... スルホン酸エステルの製造 [5]

303/28 ... ヒドロキシ化合物とスルホン酸またはその誘導体との反応によるもの [5]

303/30 ... エステル化されたスルホ基の形成が関与しない反応によるもの [5]

303/32 ... スルホン酸塩の製造 [5]

303/34 ... 硫酸アミドの製造 [5]

303/36 ... スルホン酸アミドの製造 [5]

303/38 ... アンモニアまたはアミンとスルホン酸、またはそのエステル、無水物またはハロゲン化物との反応によるもの [5]

303/40 ... スルホンアミド基の形成が関与しない反応によるもの [5]

303/42 ... 分離 ; 精製 ; 安定化 ; 添加剤の使用 [5]

303/44 ... 分離 ; 精製 [5]

303/46 ... 鉱油を硫酸で精製する際の副生成物からのもの [5]

305/00 硫酸エステル [5]

305/02 ... 硫酸基の酸素原子が炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [5]

305/04 ... 非環式で飽和のもの [5]

305/06 ... 硫酸水素エステル [5]

305/08 ... 硫酸ジアルキル ; 置換硫酸ジアルキル [5]

305/10 ... 炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されたもの [5]

305/12 ... 飽和で環を含有するもの [5]

305/14 ... 非環式で不飽和のもの [5]

305/16 ... 不飽和で環を含有するもの [5]

305/18 ... 6 員芳香環を含有するもの [5]

305/20 ... 硫酸基の酸素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]

305/22 ... 硫酸基の酸素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]

305/24 ... 非縮合 6 員芳香環の [5]

305/26 ... ハロゲン硫酸エステル、すなわちハロゲン硫酸のモノエステル [5]

307/00 硫酸のアミド、すなわち硫酸基の単結合で結合している酸素原子がニトロまたはニトロソ基の一部ではない窒素原子で置換された化合物 [5]

307/02 ... 硫酸またはそのエステルのモノアミド、例、スルファミン酸 [5]

307/04 ... 硫酸のジアミド [5]

307/06 ... スルファミド基の窒素原子が非環式炭素原子に結合しているもの [5]

307/08 ... スルファミド基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]

307/10 ... スルファミド基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]

309/00 スルホン酸 ; そのハライド、エステルまたは無水物 [5]

309/01 ... スルホン酸 [5]

309/02 ... スルホン酸基が非環式炭素原子に結合しているもの [5]

309/03 ... 非環式飽和炭素骨格の [5]

309/04 ... ただ 1 個のスルホン酸基を含有するもの [5]

309/05 ... 炭素骨格に結合している少なくとも 2 個のスルホン酸基を含有するもの [5]

309/06 ... 炭素骨格に結合しているハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基を含有するもの [5]

309/07 ... 炭素骨格に結合している酸素原子を含有するもの [5]

309/08 ... 炭素骨格に結合している水酸基を含有するもの [5]

309/09 ... 炭素骨格に結合しているエ - テル化された水酸基を含有するもの [5]

309/10 ... 少なくとも 1 個のエ - テル化された水酸基の酸素原子がさらに非環式炭素原子に結合しているもの [5]

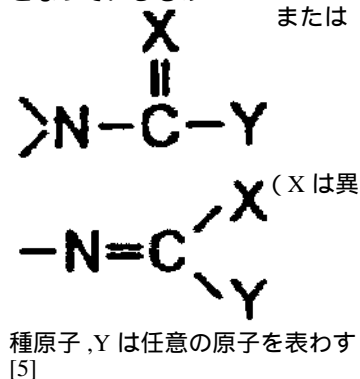
309/11 ... 少なくとも 1 個のエ - テル化された水酸基の酸素原子がさらに 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]

309/12 ... 炭素骨格に結合しているエステル化された水酸基を含有するもの [5]

309/13 ... 炭素骨格に結合しているニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子を含有するもの [5]

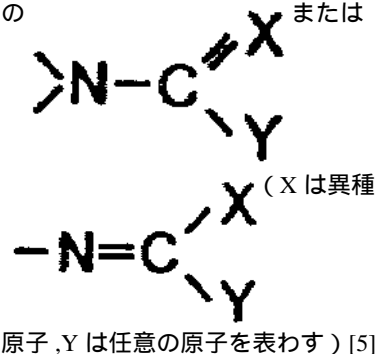
309/14 ... 炭素骨格に結合しているアミノ基を含有するもの [5]

309/15 ... 少なくとも 1 個のアミノ基の窒素原子が以下の基のいずれかの一部となっているもの

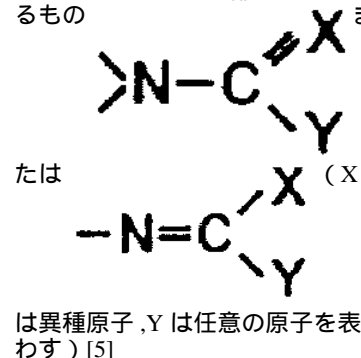


- 309/16 ……炭素骨格に結合している二重結合の窒素原子を含有するもの [5]
- 309/17 ……炭素骨格に結合しているカルボキシル基を含有するもの [5]
- 309/18 ……同じ炭素骨格に結合しているアミノ基を含有するもの [5]
- 309/19 ……環を含有する飽和炭素骨格の [5]
- 309/20 ……非環式不飽和炭素骨格の [5]
- 309/21 ……炭素骨格に結合しているニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子を含有するもの [5]
- 309/22 ……炭素骨格に結合しているカルボキシル基を含有するもの [5]
- 309/23 ……6員芳香環以外の環を含有する不飽和炭素骨格の [5]
- 309/24 ……6員芳香環を含有する不飽和炭素骨格の [5]
- 309/25 ……スルホン酸基が炭素骨格の6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 309/26 ……炭素骨格に結合しているニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子を含有するもの [5]
- 309/27 ……炭素骨格に結合しているカルボキシル基を含有するもの [5]
- 309/28 ……スルホン酸基が炭素骨格の6員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 309/29 ……非縮合6員芳香環の [5]
- 309/30 ……アルキル基置換6員芳香環の [5]
- 309/31 ……少なくとも3個の炭素原子を含有するアルキル基で置換されたもの [5]
- 309/32 ……炭素骨格に少なくとも2個の非縮合6員芳香環を含有するもの [5]
- 309/33 ……6員芳香環が縮合環系の一部であるもの [5]
- 309/34 ……2個の環から成るもの [5]
- 309/35 ……ナフタレンスルホン酸 [5]
- 309/36 ……アルキル基で置換されているもの [5]
- 309/37 ……アルキル基が少なくとも3個の炭素原子を含有するもの [5]
- 309/38 ……少なくとも3個の環から成るもの [5]
- 309/39 ……炭素骨格に結合しているハロゲン原子を含有するもの [5]
- 309/40 ……炭素骨格に結合しているニトロまたはニトロソ基を含有するもの [5]
- 309/41 ……炭素骨格に結合している単結合の酸素原子を含有するもの [5]
- 309/42 ……非縮合6員芳香環の炭素原子に結合しているスルホン酸基をもつもの [5]
- 309/43 ……縮合環系の一部である6員芳香環の炭素原子に結合している少なくとも1個のスルホン酸基をもつもの [5]
- 309/44 ……炭素骨格に結合している二重結合の酸素原子を含有するもの [5]
- 309/45 ……炭素骨格に結合しているニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子を含有するもの [5]
- 309/46 ……非縮合6員芳香環の炭素原子に結合しているスルホン酸基をもつもの [5]
- 309/47 ……縮合環系の一部である6員芳香環の炭素原子に結合している少なくとも1個のスルホン酸基をもつもの [5]

- 309/48 ……炭素骨格がさらにハロゲン原子で置換されたもの [5]
- 309/49 ……炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されたもの [5]
- 309/50 ……縮合環系の一部である6員芳香環の炭素原子に結合している少なくとも1個のスルホン酸基をもつもの [5]
- 309/51 ……少なくとも1個の窒素原子が以下の基のいずれかの一部となっているもの



- 309/52 ……炭素骨格がさらに二重結合の酸素原子で置換されたもの [5]
- 309/53 ……炭素骨格がキノン環の炭素原子を含有するもの [5]
- 309/54 ……少なくとも1個の窒素原子が以下の基のいずれかの一部となっているもの



- 309/55 ……Y が水素または炭素原子であるもの [5]
- 309/56 ……Y が異種原子であるもの [5]
- 309/57 ……炭素骨格に結合しているカルボキシル基を含有するもの [5]
- 309/58 ……カルボン酸基またはそのエステル [5]
- 309/59 ……カルボキシル基の窒素同族体 [5]
- 309/60 ……炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されたもの [5]
- 309/61 ……炭素骨格がさらにニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換されたもの [5]
- 309/62 ……構造不明のスルホン化脂肪、脂肪油またはワックス [5]
- 309/63 ……スルホン酸エステル [5]
- 309/64 ……エステル化されたスルホン酸基の硫黄原子が非環式炭素原子に結合しているもの [5]
- 309/65 ……飽和炭素骨格の [5]
- 309/66 ……メタンスルホン酸エステル [5]
- 309/67 ……不飽和炭素骨格の [5]
- 309/68 ……単結合の酸素原子で置換された炭素骨格の [5]

309/69	... ニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換された炭素骨格の [5]	311/08	... 少なくとも 1 個のスルホン酸アミド基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
309/70	... カルボキシル基で置換された炭素骨格の [5]	311/09	... 炭素骨格がさらに少なくとも 2 個のハロゲン原子で置換されたもの [5]
309/71	.. エステル化されたスルホン酸基の硫黄原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]	311/10	.. 環を含有する飽和炭素骨格の [5]
309/72	.. エステル化されたスルホン酸基の硫黄原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]	311/11	.. 非環式不飽和炭素骨格の [5]
309/73	... 非縮合 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]	311/12	.. 環を含有する不飽和炭素骨格の [5]
309/74	... 縮合環系の一部である 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]	311/13	... 炭素骨格が 6 員芳香環を含有するもの [5]
309/75	... 炭素骨格に結合している単結合の酸素原子を含有するもの [5]	311/14	・スルホン酸アミド基の硫黄原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
309/76	... 炭素骨格に結合しているニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子を含有するもの [5]	311/15	・スルホン酸アミド基の硫黄原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
309/77	... 炭素骨格に結合しているカルボキシル基を含有するもの [5]	311/16	.. 少なくとも 1 個のスルホン酸アミド基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [5]
309/78	・スルホン酸ハライド [5]	311/17	... 単結合の酸素原子で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [5]
309/79	.. 非環式炭素原子に結合しているハロスルホニル基をもつもの [5]	311/18	... ニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [5]
309/80	... 飽和炭素骨格の [5]	311/19	... カルボキシル基で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [5]
309/81	... 不飽和炭素骨格の [5]	311/20	.. 少なくとも 1 個のスルホン酸アミド基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
309/82	... 単結合の酸素原子で置換された炭素骨格の [5]	311/21	.. 少なくとも 1 個のスルホン酸アミド基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
309/83	... ニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換された炭素骨格の [5]	311/22	・酸部分の炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されたスルホン酸アミド [5]
309/84	... カルボキシル基で置換された炭素骨格の [5]	311/23	.. スルホン酸アミド基の硫黄原子が非環式炭素原子に結合しているもの [5]
309/85	.. 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているハロスルホニル基をもつもの [5]	311/24	... 非環式飽和炭素骨格の [5]
309/86	.. 6 員芳香環の炭素原子に結合しているハロスルホニル基をもつもの [5]	311/25	... 環を含有する飽和炭素の骨格の [5]
309/87	... 炭素骨格に結合している単結合の酸素原子を含有するもの [5]	311/26	... 非環式不飽和炭素骨格の [5]
309/88	... 炭素骨格に結合しているニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子を含有するもの [5]	311/27	... 環を含有する不飽和炭素骨格の [5]
309/89	... 炭素骨格に結合しているカルボキシル基を含有するもの [5]	311/28	.. 少なくとも 1 個のスルホン酸アミド基の硫黄原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
311/00	スルホン酸アミド, すなわちスルホン酸基の単結合で結合している酸素原子がニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子で置き換えられている化合物 [5]	311/29	.. 少なくとも 1 個のスルホン酸アミド基の硫黄原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
311/01	・スルホン酸アミド基の硫黄原子が非環式炭素原子に結合しているもの [5]	311/30	・酸部分の炭素骨格がさらにニトロまたはニトロソ基の一部でない単結合の窒素原子で置換されたスルホン酸アミド [5]
311/02	.. 非環式飽和炭素骨格の [5]	311/31	.. スルホン酸アミド基の硫黄原子が非環式炭素原子に結合しているもの [5]
311/03	... スルホン酸アミド基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [5]	311/32	... 非環式飽和炭素骨格の [5]
311/04	... 単結合の酸素原子で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [5]	311/33	... 環を含有する飽和炭素骨格の [5]
311/05	... ニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [5]	311/34	... 非環式不飽和炭素骨格の [5]
311/06	... カルボキシル基で置換された炭化水素基の非環式炭素原子に結合しているもの [5]	311/35	... 環を含有する不飽和炭素骨格の [5]
311/07	... 少なくとも 1 個のスルホン酸アミド基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]	311/36	.. 少なくとも 1 個のスルホン酸アミド基の硫黄原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
		311/37	.. 少なくとも 1 個のスルホン酸アミド基の硫黄原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
		311/38	... スルホン酸アミド基の硫黄原子と同じ炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合したアミノ基をもつもの [5]

$$\begin{array}{l} \text{>N}-\text{C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \\ \text{---N}=\text{C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \quad (\text{X は異種原子}) \end{array}$$

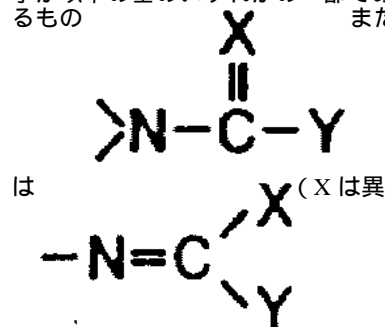
$$\begin{array}{c} \text{X} \\ | \\ \text{>C-S-N-C-Y} \\ || \\ \text{X} \end{array} \quad \text{または}$$

$$\begin{array}{c} \text{X} \\ | \\ \text{>C-S-N=C-Y} \end{array} \quad (\text{X は異種原子})$$

子、Y は任意の原子を表わす) [5]

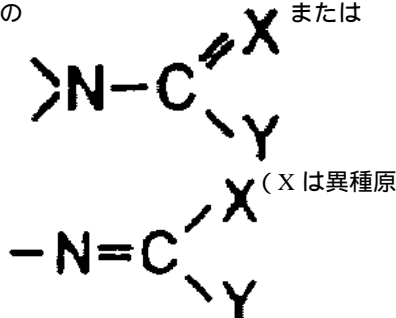
- 313/36 ...スルフェン酸アミド基の窒素原子がさらに他の異種原子に結合しているもの [5]
- 313/38 ...N スルフェニルイソシアナ - ト [5]
- 315/00 スルホンの製造 ; スルホキシドの製造 [5]
- 315/02 ・スルフィドの酸化によるスルホンまたはスルホキシド基の形成 , またはスルホキシドの酸化によるスルホン基の形成によるもの [5]
- 315/04 ・スルホンまたはスルホキシド基の形成が関与しない反応によるもの [5]
- 315/06 ・分離 ; 精製 ; 安定化 ; 添加剤の使用 [5]
- 317/00 スルホン ; スルホキシド [5]
- 317/02 ・スルホンまたはスルホキシド基が非環式炭素原子に結合しているもの [5]
- 317/04 ・非環式飽和炭素骨格の [5]
- 317/06 ・環を含有する飽和炭素骨格の [5]
- 317/08 ・非環式不飽和炭素骨格の [5]
- 317/10 ・環を含有する不飽和炭素骨格の [5]
- 317/12 ・スルホンまたはスルホキシド基が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 317/14 ・スルホンまたはスルホキシド基が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 317/16 ・スルホンまたはスルホキシド基と単結合の酸素原子が同じ炭素骨格に結合しているもの [5]
- 317/18 ・スルホンまたはスルホキシド基が炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [5]
- 317/20 ・スルホンまたはスルホキシド基が炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 317/22 ・スルホンまたはスルホキシド基が炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 317/24 ・スルホンまたはスルホキシド基と二重結合の酸素原子が同じ炭素骨格に結合しているもの [5]
- 317/26 ・スルホンまたはスルホキシド基とニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子が同じ炭素骨格に結合しているもの [5]
- 317/28 ・スルホンまたはスルホキシド基が炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [5]
- 317/30 ・スルホンまたはスルホキシド基が炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 317/32 ・スルホンまたはスルホキシド基が炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 317/34 ・スルホンまたはスルホキシド基とアミノ基が同じ非縮合環の一部である 6 員芳香環または 6 員芳香環を含有する縮合環系の炭素原子に結合しているもの [5]
- 317/36 ・アミノ基の窒素原子が水素原子または炭素原子に結合しているもの [5]

- 317/38 ..... 少なくとも 1 個のアミノ基の窒素原子が以下の基のいずれかの一部であるもの また



例 .N アシルアミノスルホン [5]

- 317/40 ..... Y が水素または炭素原子であるもの [5]
- 317/42 ..... Y が異種原子であるもの [5]
- 317/44 ・スルホンまたはスルホキシド基とカルボキシル基が同じ炭素骨格に結合しているもの [5]
- 317/46 ・炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されたもの [5]
- 317/48 ・炭素骨格がさらにニトロまたはニトロソ基の一部でない単結合の窒素原子で置換されたもの [5]
- 317/50 ..... 少なくとも 1 個の窒素原子が以下の基のいずれかの一部となっているもの または



- 319/00 チオ - ル , スルフィド , ヒドロポリスルフィドまたはポリスルフィドの製造 [5]
- 319/02 ・チオ - ルの製造 [5]
- 319/04 ・不飽和化合物に硫化水素またはその塩を付加させることによるもの [5]
- 319/06 ・スルフィド , ヒドロポリスルフィドまたはポリスルフィドからのもの [5]
- 319/08 ・水酸基またはエ - テル化もしくはエステル化された水酸基の置換によるもの [5]
- 319/10 ..... 6 員芳香環の炭素原子に結合した水酸基またはエ - テル化もしくはエステル化された水酸基の置換によるもの [5]
- 319/12 ・メルカプト基の形成が関与しない反応によるもの [5]
- 319/14 ・スルフィドの製造 [5]
- 319/16 ・不飽和化合物に硫化水素またはその塩を付加させることによるもの [5]
- 319/18 ・不飽和化合物にチオ - ルを付加させることによるもの [5]
- 319/20 ・スルフィド基の形成が関与しない反応によるもの [5]
- 319/22 ・ヒドロポリスルフィドまたはポリスルフィドの製造 [5]

319/24	・硫黄 硫黄結合の形成が関与する反応によるもの [5]	323/14	・・・炭素骨格が非環式で不飽和のもの [5]
319/26	・分離; 精製; 安定化; 添加剤の使用 [5]	323/15	・・・炭素骨格が不飽和で 6 員芳香環以外の環を含有するもの [5]
319/28	・分離; 精製 [5]	323/16	・・・炭素骨格が 6 員芳香環を含有するもの [5]
319/30	・・・鉱油精製の副産物からのもの [5]	323/17	・少なくとも 1 個のチオ基の硫黄原子が炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
321/00	チオ - ル, スルフィド, ヒドロポリスルフィドまたはポリスルフィド [5]	323/18	・少なくとも 1 個のチオ基の硫黄原子が炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
321/02	・非環式炭素原子に結合しているメルカプト基をもつチオ - ル [5]	323/19	・・・炭素骨格の非環式炭素原子に結合している単結合の酸素原子をもつもの [5]
321/04	・非環式飽和炭素骨格の [5]	323/20	・・・同じ非縮合 6 員芳香環の炭素原子に結合している単結合の酸素原子をもつもの [5]
321/06	・環を含有する飽和炭素骨格の [5]	323/21	・・・チオ基の硫黄原子が縮合環系の一部である 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
321/08	・非環式不飽和炭素骨格の [5]	323/22	・チオ基と同じ炭素骨格に結合している二重結合の酸素原子を含有するもの [5]
321/10	・環を含有する不飽和炭素骨格の [5]	323/23	・チオ基と同じ炭素骨格に結合しているニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子を含有するもの [5]
321/12	・非環式炭素原子に結合したチオ基をもつスルフィド, ヒドロポリスルフィドまたはポリスルフィド [5]	323/24	・チオ基の硫黄原子が炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [5]
321/14	・非環式飽和炭素骨格の [5]	323/25	・・・炭素骨格が非環式で飽和のもの [5]
321/16	・環を含有する飽和炭素骨格の [5]	323/26	・・・炭素骨格が飽和で環を含有するもの [5]
321/18	・非環式不飽和炭素骨格の [5]	323/27	・・・炭素骨格が非環式で不飽和のもの [5]
321/20	・環を含有する不飽和炭素骨格の [5]	323/28	・・・炭素骨格が不飽和で 6 員芳香環以外の環を含有するもの [5]
321/22	・6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているチオ基をもつチオ - ル, スルフィド, ヒドロポリスルフィドまたはポリスルフィド [5]	323/29	・・・炭素骨格が 6 員芳香環を含有するもの [5]
321/24	・6 員芳香環の炭素原子に結合しているチオ基をもつチオ - ル, スルフィド, ヒドロポリスルフィドまたはポリスルフィド [5]	323/30	・少なくとも 1 個のチオ基の硫黄原子が炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
321/26	・チオ - ル [5]	323/31	・少なくとも 1 個のチオ基の硫黄原子が炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
321/28	・6 員芳香環の炭素原子に結合しているチオ基をもつスルフィド, ヒドロポリスルフィドまたはポリスルフィド [5]	323/32	・少なくとも 1 個の窒素原子が炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [5]
321/30	・・・少なくとも 1 個のチオ基の硫黄原子が 6 員芳香環の 2 個の炭素原子に結合しているスルフィド [5]	323/33	・少なくとも 1 個の窒素原子が同じ非縮合 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
323/00	ハロゲン, 酸素, 窒素原子またはチオ基の一部でない硫黄原子で置換されたチオ - ル, スルフィド, ヒドロポリスルフィドまたはポリスルフィド [5]	323/34	・・・チオ基がメルカプト基であるもの [5]
323/01	・チオ基と同じ炭素骨格に結合しているハロゲン原子またはニトロもしくはニトロソ基を含有するもの [5]	323/35	・・・チオ基がスルフィド基であるもの [5]
323/02	・チオ基の硫黄原子が炭素骨格の非環式炭素原子結合しているもの [5]	323/36	・・・スルフィド基の硫黄原子が非環式炭素原子に結合しているもの [5]
323/03	・・・炭素骨格が非環式で飽和のもの [5]	323/37	・・・スルフィド基の硫黄原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
323/04	・・・炭素骨格が飽和で環を含有するもの [5]	323/38	・チオ基の硫黄原子が縮合環系の一部である 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
323/05	・・・炭素骨格が非環式で不飽和のもの [5]		
323/06	・・・炭素骨格が不飽和で 6 員芳香環以外の環を含有するもの [5]		
323/07	・・・炭素骨格が 6 員芳香環を含有するもの [5]		
323/08	・チオ基の硫黄原子が炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]		
323/09	・チオ基の硫黄原子が炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]		
323/10	・チオ基と同じ炭素骨格に結合している単結合の酸素原子を含有するもの [5]		
323/11	・チオ基の硫黄原子が炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [5]		
323/12	・・・炭素骨格が非環式で飽和のもの [5]		
323/13	・・・炭素骨格が飽和で環を含有するもの [5]		



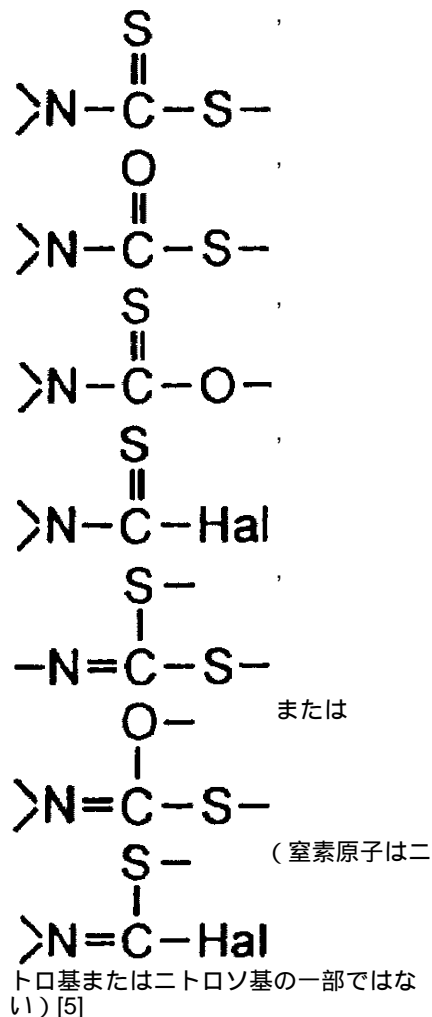
- 323/39 .. 少なくとも 1 個の窒素原子が以下の基のいずれかの一部となっているもの  
または
- $$\begin{array}{c} \text{X} \\ \parallel \\ >\text{N}-\text{C}-\text{Y} \\ | \\ -\text{N}=\text{C} \begin{array}{l} \nearrow \text{X} \\ \searrow \text{Y} \end{array} \end{array} \quad (\text{X は異種原子, Y は任意の原子を表わす}) [5]$$
- 323/40 ... Y が水素または炭素原子であるもの [5]
- 323/41 ... Y が水素または非環式炭素原子であるもの [5]
- 323/42 ... Y が 6 員芳香環の炭素原子であるもの [5]
- 323/43 ... Y が異種原子であるもの [5]
- 323/44 ... X または Y が窒素原子であるもの [5]
- 323/45 .. 少なくとも 1 個の窒素原子が炭素骨格に二重結合で結合しているもの [5]
- 323/46 .. 少なくとも 1 個の窒素原子がさらに他の異種原子に結合し、ニトロまたはニトロソ基の一部でないもの [5]
- 323/47 ... 酸素原子に結合しているもの [5]
- 323/48 ... 窒素原子に結合しているもの [5]
- 323/49 ... 硫黄原子に結合しているもの [5]
- 323/50 .. チオ基と同じ炭素骨格に結合しているカルボキシル基を含有するもの [5]
- 323/51 .. チオ基の硫黄原子が炭素骨格の非環式炭素原子に結合しているもの [5]
- 323/52 ... 炭素骨格が非環式で飽和のもの [5]
- 323/53 ... 炭素骨格が飽和で環を含有するもの [5]
- 323/54 ... 炭素骨格が非環式で不飽和のもの [5]
- 323/55 ... 炭素骨格が不飽和で 6 員芳香環以外の環を含有するもの [5]
- 323/56 ... 炭素骨格が 6 員芳香環を含有するもの [5]
- 323/57 ... 炭素骨格がさらにニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換されているもの [5]
- 323/58 ... 炭素骨格に結合しているアミノ基をもつもの [5]
- 323/59 ... 炭素骨格に結合しているアシル化されたアミノ基をもつもの [5]
- 323/60 ... 少なくとも 1 個のカルボキシル基の炭素原子が窒素原子に結合しているもの [5]
- 323/61 .. 少なくとも 1 個のチオ基の硫黄原子が炭素骨格の 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 323/62 .. 少なくとも 1 個のチオ基の硫黄原子が炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 323/63 ... 炭素骨格がさらにニトロまたはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換されたもの [5]
- 323/64 .. チオ基と同じ炭素骨格に結合したチオ基の一部でない硫黄原子を含有するもの [5]

- 323/65 .. スルホンまたはスルホキシド基の硫黄原子が炭素骨格に結合しているもの [5]
- 323/66 .. スルホン酸基、エステル化されたスルホン酸基またはハロスルホニル基の硫黄原子が炭素骨格に結合しているもの [5]
- 323/67 .. スルホン酸アミド基の硫黄原子が炭素骨格に結合しているもの [5]
- 325/00 チオアルデヒド; チオケトン; チオキノン; それらのオキシド [5]
- 325/02 .. チオケトン; それらのオキシド [5]
- 325/04 .. チオキノン; それらのオキシド [5]
- 327/00 チオカルボン酸 [5]
- 327/02 .. モノチオカルボン酸 [5]
- 327/04 .. チオカルボキシル基の炭素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [5]
- 327/06 ... 水素原子または非環式飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]
- 327/08 ... 環を含有する飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]
- 327/10 ... 非環式不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]
- 327/12 ... 環を含有する不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]
- 327/14 .. チオカルボキシル基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 327/16 .. チオカルボキシル基の炭素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 327/18 .. ジチオカルボン酸 [5]
- 327/20 .. モノチオカルボン酸のエステル [5]
- 327/22 .. エステル化されたチオカルボキシル基の炭素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [5]
- 327/24 .. エステル化されたチオカルボキシル基の炭素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 327/26 .. エステル化されたチオカルボキシル基の炭素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 327/28 .. エステル化されたチオカルボキシル基の硫黄原子が単結合の酸素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]
- 327/30 .. エステル化されたチオカルボキシル基の硫黄原子がニトロ基またはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]
- 327/32 .. エステル化されたチオカルボキシル基の硫黄原子がカルボキシル基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]
- 327/34 ... 同じ炭化水素基に結合しているアミノ基をもつもの [5]
- 327/36 .. ジチオカルボン酸のエステル [5]
- 327/38 .. チオカルボン酸のアミド [5]
- 327/40 .. チオカルボキサミド基の炭素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [5]
- 327/42 ... 水素原子または飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]
- 327/44 ... 不飽和炭素骨格の炭素原子に結合しているもの [5]



- 327/46 ..チオカルボキサミド基の炭素原子が6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 327/48 ..チオカルボキサミド基の炭素原子が6員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 327/50 ..以下のいずれかの基を含有する化合物または
- $$\begin{array}{c} \text{S} \quad \text{X} \\ \parallel \quad \parallel \\ -\text{C}-\text{N}-\text{C}-\text{Y} \\ \parallel \quad \parallel \\ \text{S} \quad \text{X} \\ -\text{C}-\text{N}=\text{C}-\text{Y} \end{array} \quad (\text{Xは異種原子, Yは任意の原子を表わす}) [5]$$
- 327/52 ...Yが水素または炭素原子であるもの [5]
- 327/54 ...Yが異種原子であるもの [5]
- 327/56 ..チオカルボキサミド基の窒素原子がさらに他の異種原子に結合しているもの [5]
- 327/58 ・二重結合の酸素原子が窒素原子で置換されたチオカルボン酸誘導体、例・イミノチオエテル [5]
- 327/60 ・チオカルボキシル基の硫黄原子がさらに二重結合で酸素原子に結合しているチオカルボン酸 [5]
- 329/00 チオ炭酸；それらのハライド、エステル、または無水物 [5]
- 329/02 ・モノチオ炭酸；その誘導体 [5]
- 329/04 ..モノチオ炭酸のエステル [5]
- 329/06 ...チオ炭酸基の硫黄原子が非環式炭素原子に結合しているもの [5]
- 329/08 ...チオ炭酸基の硫黄原子が6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 329/10 ...チオ炭酸基の硫黄原子が6員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 329/12 ・ジチオ炭酸；その誘導体 [5]
- 329/14 ..ジチオ炭酸のエステル [5]
- 329/16 ...ジチオ炭酸基の硫黄原子が非環式炭素原子に結合しているもの [5]
- 329/18 ...ジチオ炭酸基の硫黄原子が6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 329/20 ...ジチオ炭酸基の硫黄原子が6員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 331/00 チオシアン酸またはイソチオシアン酸誘導体 [5]
- 331/02 ・チオシアナート [5]
- 331/04 ..チオシアナート基の硫黄原子が非環式炭素原子に結合しているもの [5]
- 331/06 ..チオシアナート基の硫黄原子が6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 331/08 ..チオシアナート基の硫黄原子が6員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 331/10 ..チオシアナート基の硫黄原子が単結合の酸素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]
- 331/12 ..チオシアナート基の硫黄原子がニトロ基またはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]

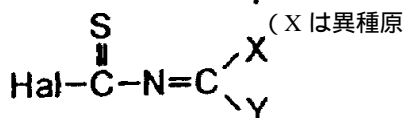
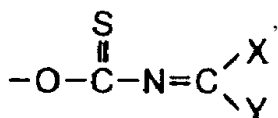
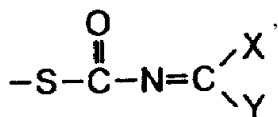
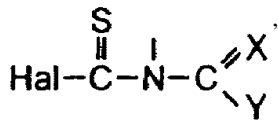
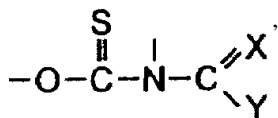
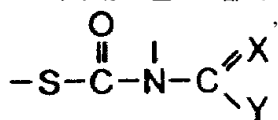
- 331/14 ..チオシアナート基の硫黄原子がカルボキシル基で置換された炭化水素基の炭素原子に結合しているもの [5]
- 331/16 ・イソチオシアナート [5]
- 331/18 ..イソチオシアナート基が非環式炭素原子に結合しているもの [5]
- 331/20 ...飽和炭素骨格の [5]
- 331/22 ...不飽和炭素骨格の [5]
- 331/24 ....炭素骨格が6員芳香環を含有するもの [5]
- 331/26 ..イソチオシアナート基が6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 331/28 ..イソチオシアナート基が6員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 331/30 ..同じ炭素骨格に結合するイソチオシアナート基を少なくとも2個以上含有するもの [5]
- 331/32 ..イソチオシアナート基がアシル化されたもの [5]
- 333/00 チオカルバミン酸の誘導体、すなわち以下のいずれかの基を含有する化合物



- 333/02 ・モノチオカルバミン酸；その誘導体 [5]
- 333/04 ..チオカルバミン酸基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [5]
- 333/06 ..チオカルバミン酸基の窒素原子が6員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]
- 333/08 ..チオカルバミン酸基の窒素原子が6員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]

333/10

- .. チオカルバミン酸基の窒素原子が以下のいずれかの基の一部であるもの



例 .N  
アシルチオカルバミド - ト [5]

333/12

- .. チオカルバミン酸基の窒素原子が他の異種原子に結合しているもの [5]

333/14

- .. ジチオカルバミン酸 ; その誘導体 [5]

333/16

- .. ジチオカルバミン酸の塩 [5]

333/18

- .. ジチオカルバミン酸のエステル [5]

333/20

- ... ジチオカルバミド - ト基の窒素原子が水素原子または非環式炭素原子に結合しているもの [5]

333/22

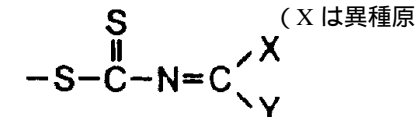
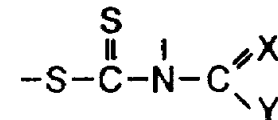
- ... ジチオカルバミド - ト基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]

333/24

- ... ジチオカルバミド - ト基の窒素原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]

333/26

- ... 以下のいずれかの基を含有するもの  
または



例 .N  
アシルジチオカルバミド - ト [5]

333/28

- ... ジチオカルバミド - ト基の窒素原子が他の異種原子に結合しているもの [5]

333/30

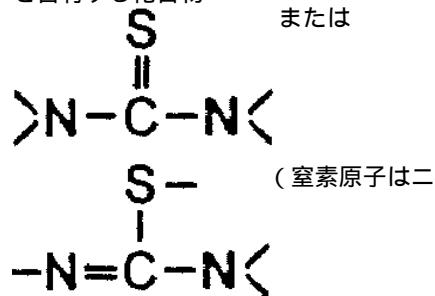
- .. ジチオカルバミン酸基の硫黄原子が他の硫黄原子に結合しているもの [5]

333/32

- ... チウラムスルフィド ; チウラムポリスルフィド [5]

335/00

チオ尿素, すなわち以下のいずれかの基を含有する化合物



トロまたはニトロソ基の一部ではない) [5]

335/02

- .. チオ尿素 [5]

335/04

- .. チオ尿素の誘導体 [5]

335/06

- .. チオ尿素基の窒素原子が非環式炭素原子に結合しているもの [5]

335/08

- ... 飽和炭素骨格の [5]

335/10

- ... 不飽和炭素骨格の [5]

335/12

- ... 炭素骨格が 6 員芳香環を含有するもの [5]

335/14

- .. チオ尿素基の窒素原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]

335/16

- .. チオ尿素基の窒素原子が炭素骨格の 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]

335/18

- ... 炭素骨格がさらに単結合の酸素原子で置換されたもの [5]

335/20

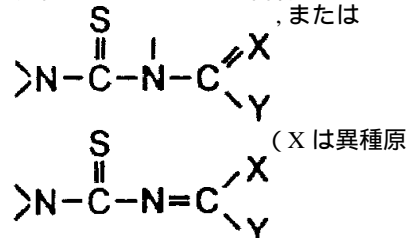
- ... 炭素骨格がさらにニトロ基またはニトロソ基の一部でない窒素原子で置換されたもの [5]

335/22

- ... 炭素骨格がさらにカルボキシ基で置換されたもの [5]

335/24

- .. 以下のいずれかの基を含有するもの



例 .N  
アシルジチオカルバミド - ト [5]

335/26

- ... Y は水素または炭素原子であるもの, 例 .ベンゾイルチオ尿素 [5]

335/28

- ... Y が異種原子であるもの, 例 .チオビウレット [5]

335/30

- .. イソチオ尿素 [5]

335/32

- .. イソチオ尿素基の硫黄原子が非環式炭素原子に結合しているもの [5]

335/34

- .. イソチオ尿素基の硫黄原子が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]

335/36

- .. イソチオ尿素基の硫黄原子が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]



	E	・9 位		M	・末端
	F	・11 位		P	その他の構造的特徴
	J	アルキル鎖側に特徴〔13-20 位〕		T	製法
	K	・15 位		U	分離, 精製, 安定化
	L	・16 位		Z	その他
	M	・末端	405/00 506	...	5 員環に直接結合する水酸基を有するもの
	P	その他の構造的特徴		A	カルボン酸側に特徴〔1-7 位〕
	T	製法		D	5 員環に特徴〔8-12 位〕
	U	分離, 精製, 安定化		E	・9 位
	V	中間体		F	・11 位
	W	中間体の製法		J	アルキル鎖側に特徴〔13-20 位〕
	Z	その他		K	・15 位
405/00 502	...	5 員環中に二重結合を有しないもの		L	・16 位
	A	カルボン酸側に特徴〔1-7 位〕		M	・末端
	D	5 員環に特徴〔8-12 位〕		P	その他の構造的特徴
	E	・9 位		T	製法
	F	・11 位		U	分離, 精製, 安定化
	J	アルキル鎖側に特徴〔13-20 位〕		Z	その他
	K	・15 位	405/00 507	...	5 員環に直接結合するオキシ基を有するもの
	L	・16 位		A	カルボン酸側に特徴〔1-7 位〕
	M	・末端		D	5 員環に特徴〔8-12 位〕
	P	その他の構造的特徴		E	・9 位
	T	製法		F	・11 位
	U	分離, 精製, 安定化		J	アルキル鎖側に特徴〔13-20 位〕
	Z	その他		K	・15 位
405/00 503	...	5 員環に直接結合する水酸基を有するもの		L	・16 位
	A	カルボン酸側に特徴〔1-7 位〕		M	・末端
	D	5 員環に特徴〔8-12 位〕		P	その他の構造的特徴
	E	・9 位		T	製法
	F	・11 位		U	分離, 精製, 安定化
	J	アルキル鎖側に特徴〔13-20 位〕		Z	その他
	K	・15 位	407/00		パ - オキシ化合物の製造 [5]
	L	・16 位	409/00		パ - オキシ化合物 [5]
	M	・末端	409/02		・ - O - O - 基が, さらに酸素で置換されていない炭素原子と水素原子との間に結合しているもの, すなわちハイドロパ - オキサイド [5]
	P	その他の構造的特徴	409/04		.. その炭素原子が非環式のもの [5]
	T	製法	409/06		... 6 員芳香環以外の環を含有する化合物 [5]
	U	分離, 精製, 安定化	409/08		... 6 員芳香環を含有する化合物 [5]
	Z	その他	409/10		... クメンハイドロパ - オキシド [5]
405/00 504	...	5 員環に直接結合するオキシ基を有するもの	409/12		... 2 個の , ジアルキルメチルハイドロパ - オキシ基が同じ 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
	A	カルボン酸側に特徴〔1-7 位〕	409/14		.. その炭素原子が 6 員芳香環以外の環に属するもの [5]
	D	5 員環に特徴〔8-12 位〕	409/16		・ O - O - 基がさらに酸素で置換されていない 2 個の炭素原子の間に結合しているもの, すなわち, パ - オキサイド [5]
	E	・9 位	409/18		.. 少なくとも 1 個の炭素原子が 6 員芳香環以外の環に属するもの [5]
	F	・11 位	409/20		・ O - O - 基がさらに単結合の酸素原子で置換されている炭素原子に結合しているもの [5]
	J	アルキル鎖側に特徴〔13-20 位〕	409/22		.. 炭素原子に結合している 2 個の - O - O - 基をもつもの [5]
	K	・15 位	409/24		・ O - O - 基が >C = O 基と水素原子との間に結合しているもの, すなわち過酸 [5]
	L	・16 位	409/26		.. 過酢酸 [5]
405/00 505	...	5 員環中に二重結合を有するもの			
	A	カルボン酸側に特徴〔1-7 位〕			
	D	5 員環に特徴〔8-12 位〕			
	E	・9 位			
	F	・11 位			
	J	アルキル鎖側に特徴〔13-20 位〕			
	K	・15 位			
	L	・16 位			

- 
- |        |   |
|--------|---|
| 409/28 | .. 1 個の $>C=O$ 基が 6 員芳香環以外の環の炭素原子に結合しているもの [5]                            |
| 409/30 | .. 1 個の $>C=O$ 基が 6 員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]                                |
| 409/32 | • $O-O$ - 基が 2 個の $>C=O$ 基の間に結合しているもの [5]                                 |
| 409/34 | .. 両者ともカルボン酸に属しているもの [5]  |
| 409/36 | ... ジアセチルバ - オキサイド [5]  |
| 409/38 | • $O-O$ - 基が $>C=O$ 基とさらに酸素原子で置換されていない炭素原子との間に結合しているもの, すなわち, 過酸のエステル [5] |
| 409/40 | • 窒素原子を含有するもの [5]   |
| 409/42 | • 硫黄原子を含有するもの [5]   |
| 409/44 | .. 硫黄原子が直接 $-O-O-$ 基に結合しているもの, 例. 過スルホン酸 [5]                              |
-

